

くらしと生活設計に関する調査
結果概要報告書

目 次

調査の概要

1 . 調査目的	2
2 . 調査内容	2
3 . 調査対象	2
4 . 抽出方法	2
5 . 調査方法	2
6 . 調査期間	2
7 . 回収状況	3
8 . 利用上の注意	3
9 . 回答者の属性	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 未既婚	4
(4) 本人および配偶者の健康状態	4
(5) 本人・父母・配偶者の最終学歴	5
(6) 世帯主からみた続柄	5
(7) 住居および生計をともにしている家族人数	5
(8) 子ども人数 (養子・継子・非同居含む)	5
(9) 子どもの状況	6
(10) 現在同居者	7

結果の概要

1 . 消費生活について	9
(1) 生活行動における考え方	9
(2) 買い物について	10
2 . 小学生の頃のこと	11
(1) 低学年の頃の家族との外食頻度	11
(2) 低学年の頃の家族旅行の頻度	11
(3) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額	11
(4) 高学年の頃の家の仕事の手伝い	12
(5) 小学生の頃の両親の射幸的遊戯等	12

3 . 金融の知識	13
(1) 暮らしに役立つ金融知識・情報	13
(2) 国債の金利と価格の関係	14
(3) 金利の計算	14
4 . クレジットカードについて	15
(1) クレジットカードに対する意見	15
(2) 自分名義のクレジットカードの保有状況	16
(3) クレジットカードの利用状況	17
(4) クレジットカード機能の利用状況	17
5 . 消費者金融について	18
(1) 消費者金融に対する意見	18
(2) 消費者金融からの借入経験	19
(3) 消費者金融から借入したことによる生活の変化	20
(4) 消費者金融から借入した理由	21
(5) 現在の消費者金融からの借入	21
6 . 日本の国債について	23
(1) 日本国債の保有状況	23
(2) 国債購入資金源	24
(3) 今後の国債購入意向	25
(4) 国債の資産としての安全性	26
(5) 国債を買う場合の購入元	26
(6) 復興国債購入意向	27
(7) 国債発行広告の接触状況	28
(8) 国債発行に関する政府への要望	29
7 . 就業状況	30
(1) 現在就業状況（本人・配偶者）	30
(2) 就業者の雇用形態・業種・職種（本人・配偶者）	30
(3) 就業者の就業先従業員数・就労時間・就労時期（本人・配偶者）	32
(4) 就業者の仕事に対する満足度（本人）	33
8 . 収入・支出について	34
(1) 昨年 1 年間の就労収入（本人・配偶者）	34
(2) 昨年の世帯年収（総収入・手取り）	35
(3) 昨年ひと月あたりの世帯支出	36
(4) 家計の収支状況	36
9 . 住居について	37

（１）住居形態.....	37
（２）取得経路・取得時期.....	38
（３）自己資金以外の購入資金.....	39
（４）借入金融機関・金利タイプ・借入金利.....	40
（５）住居構造・築年数・敷地面積・床面積.....	41
（６）持ち家の３年後の資産価値予測（持ち家居住者）.....	42
（７）ひと月の家賃（賃貸居住者）.....	43
10．金融機関の利用状況.....	44
（１）預入の状況.....	44
（２）一般預金残高上位２機関の残高.....	45
（３）一般預金残高上位２機関の自宅からの距離.....	46
（４）ＡＴＭ設置コンビニエンスストアの自宅からの距離.....	47
（５）コンビニエンスストア以外に設置されたＡＴＭの自宅からの距離.....	49
（６）自宅から最も近いＡＴＭ.....	50
（７）営業担当者との接触状況.....	51
（８）定期預金の保有状況.....	52
（９）利用取引・商品・サービスの内容.....	55
（10）提供を受けている割引・優遇サービスの内容.....	57

調査票（付：単純集計結果）

調査の概要

1．調査目的

本調査は、個人の生活設計や暮らしむきに関する考え方を調査することにより、個人金融に関する調査・研究に役立てることを目的とする。

2．調査内容

調査項目は次のとおりである。なお、具体的な質問内容については、巻末「調査票（単純集計結果）」を参照。

- (1) 消費生活について
- (2) 小学生の頃のこと
- (3) 金融の知識
- (4) クレジットカードについて
- (5) 日本の国債
- (6) お仕事について
- (7) 収入と支出、社会保険について
- (8) 住居について
- (9) 金融機関の利用
- (10) あなたとご家族について

3．調査対象

20歳以上の男女個人 4,000人

4．抽出方法

- (1) 層化二段無作為抽出法により全国から 250 の調査地点を選び、各調査地点から 20 歳以上の個人を無作為に 16 人選ぶことによって、計 4,000 の調査対象者（標本）を抽出した。
- (2) 標本抽出は原則住民基本台帳を使用し、住民基本台帳が閲覧できなかった地点については住宅地図により抽出した。

5．調査方法

調査員が抽出した調査対象者宅を訪問し、調査票を持参して協力を依頼した。記入済調査票の回収にあたっては、対象者に「調査員による訪問」ないし「郵送」のどちらかを選んで提出してもらった。

6．調査期間

2013年3月6日(水)～3月31日(日)

7. 回収状況

有効回収数（回収率） 1,823 票（45.6%）

< 地域別 >

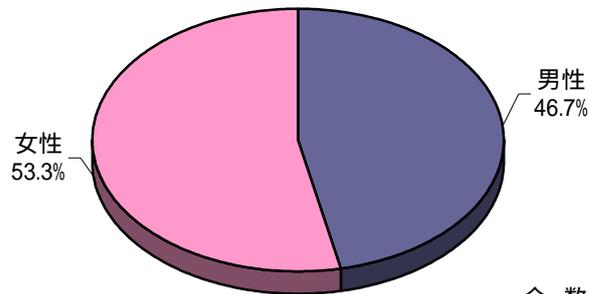
	設定数	回収数	回収率
全国	4,000	1,823	45.6%
北海道	176	80	45.5%
東北	288	163	56.6%
関東	1440	558	38.8%
北陸	176	109	61.9%
中部	464	235	50.6%
近畿	656	274	41.8%
中国	240	117	48.8%
四国	112	66	58.9%
九州	448	221	49.3%

8. 利用上の注意

この調査は標本調査であるため、調査結果には統計的誤差（サンプル誤差）が含まれる。

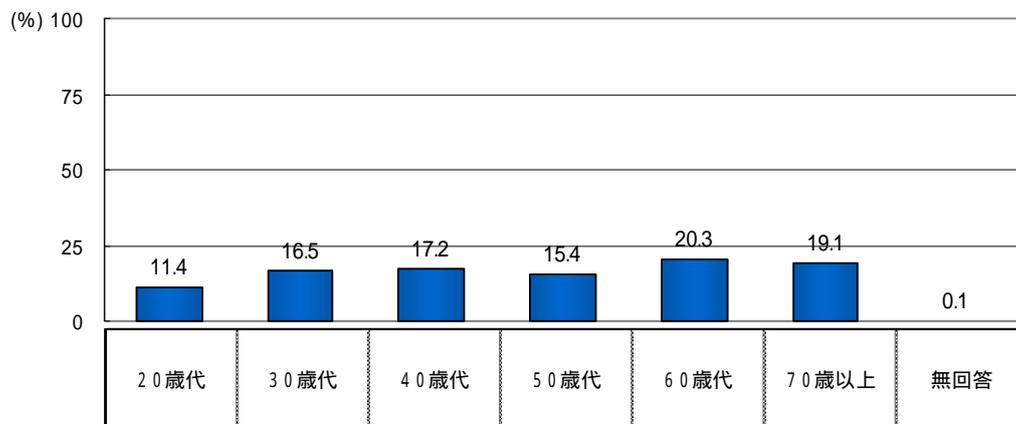
9. 回答者の属性

(1) 性別



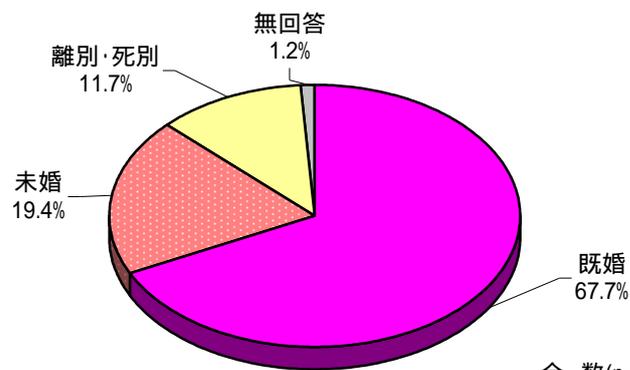
全数(n=1,823)

(2) 年齢



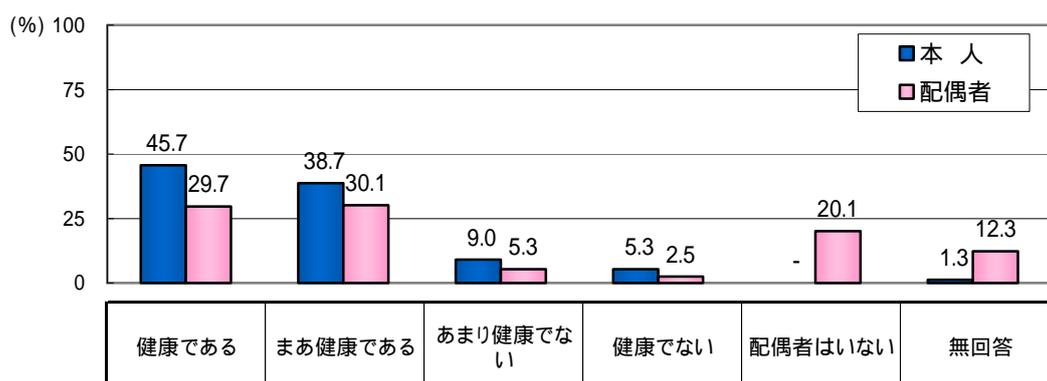
全数(n=1,823)

(3) 未既婚



全数(n=1,823)

(4) 本人および配偶者の健康状態

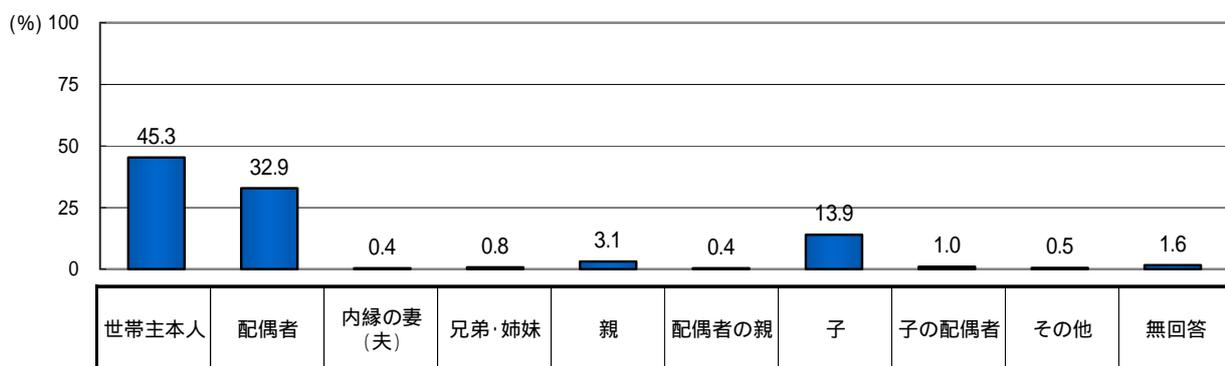


全数(n=1,823)

(5) 本人・父母・配偶者の最終学歴

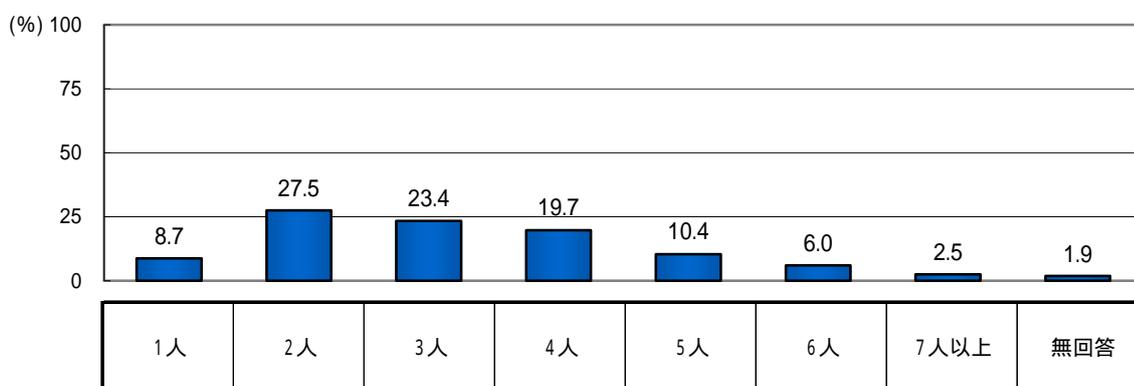
		中学校(旧制小・高等小)	高等学校(旧制中・旧制高女)	専修学校・各種学校	短大・高等専門学校	大学・大学院(文系)	大学・大学院(理系)	その他	わからない	無回答
自 身	(n=1823)	13.1	42.6	8.2	12.3	13.2	6.9	0.7	0.6	2.4
自 身 の 父 親	(n=1823)	34.4	28.6	2.0	2.5	9.1	4.2	0.4	11.1	7.7
自 身 の 母 親	(n=1823)	34.0	32.4	3.3	7.5	3.6	0.5	0.4	10.3	8.0
配偶者(離別・死別の場合は元配偶者を含む)	(n=1457)	10.7	37.1	5.8	9.0	13.0	7.7	0.3	1.2	15.3

(6) 世帯主からみた続柄



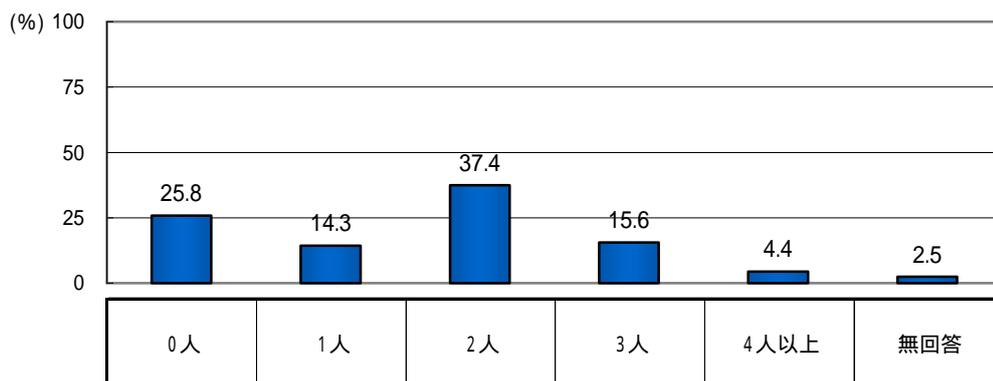
全 数(n=1,823)

(7) 住居および生計をともにしている家族人数



全 数(n=1,823)

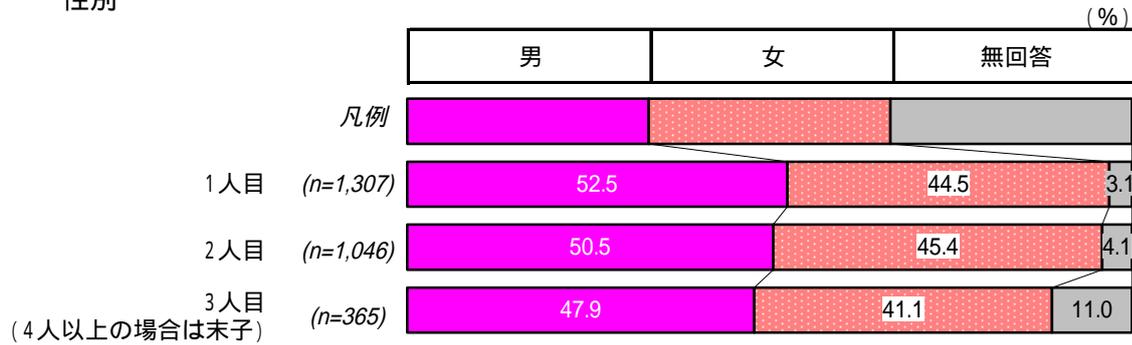
(8) 子ども人数(養子・継子・非同居含む)



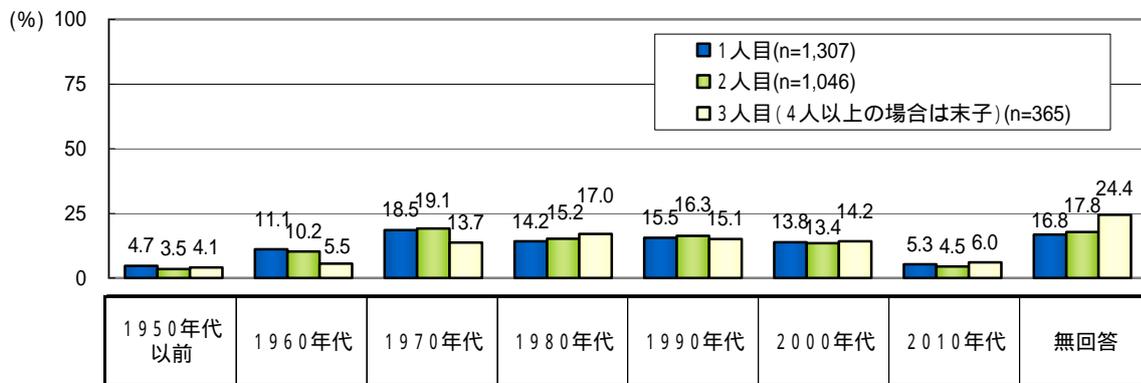
全 数(n=1,823)

(9) 子どもの状況

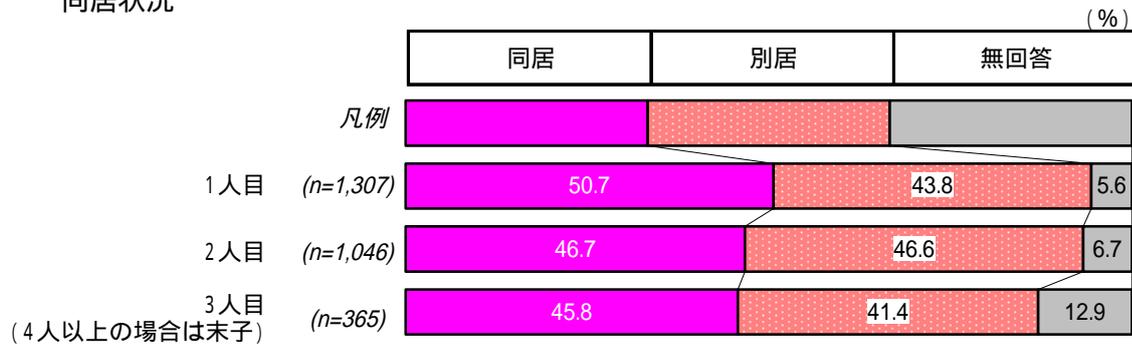
性別



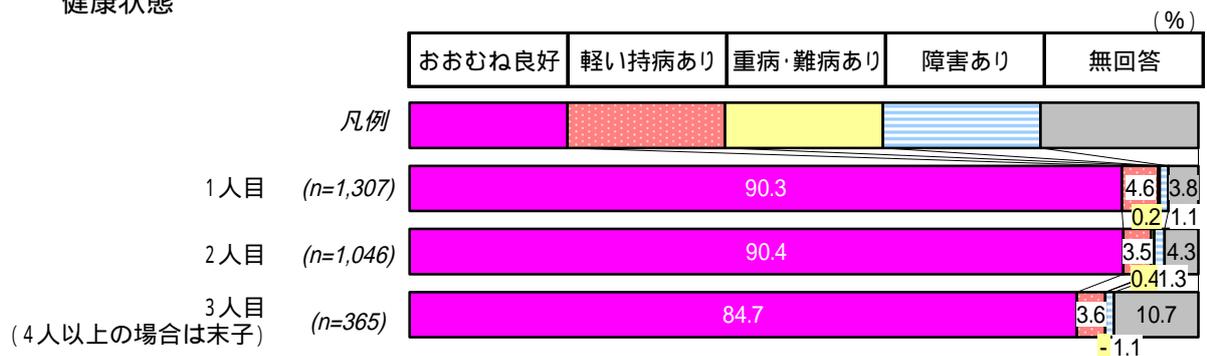
出生年(西暦)



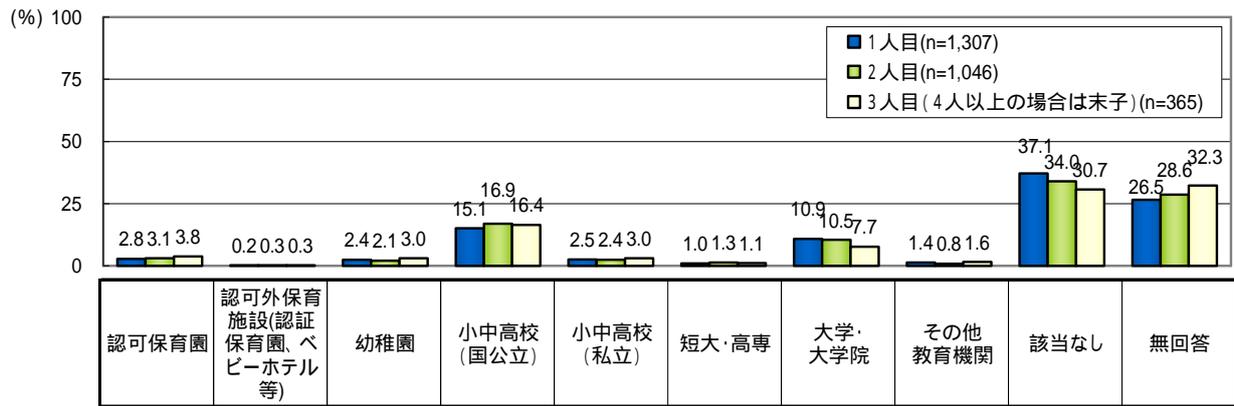
同居状況



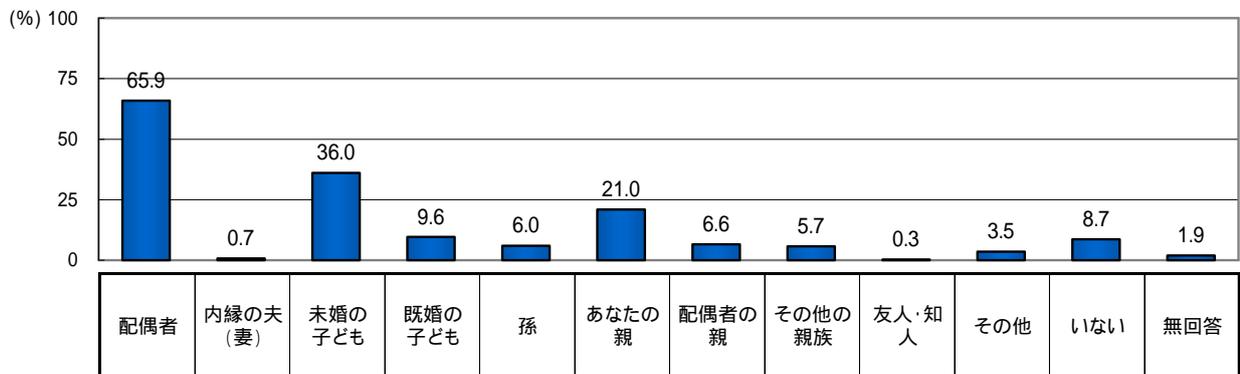
健康状態



学校等教育機関での在籍状況



(10) 現在同居者



全数(n=1,823)

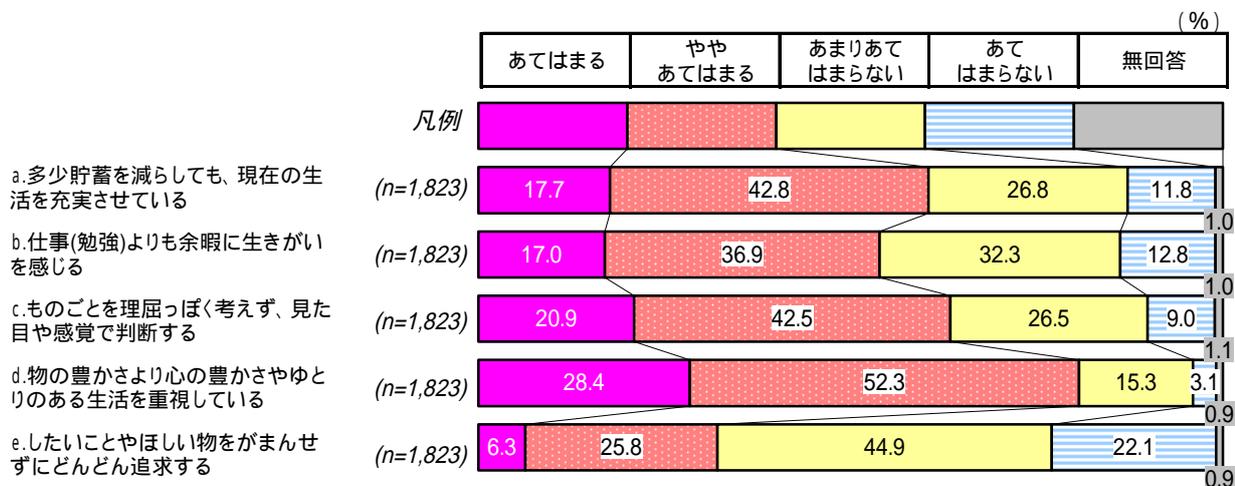
結果の概要

1. 消費生活について

(1) 生活行動における考え方

- “多少貯蓄を減らしても、現在の生活を充実させている”という考え方については、『あてはまる』(60.4%)が6割を占め、『あてはまらない』(38.6%)を上回った。
 - “仕事(勉強)よりも余暇に生きがいを感じる”では、『あてはまる』(53.9%)が5割強、『あてはまらない』(45.1%)が4割台半ばであった。
 - “ものごとを理屈っぽく考えず、見た目や感覚で判断する”は、『あてはまる』(63.4%)が6割強であった。
 - “物の豊かさより心の豊かさやゆとりのある生活を重視している”は、『あてはまる』(80.6%)が8割にのぼった。
 - “したいことやほしい物をがまんせずにとんどん追求する”は、『あてはまる』(32.0%)が3割強にとどまり、『あてはまらない』(67.0%)が7割弱を占めた。
- * 『あてはまる』は「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計。『あてはまらない』は「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計。

(図表1-1) 生活行動における考え方(問1)

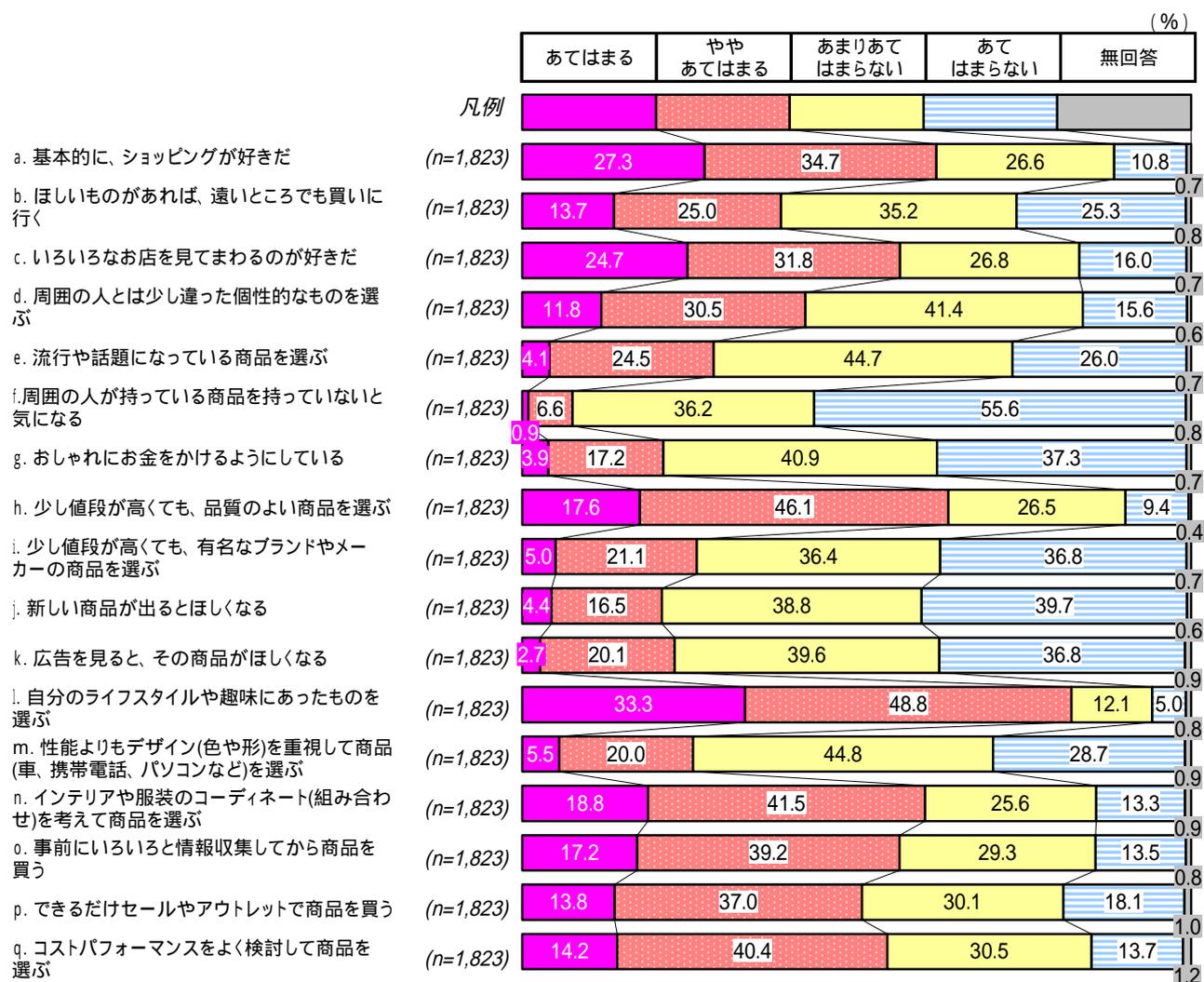


(2) 買い物について

- 買い物についての考えは、“自分のライフスタイルや趣味にあったものを選ぶ”で8割強の人が『あてはまる』(82.1%)と答え、最も多かった。
- “少し値段が高くて、品質のよい商品を選ぶ”(『あてはまる』63.7%)と、“基本的に、ショッピングが好きだ”(同62.0%)“インテリアや服装のコーディネート(組み合わせ)を考えて商品を選ぶ”(同60.2%)で、『あてはまる』が6割強を占めた。
- 一方、“周囲の人が持っている商品を持っていないと気になる”では、『あてはまらない』が91.8%にのびた。また、“流行や話題になっている商品を選ぶ”(『あてはまらない』70.7%)“おしゃれにお金をかけるようにしている”(同78.2%)“少し値段が高くて、有名なブランドやメーカーの商品を選ぶ”(同73.2%)“新しい商品が出るとほしくなる”(同78.5%)“広告を見ると、その商品がほしくなる”(同76.3%)“性能よりもデザイン(色や形)を重視して商品(車、携帯電話、パソコンなど)を選ぶ”(同73.6%)なども、『あてはまらない』が7割以上を占めた。

* 『あてはまる』は「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計。『あてはまらない』は「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計。

(図表1-2) 買い物について(問2)

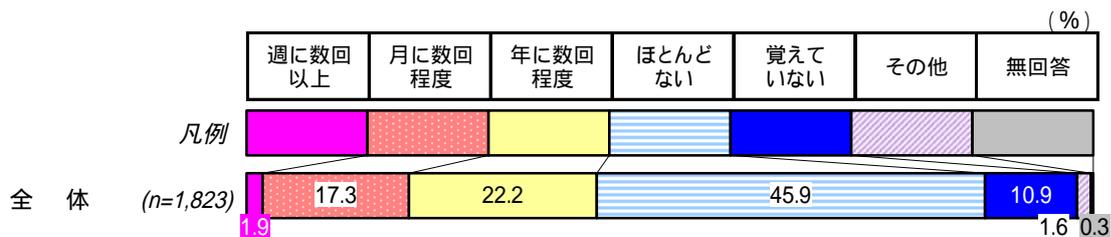


2. 小学生の頃のこと

(1) 低学年の頃の家族との外食頻度

- 小学校低学年の頃の家族との外食頻度は、「ほとんどない」が45.9%で最も多かった。以下、「年に数回程度」(22.2%)、「月に数回程度」(17.3%)、「週に数回以上」(1.9%)となっており、頻度が高くなるにつれ比率は低くなる。

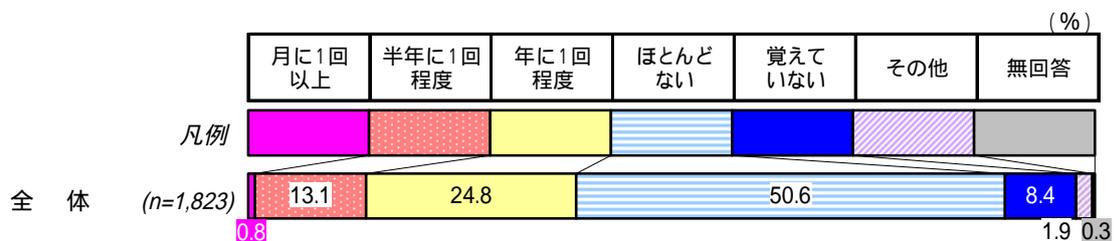
(図表2-1) 低学年の頃の家族との外食頻度(問3)



(2) 低学年の頃の家族旅行の頻度

- 小学校低学年の頃の家族旅行は、「ほとんどない」が50.6%で最も多かった。以下、「年に1回程度」(24.8%)、「半年に1回程度」(13.1%)、「月に1回以上」(0.8%)となっており、頻度が高くなるにつれ比率は低くなる。

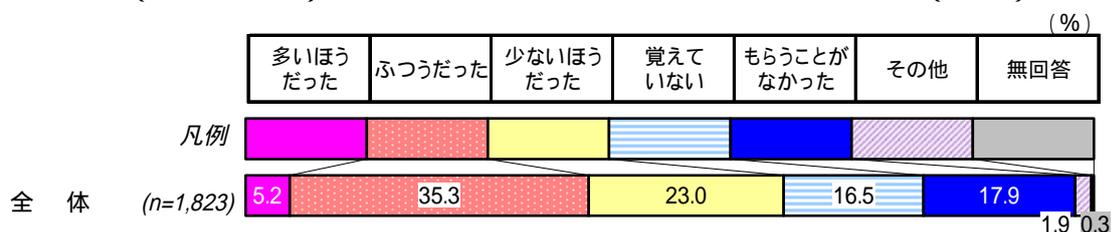
(図表2-2) 低学年の頃の家族旅行の頻度(問4)



(3) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額

- 小学校高学年の頃の両親からもらう小遣いやプレゼントの金額は、「ふつうだった」が35.3%で最も多かった。次いで、「少ないほうだった」が23.0%となっており、「多いほうだった」の5.2%を上回った。また、「もらうことがなかった」も17.9%あった。

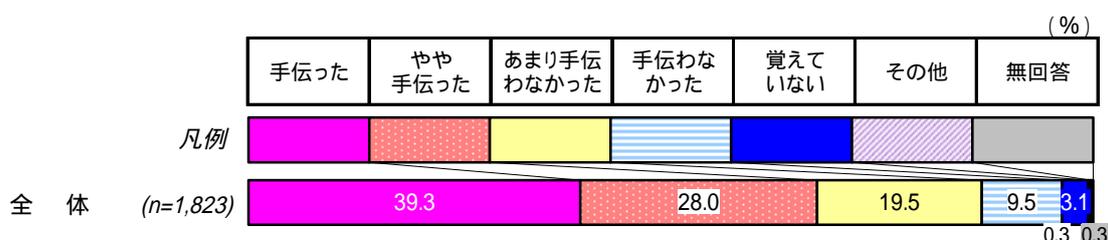
(図表2-3) 高学年の頃のおこづかいやプレゼントの金額(問5)



(4) 高学年の頃の家の仕事の手伝い

- 小学校高学年の頃、家の仕事(料理、洗濯、掃除、おつかいなど)の手伝いは、「手伝った」が39.3%で最も多かった。「やや手伝った」(28.0%)を合わせると、7割近くが『手伝った』と回答した。
- 一方、「あまり手伝わなかった」は19.5%であり、「手伝わなかった」は9.5%にとどまった。

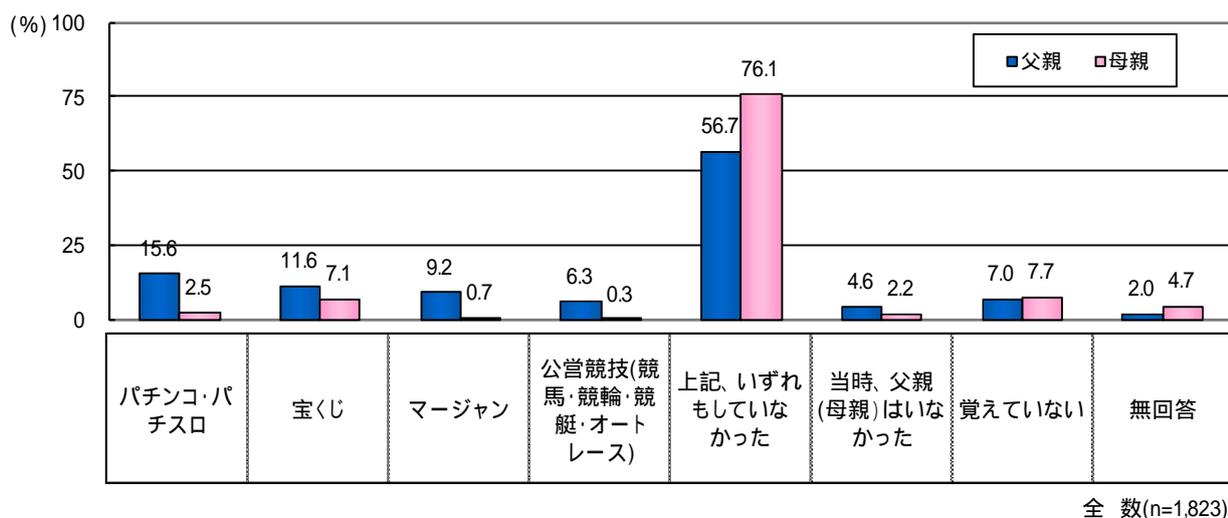
(図表2-4) 高学年の頃の家の仕事の手伝い(問6)



(5) 小学生の頃の両親の射幸的遊戯等

- 小学生の頃、両親がしていた射幸的遊戯等(複数回答)としては、父親は「パチンコ・パチスロ」が15.6%、「宝くじ」が11.6%、「マージャン」が9.2%、「公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)」が6.3%の順にあげられた。過半数は「上記、いずれもしていなかった」(56.7%)であった。
- 一方、母親は「宝くじ」が7.1%、「パチンコ・パチスロ」が2.5%で、7割以上が「上記、いずれもしていなかった」(76.1%)であった。

(図表2-5) 小学生の頃の両親の射幸的遊戯等(問7、複数回答)

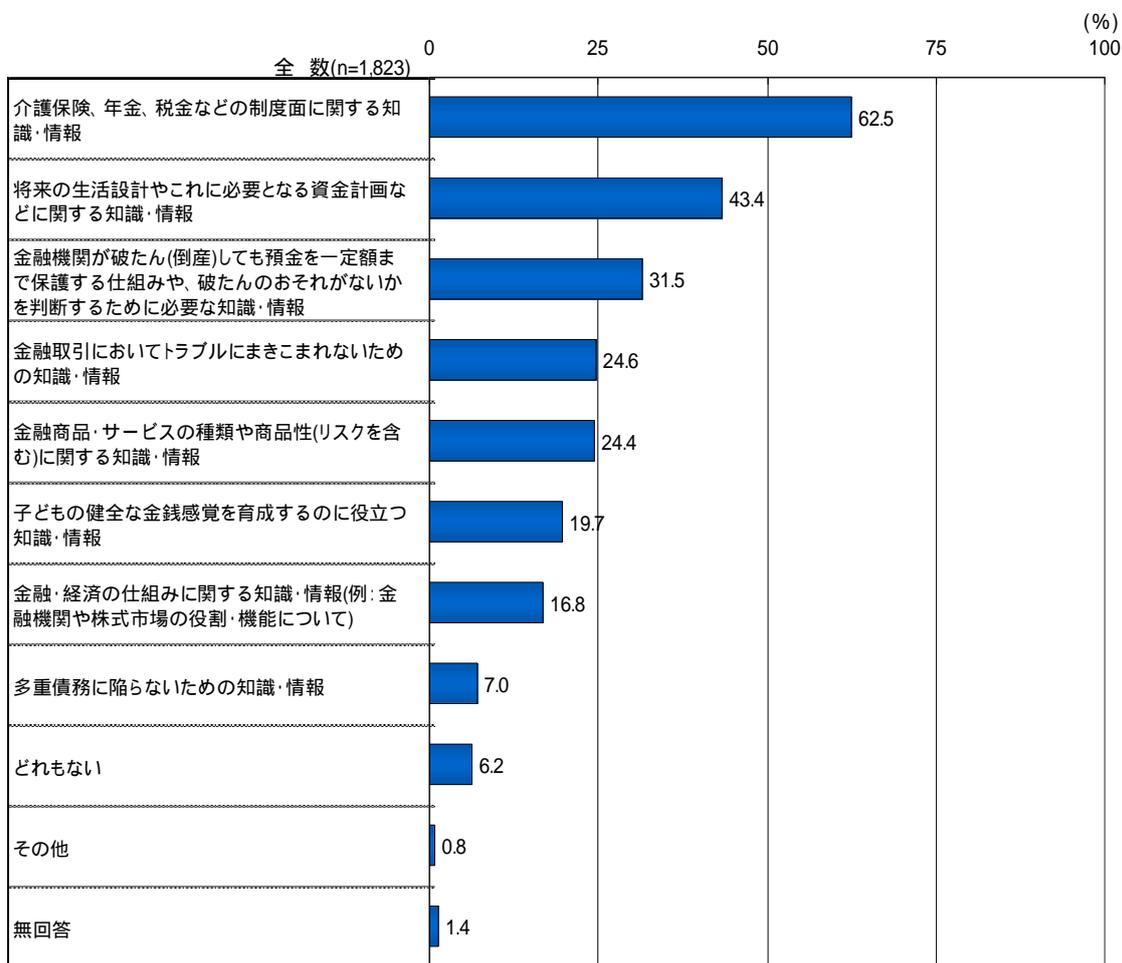


3. 金融の知識

(1) 暮らしに役立つ金融知識・情報

- 暮らしに役立つと思う金融に関する知識・情報として(3つまでの複数回答)は、「介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報」が62.5%で最も多かった。以下、「将来の生活設計やこれに必要なとなる資金計画などに関する知識・情報」(43.4%)、「金融機関が破たん(倒産)しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために必要な知識・情報」(31.5%)、「金融取引においてトラブルにまきこまれないための知識・情報」(24.6%)、「金融商品・サービスの種類や商品性(リスクを含む)に関する知識・情報」(24.4%)、「子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報」(19.7%)の順で続いた。

(図表3-1) 暮らしに役立つ知識・情報(問8、3つまでの複数回答)

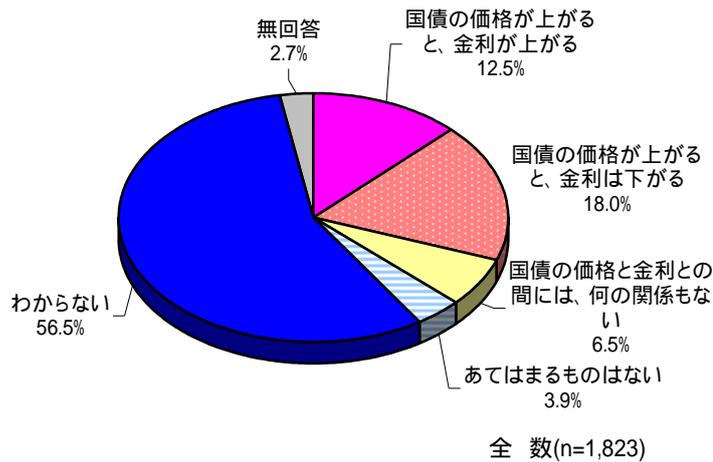


(2) 国債の金利と価格の関係

- 国債の金利と価格の関係についての正答率は 18.0%であった。なお、最も多かった回答は「わからない」(56.5%)で、半数以上を占めた。

* 正答率は、「国債の価格が上がると、金利は下がる」と答えた比率。

(図表 3 - 2) 国債の金利と価格の関係 (問 9)

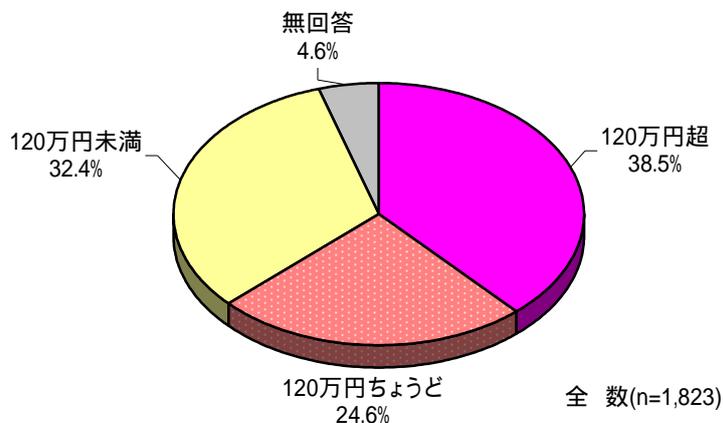


(3) 金利の計算

- 複利計算の正答率は 38.5%で、誤回答の「120万円未満」は 32.4%、「120万円ちょうど」は 24.6%であった。

* 正答率は、預金金利が年率 2%の場合 100万円を 10年後まで預けたときの金額を「120万超」と答えた比率。

(図表 3 - 3) 金利の計算 (問 10)



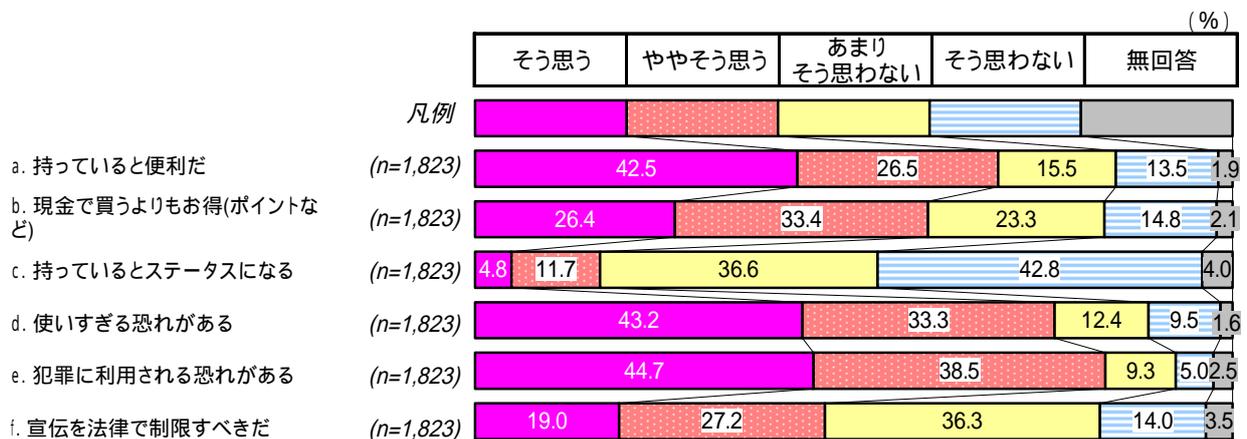
4 . クレジットカードについて

(1) クレジットカードに対する意見

- クレジットカードに対する考えを尋ねたところ、“ 犯罪に利用される恐れがある ” および “ 使いすぎる恐れがある ” という意見については、『 と思う 』がそれぞれ 8 割前後と多数を占めた (“ 犯罪に利用される恐れがある ” 83.2%、“ 使いすぎる恐れがある ” 76.5%)。
- また、“ 持っている と便利だ ”、“ 現金で買うよりもお得 (ポイントなど) ” も、『 と思う 』(69.1%) 人が『 と思わない 』(29.1%) を上回った。
- 一方で “ 持っている とステータスになる ” は、『 と思わない 』(79.5%) という意見も 8 割あった。
- “ 宣伝を法律で制限すべきだ ” は、『 と思う 』(46.2%) と『 と思わない 』(50.3%) が 5 割前後で、意見が分かれた。

* 『 と思う 』は「 と思う 」と「 やや と思う 」の合計。『 と思わない 』は「 と思わない 」と「 あまり と思わない 」の合計。

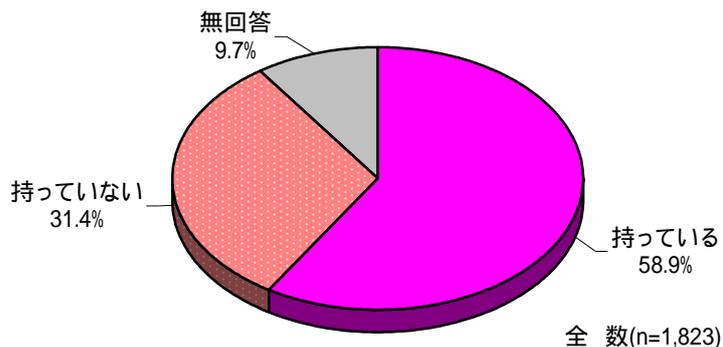
(図表 4 - 1) クレジットカードに対する意見 (問 11)



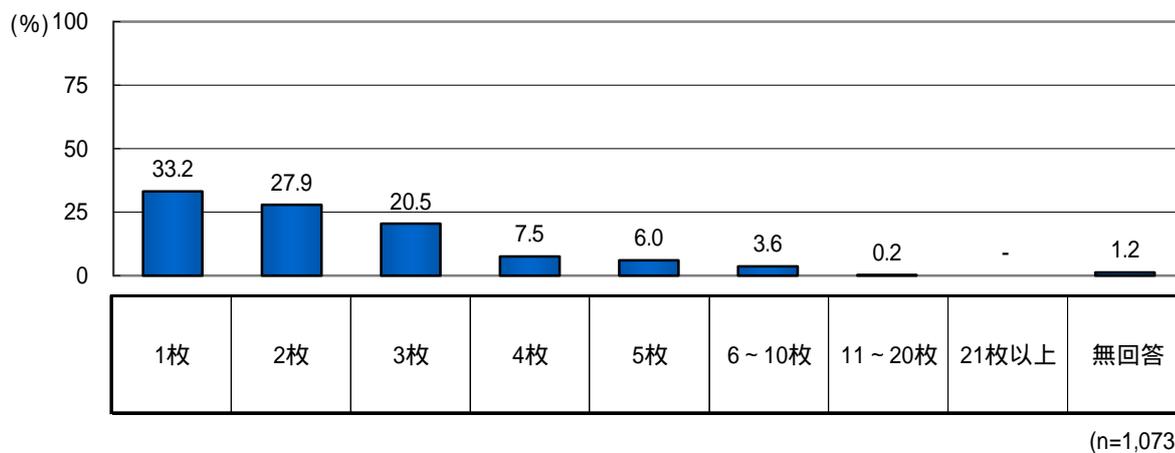
(2) 自分名義のクレジットカードの保有状況

- 自分名義のクレジットカードを、「持っている」は 58.9%で、「持っていない」(31.4%) を上回った。
- クレジットカード保有者 (1,073 人) に対し、持っているクレジットカードの枚数を尋ねたところ、「 1 枚」が 33.2%で最も多く、「 2 枚」が 27.9%、「 3 枚」が 20.5%となった。なお、平均保有枚数は 2.4 枚であった。

(図表 4 - 2) 自分名義のクレジットカードの保有状況 (問 12)



(図表 4 - 3) 自分名義のクレジットカードの保有枚数 (問 12 - 1)

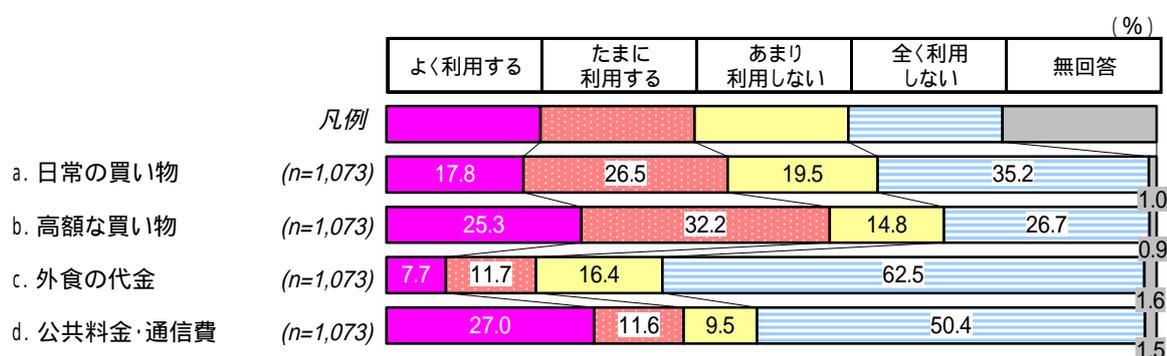


(3) クレジットカードの利用状況

- クレジットカード保有者(1,073人)のうち、“日常の買い物”に『利用する』は44.3%にとどまり、『利用しない』(54.7%)が半数を超えた。一方、“高額な買い物”では、『利用する』(57.6%)が6割近くを占めた。“外食の代金”については、『利用する』は19.5%で、『利用しない』人が78.9%と多数を占めた。“公共料金・通信費”は『利用する』が38.6%で、『利用しない』(59.9%)の方が上回った。

* 『利用する』は「よく利用する」と「たまに利用する」の合計。『利用しない』は「全く利用しない」と「あまり利用しない」の合計。

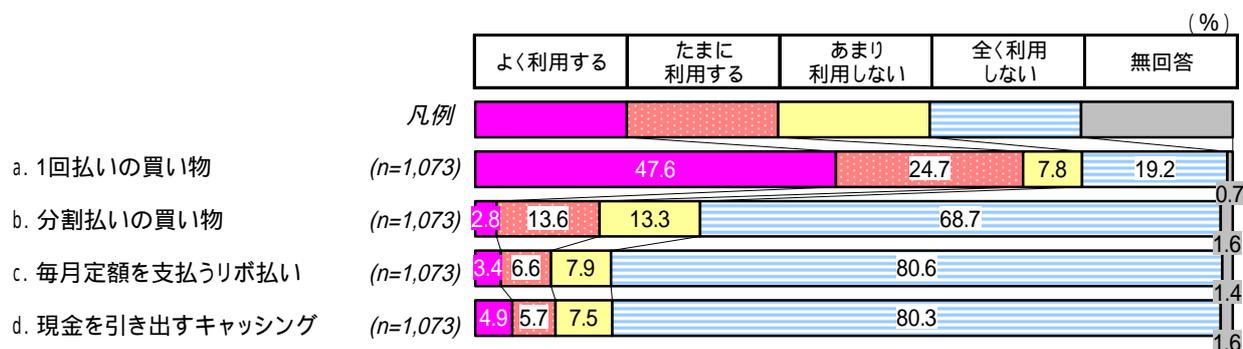
(図表4-4) クレジットカードの利用状況(問12-2)



(4) クレジットカード機能の利用状況

- クレジットカード保有者(1,073人)のうち、自分名義のクレジットカードの“1回払いの買い物”機能は、『利用する』人が72.3%となった。
- 一方、“分割払いの買い物”(『利用する』16.4%)、“毎月定額を支払うリボ払い”(同10.1%)、“現金を引き出すキャッシング”(同10.6%)の機能の利用率はいずれも1割台にとどまり、『利用しない』が多数を占めた。特に“リボ払い”(80.6%)と“キャッシング”(80.3%)は、8割が「全く利用しない」と回答した。

(図表4-5) クレジットカード機能の利用状況(問12-3)



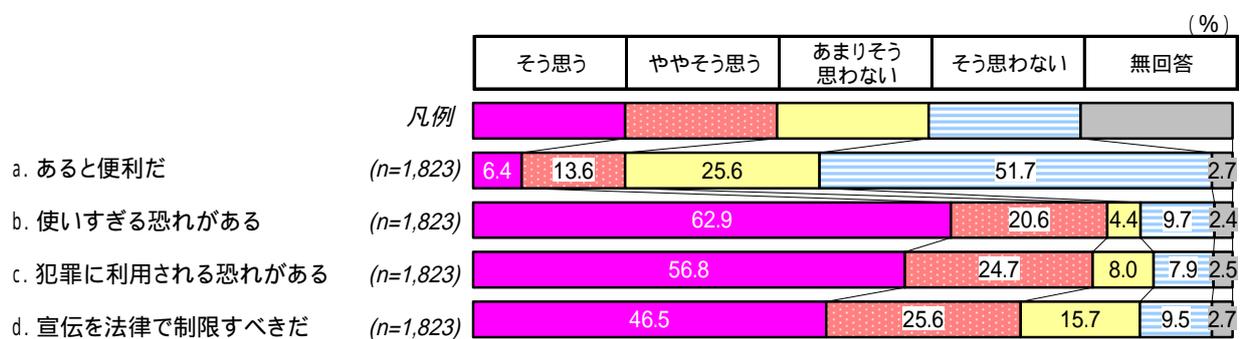
5. 消費者金融について

(1) 消費者金融に対する意見

- 消費者金融に対して、“あると便利だ”という意見に『そう思う』(20.0%)は2割にとどまり、『そう思わない』(77.3%)が8割近い。
- また、“使いすぎる恐れがある”(『そう思う』83.5%)、「犯罪に利用される恐れがある」(同81.6%)、「宣伝を法律で制限すべきだ」(同72.1%)という否定的な意見については、いずれも『そう思う』人が7割以上と多数を占めた。

* 『そう思う』は「そう思う」と「ややそう思う」の合計。『そう思わない』は「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計。

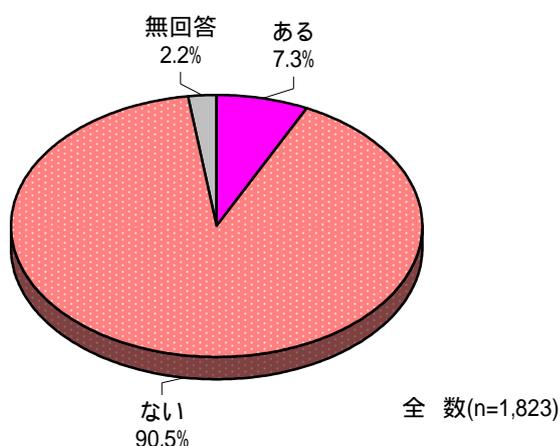
(図表5 - 1) 消費者金融に対する意見 (問13)



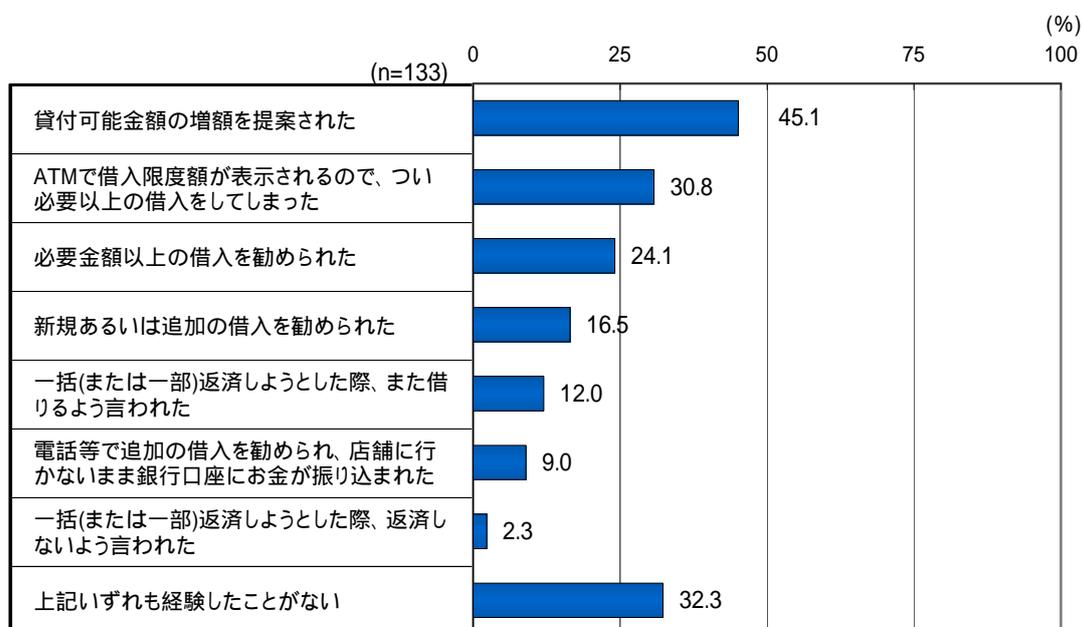
(2) 消費者金融からの借入経験

- これまでに消費者金融から借入したことが「ある」人は 7.3%にとどまり、9割(90.5%)は借入経験は「ない」との回答であった。
- 消費者金融借入経験者(133人)が借入した際に経験したこと(複数回答)としては、「貸付可能金額の増額を提案された」が45.1%で最も多く、以下、「ATMで借入限度額が表示されるので、つい必要以上の借入をしてしまった」(30.8%)、「必要金額以上の借入を勧められた」(24.1%)、「新規あるいは追加の借入を勧められた」(16.5%)などの順で続いた。
- 「上記いずれも経験したことがない」人は、32.3%であった。

(図表5-2) 消費者金融からの借入経験(問14)



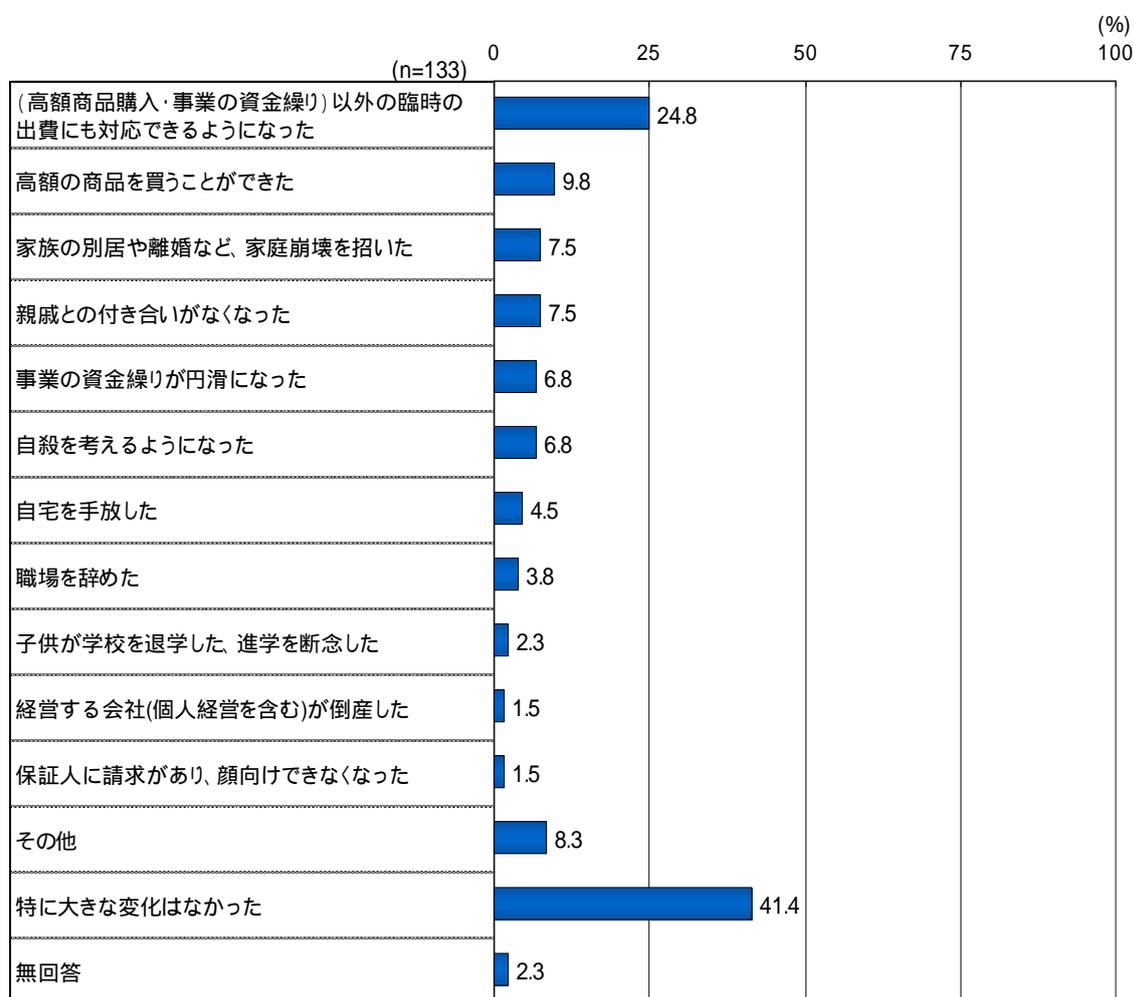
(図表5-3) 消費者金融から借入した際の経験(問14-1、複数回答)



(3) 消費者金融から借入したことによる生活の変化

- 消費者金融借入経験者(133人)が消費者金融で借入したことによる日常生活の変化(複数回答)としては、「上記(高額の商品を買う、事業の資金繰り)以外の臨時の出費にも対応できるようになった」が24.8%で最も多かった。以下、「高額の商品を買うことができた」(9.8%)、「家族の別居や離婚など、家庭崩壊を招いた」(7.5%)、「親戚との付き合いがなくなった」(7.5%)、「事業の資金繰りが円滑になった」(6.8%)、「自殺を考えるようになった」(6.8%)の順であったが、いずれも1割に満たない。
- 「特に大きな変化はなかった」人は41.4%であった。

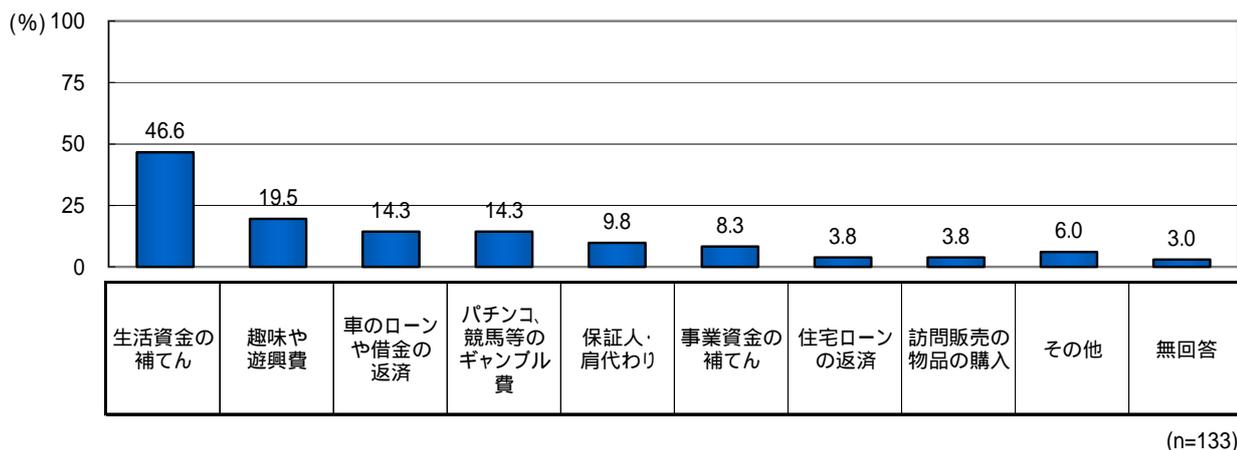
(図表5-4) 消費者金融から借入したことによる生活の変化(問14-2、複数回答)



(4) 消費者金融から借入した理由

- 消費者金融借入経験者（133人）が消費者金融から借入した理由（複数回答）としては、「生活資金の補てん」が46.6%で最も多かった。以下、「趣味や遊興費」（19.5%）、「車のローンや借金の返済」（14.3%）、「パチンコ、競馬等のギャンブル費」（14.3%）がいずれも1割以上でこれに続いた。

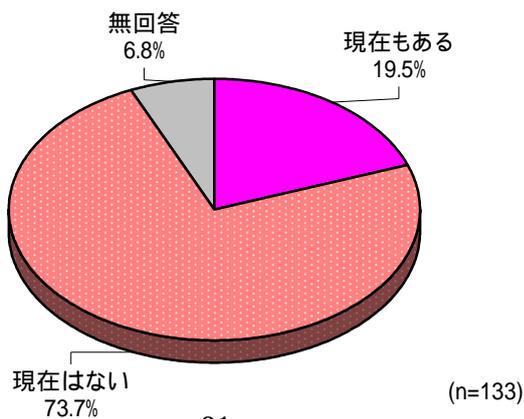
(図表5-5) 消費者金融から借入した理由（問15、複数回答）



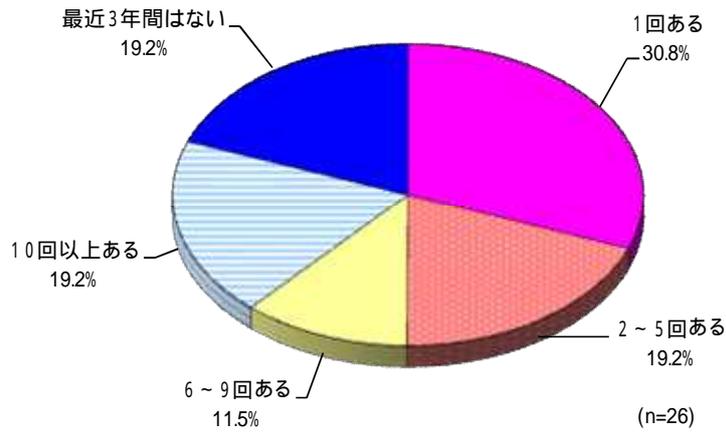
(5) 現在の消費者金融からの借入

- 消費者金融借入経験者（133人）のうち、消費者金融からの借入が「現在もある」人は19.5%で、7割以上（73.7%）は「現在はない」と回答した。
- 現在借入がある26人中、最近3年間の借入が「1回ある」のは8人、「2～5回ある」のは5人となった。
- 現在借入がある26人の現在の借入総額は、「50～99万円」と「100～299万円」がともに6人で、18人の平均現在借入総額は134.1万円であった。
- 現在、消費者金融からの借入がある26人のうち11人は、返済に「少し困難を感じている」と回答した（複数回答）。「すでに返済困難な状況になっている」人は4人で、「多重債務、個人破産に追い込まれている」は1人が回答した。

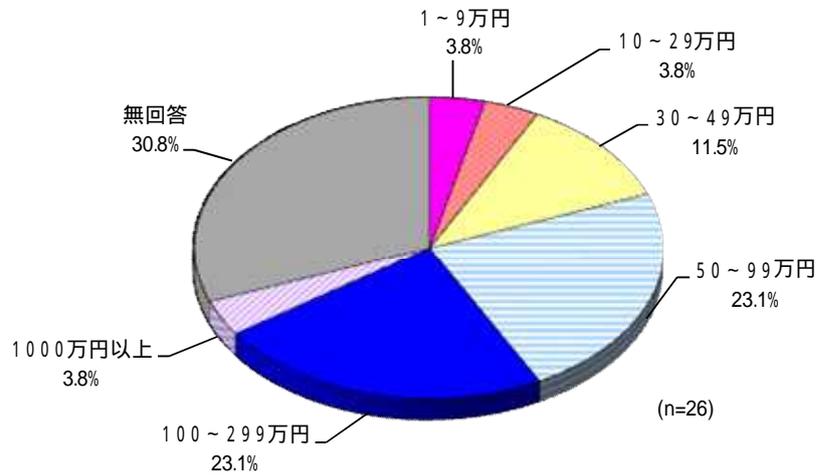
(図表5-6) 現在の消費者金融から借入（問16）



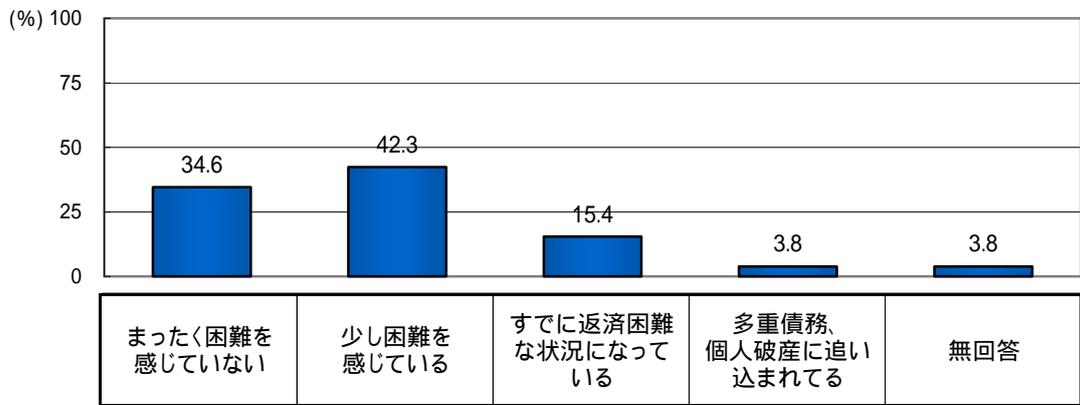
(図表 5 - 7) 最近 3 年間の消費者金融から借入回数 (問 16 - 1)



(図表 5 - 8) 現在の消費者金融からの借入総額 (問 16 - 2)



(図表 5 - 9) 消費者金融からの借入返済の困難 (問 16 - 3、複数回答)

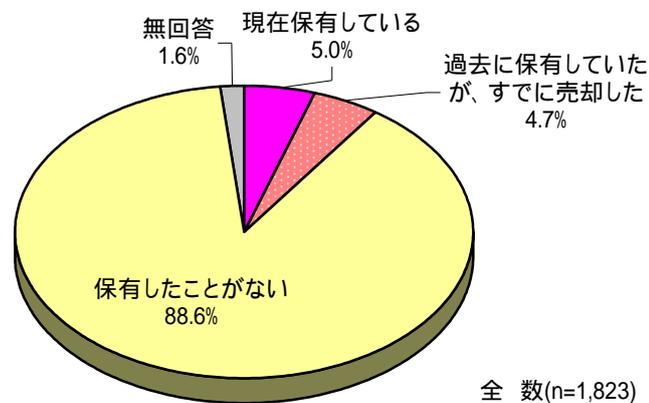


6 . 日本の国債について

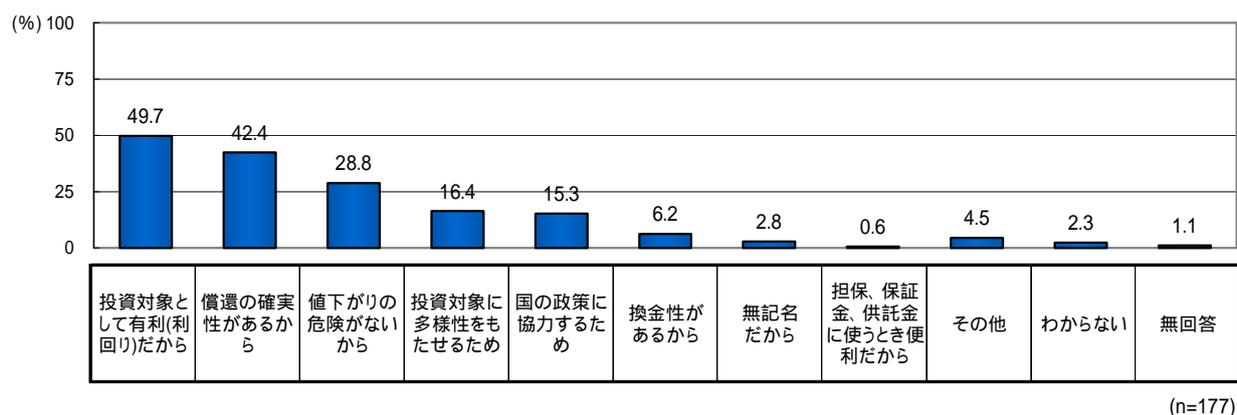
(1) 日本国債の保有状況

- 日本の国債を、「現在保有している」人は5.0%で、「過去に保有していたが、すでに売却した」人(4.7%)を合わせた国債保有経験者は1割となった。一方、9割近くは「保有したことがない」(88.6%)と回答した。
- 国債保有者もしくは保有経験者(177人)の購入理由(複数回答)としては、「投資対象として有利(利回り)だから」が49.7%、「償還の確実性があるから」が42.4%で上位にあげられた。以下、「値下がりの危険がないから」(28.8%)、「投資対象に多様性をもたせるため」(16.4%)、「国の政策に協力するため」(15.3%)などの順となった。

(図表 6 - 1) 日本国債の保有状況 (問 17)



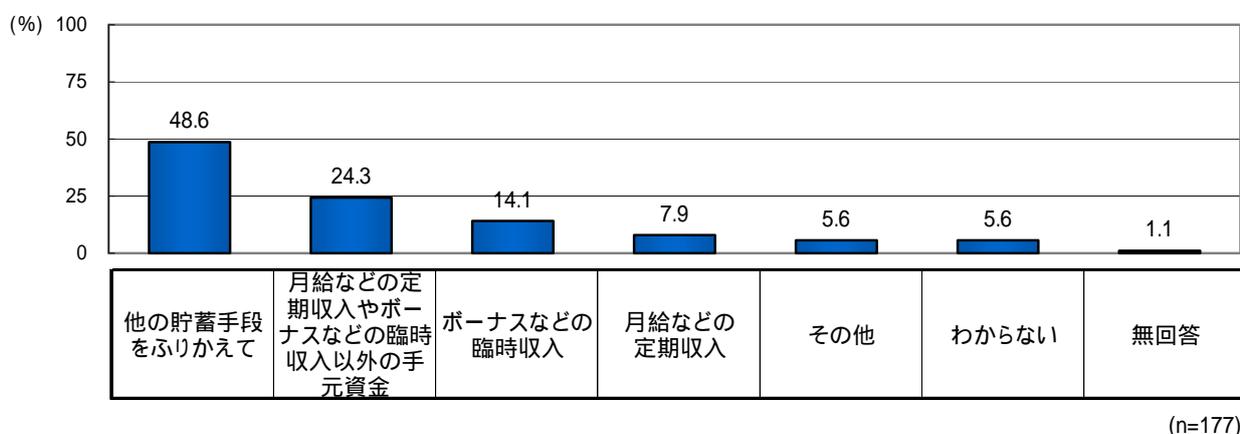
(図表 6 - 2) 日本国債の購入理由 (問 17 - 1、複数回答)



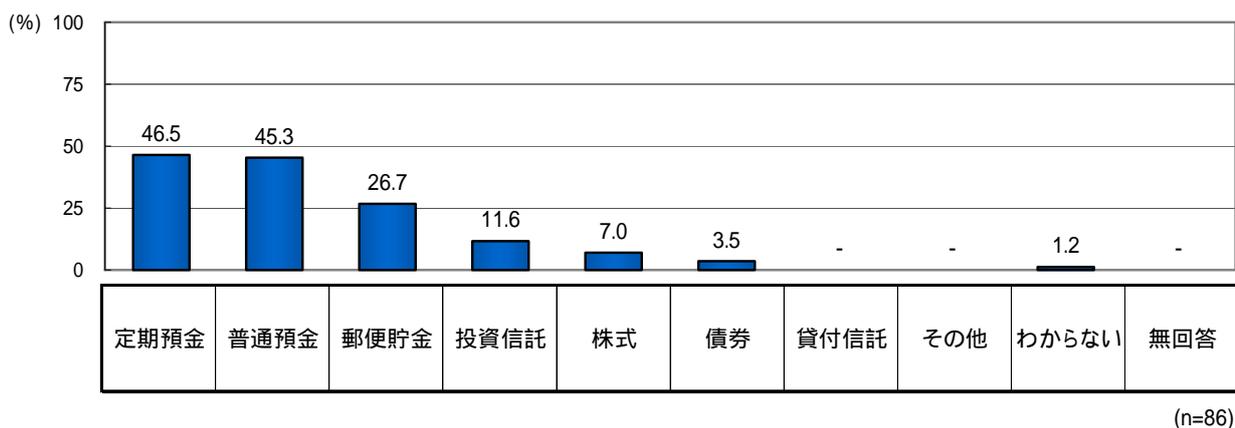
(2) 国債購入資金源

- 国債保有者もしくは保有経験者（177人）が日本国債を購入する資金（複数回答）としては、「他の貯蓄手段をふりかえて」が48.6%で最も多く、以下、「上記（定期収入、臨時収入の手元現金）以外の手元現金（24.3%）」「ボーナスなどの臨時収入の手元現金（14.1%）」「月給などの定期収入（7.9%）」の順となった。
- 日本国債購入資金として他の貯蓄手段をふりかえた86人が実際にふりかえた他の貯蓄手段（複数回答）としては、「定期預金」（46.5%）と「普通預金」（45.3%）が4割台、「郵便貯金」（26.7%）が2割台であげられた。

(図表6-3) 国債購入資金源（問17-2、複数回答）



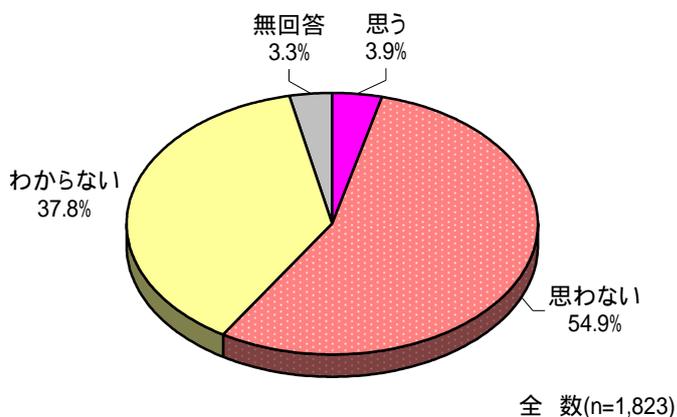
(図表6-4) 国債購入資金にふりかえた他の貯蓄手段（問17-3、複数回答）



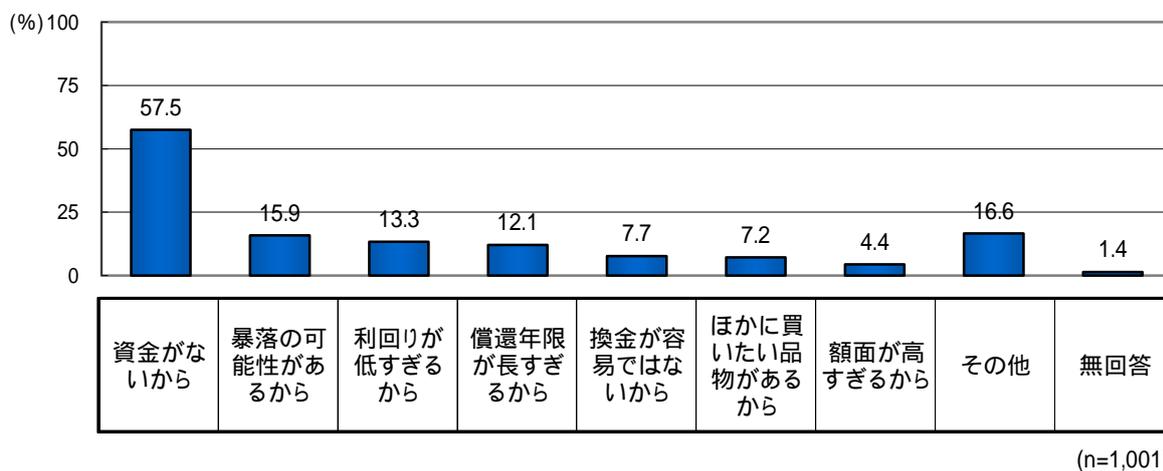
(3) 今後の国債購入意向

- 今後、日本国債を買いたいと「思う」人は 3.9%にとどまり、過半数は「思わない」(54.9%) と回答した。「わからない」人も 37.8%となった。
- 日本国債を買いたいと思わない人 (1,001 人) が買いたいと思わない理由 (複数回答) としては、「資金がないから」が 57.5%で際立って多くあげられた。次いで、「暴落の可能性のあるから」(15.9%)、「利回りが低すぎるから」(13.3%)、「償還年限が長すぎるから」(12.1%) が 1 割台で続いた。

(図表 6 - 5) 今後の国債購入意向 (問 18)



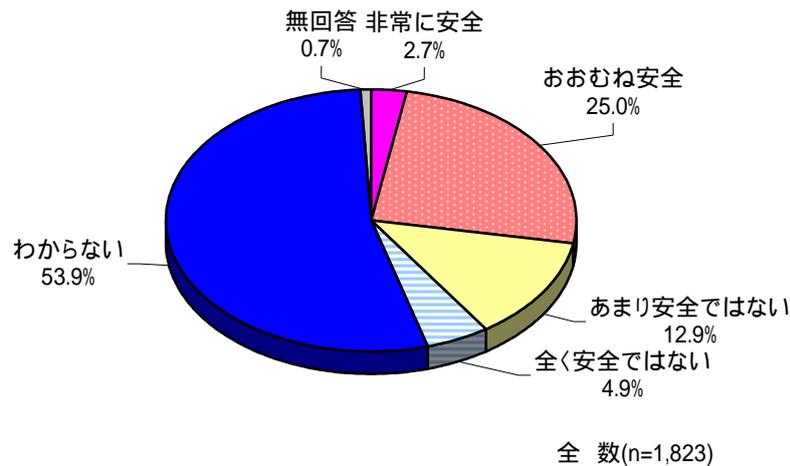
(図表 6 - 6) 国債を購入しない理由 (問 18 - 1、複数回答)



(4) 国債の資産としての安全性

- 国債は安全な資産と思うかについては、『安全』(27.7%)が3割弱で、『安全でない』(17.8%)と回答した人は、2割弱となった。
 - 過半数は、「わからない」(53.9%)と回答した。
- * 『安全』は「非常に安全」と「おおむね安全」の合計。『安全でない』は「全く安全でない」と「あまり安全でない」の合計。

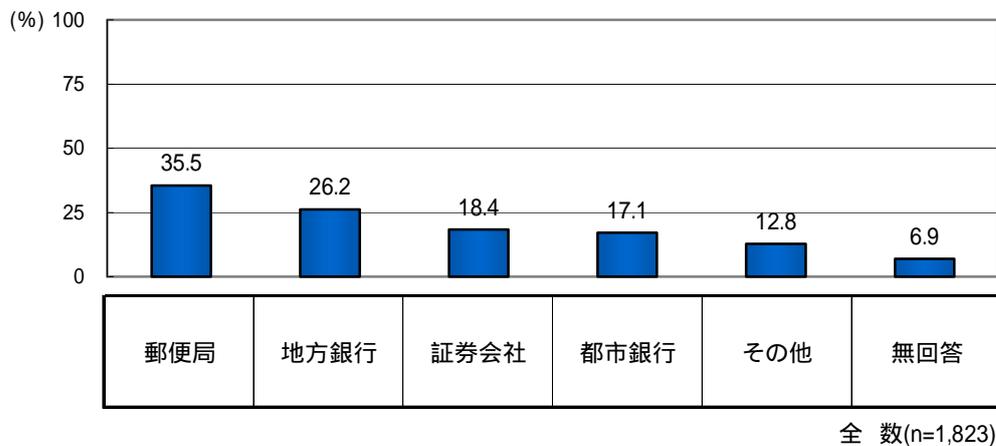
(図表6-7) 国債の資産としての安全性 (問19)



(5) 国債を買う場合の購入元

- 今後仮に国債を買う場合の購入元(複数回答)としては、「郵便局」が35.5%で最も多くあげられた。以下、「地方銀行」(26.2%)、「証券会社」(18.4%)、「都市銀行」(17.1%)の順であった。

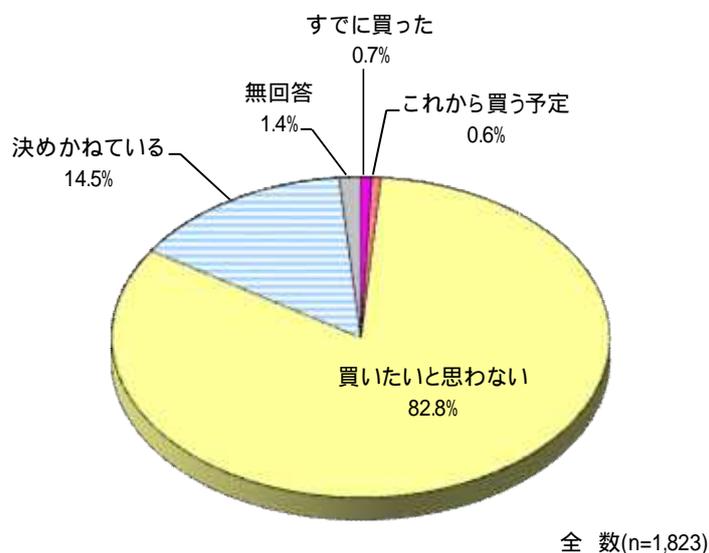
(図表6-8) 国債を買う場合の購入元 (問20、複数回答)



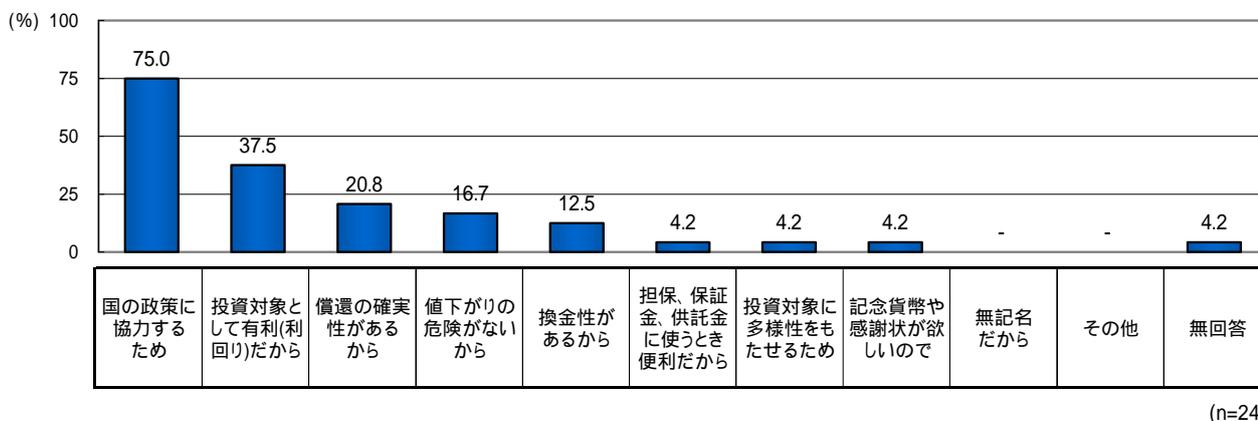
(6) 復興国債購入意向

- 東日本大震災の復興財源としての個人向け復興国債の購入意向としては、「買いたくない」と思わない人(82.8%)が8割を上回って多数を占めた。
- 「すでに買った」(0.7%)もしくは「これから買う予定」(0.6%)と回答した人は、それぞれ1%に満たなかった。また、「決めかねている」人は14.5%となった。
- 個人向け復興国債を「すでに買った」もしくは「これから買う予定」と回答した24人の購入理由(複数回答)としては、「国の政策に協力するため」が18人、「投資対象として有利(利回り)だから」が9人であった。
- 個人向け復興国債を「買いたくない」と思わないもしくは購入を「決めかねている」人(1,774人)の理由(複数回答)としては、「資金がないから」(57.0%)が半数を超えて最も多く、次いで、「なんとなくなじみがないから」(36.6%)が4割弱となった。

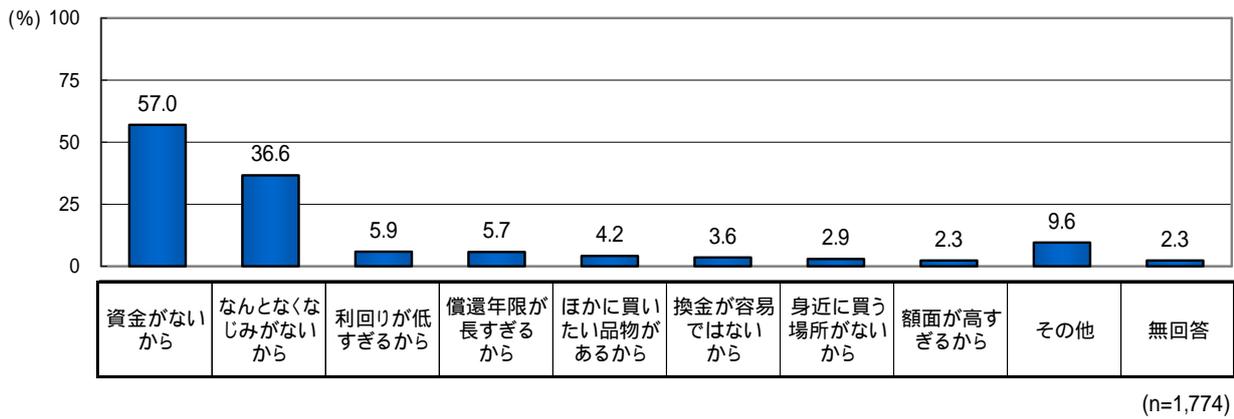
(図表6-9) 復興国債購入意向(問21)



(図表6-10) 復興国債購入理由(問21-1、複数回答)



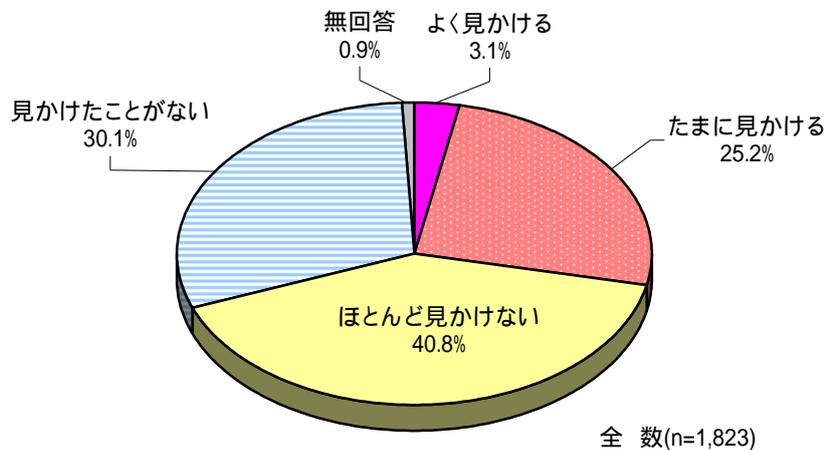
(図表 6 - 11) 復興国債を購入しない理由 (問 21 - 2、複数回答)



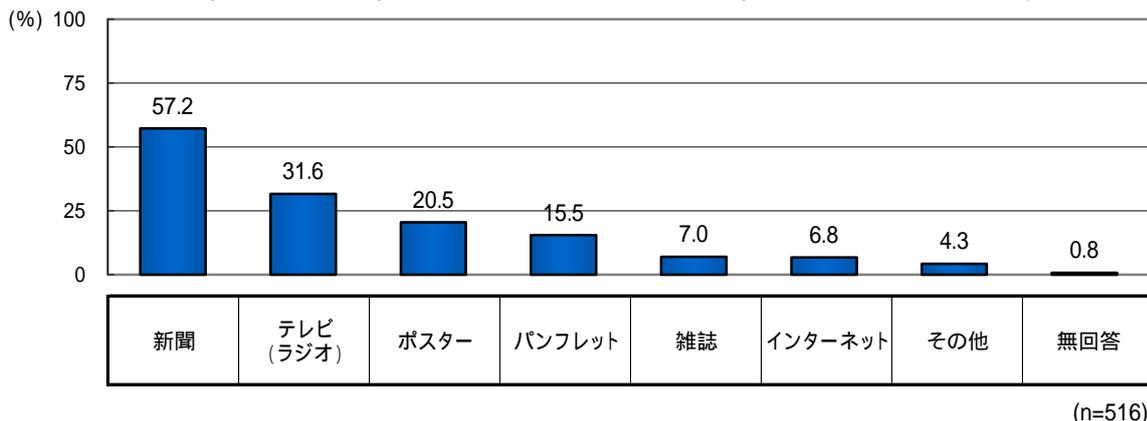
(7) 国債発行広告の接触状況

- 国債発行の広告を、『見かける』(28.3%)と回答した人は3割弱で、7割は『見かけない』(70.8%)と回答した。
 - 国債発行の広告を見かける媒体(複数回答)としては、「新聞」が57.2%で最も多く、以下、「テレビ(ラジオ)」(31.6%)、「ポスター」(20.5%)、「パンフレット」(15.5%)などが上位にあげられた。
- * 『見かける』は「よく見かける」と「たまに見かける」の合計。『見かけない』は「ほとんど見かけない」と「見かけたことがない」の合計。

(図表 6 - 12) 国債発行広告の接触状況 (問 22)



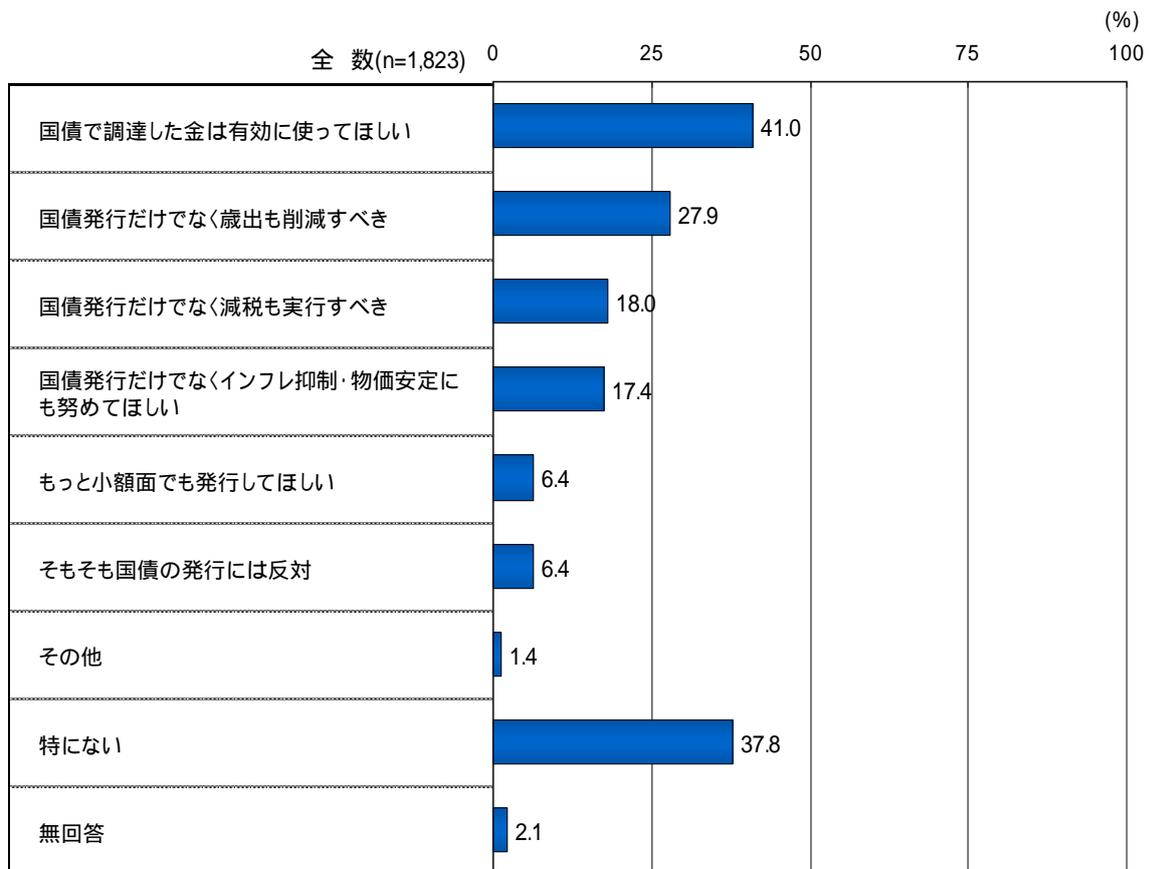
(図表 6 - 13) 国債発行広告の接触媒体 (問 22 - 1、複数回答)



(8) 国債発行に関する政府への要望

- 国債発行に関する政府に対しての要望（複数回答）としては、「国債で調達した金は有効に使ってほしい」が41.0%で最も多くなった。以下、「国債発行だけでなく歳出も削減すべき」(27.9%)、「国債発行だけでなく減税も実行すべき」(18.0%)、「国債発行だけでなくインフレ抑制・物価安定にも努めてほしい」(17.4%)などが上位にあげられた。
- 「特にない」と回答した人は37.8%であった。

(図表 6 - 14) 国債発行に関する政府への要望 (問 23、複数回答)

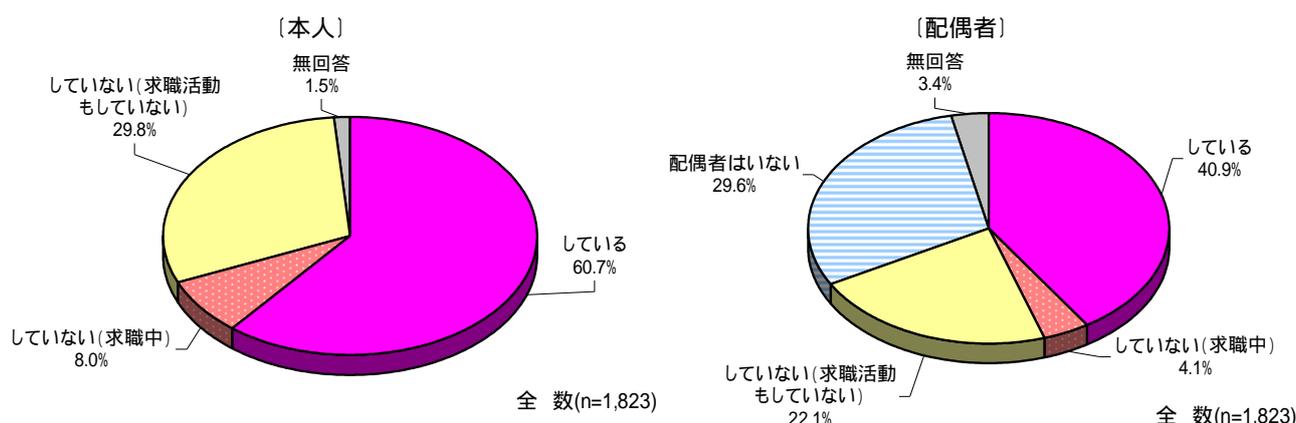


7. 就業状況

(1) 現在就業状況(本人・配偶者)

- 回答者本人で現在収入をとまなう仕事を「している」は60.7%で、現在収入をとまなう仕事を「していない(求職中)」は8.0%、「していない(求職活動もしていない)」は29.8%となった。
- 一方、配偶者が現在収入をとまなう仕事を「している」と回答した人は40.9%で、「していない(求職中)」は4.1%、「していない(求職活動もしていない)」は22.1%となった。3割は、「配偶者はいない」(29.6%)という回答であった。

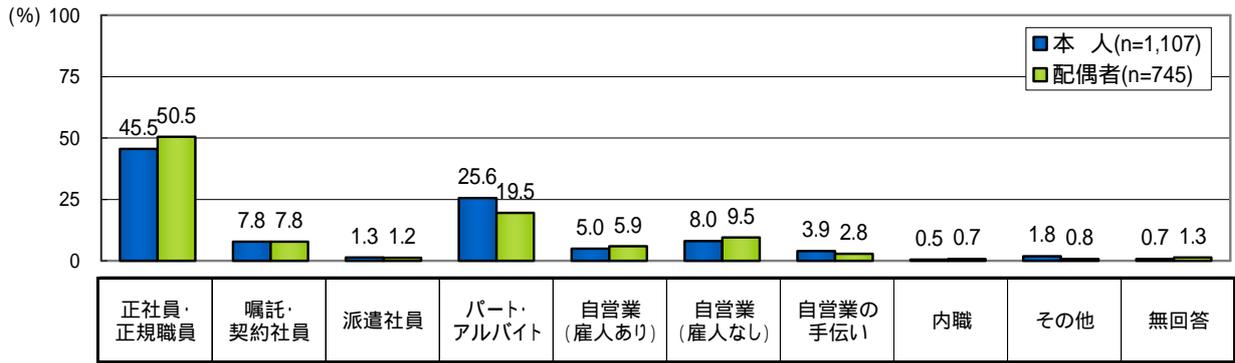
(図表7-1) 現在就業状況(本人・配偶者)(問24・問25)



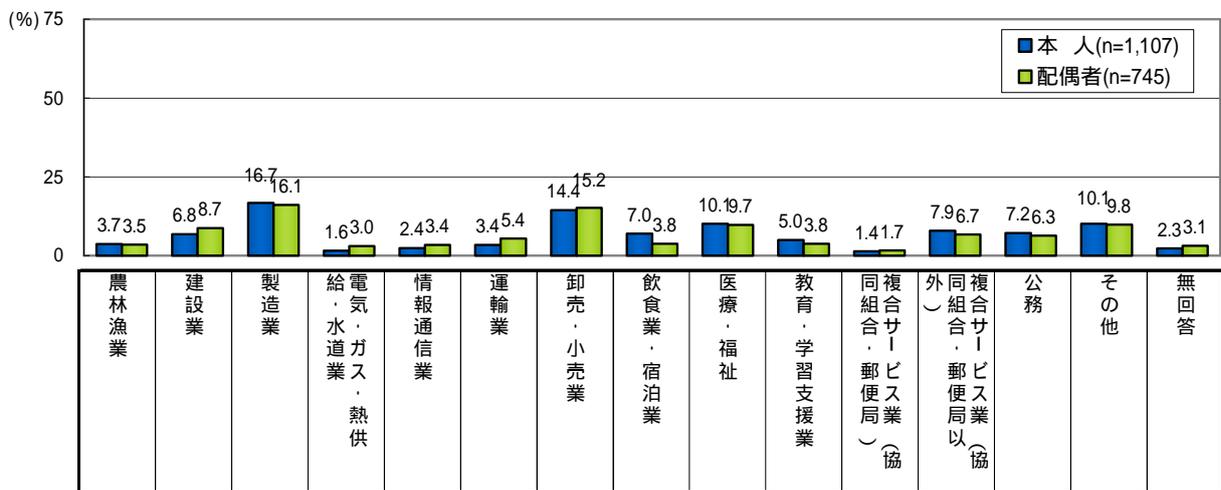
(2) 就業者の雇用形態・業種・職種(本人・配偶者)

- 有職回答者(1,107人)の雇用形態は、「正社員・正規職員」が45.5%、「パート・アルバイト」が25.6%となった。一方、配偶者が有職の回答者(745人)の配偶者の雇用形態は、「正社員・正規職員」(50.5%)が半数、次いで、「パート・アルバイト」(19.5%)、「自営業(雇人なし)」(9.5%)、「嘱託・契約社員」(7.8%)の順となった。
- 業種は、回答者本人は、「製造業」(16.7%)、「卸売・小売業」(14.4%)、「医療・福祉」(10.1%)がいずれも1割台であった。配偶者は、「製造業」(16.1%)と「卸売・小売業」(15.2%)が1割台で並んだ。
- さらに、回答者本人の職種は、「専門・技術的職業」(17.4%)、「事務的な仕事」(17.4%)、「営業・販売の仕事」(15.4%)、「技能工・生産工程に関わる職業」(15.0%)、「サービスの職業」(13.4%)が1割台となった。一方、配偶者の職種は、「技能工・生産工程に関わる職業」(18.0%)、「専門・技術的職業」(16.9%)、「営業・販売の仕事」(14.6%)、「事務的な仕事」(13.8%)、「サービスの職業」(10.2%)の順で、いずれも1割台となった。

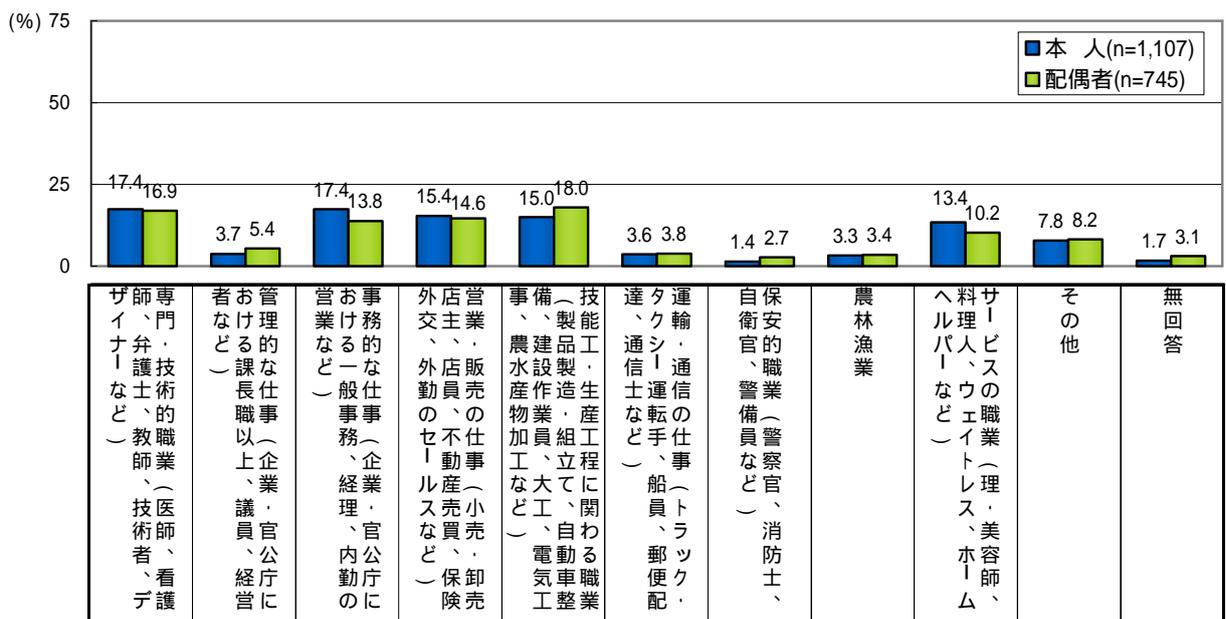
(図表 7 - 2) 就業者の雇用形態 (本人・配偶者)(問 24-1 ・ 問 25-1)



(図表 7 - 3) 就業者の業種 (本人・配偶者)(問 24-1 ・ 問 25-1)



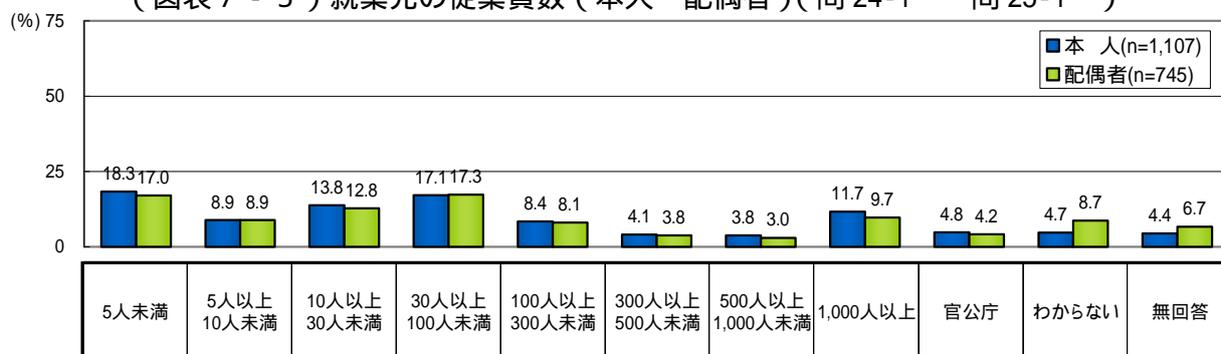
(図表 7 - 4) 就業者の職種 (本人・配偶者)(問 24-1 ・ 問 25-1)



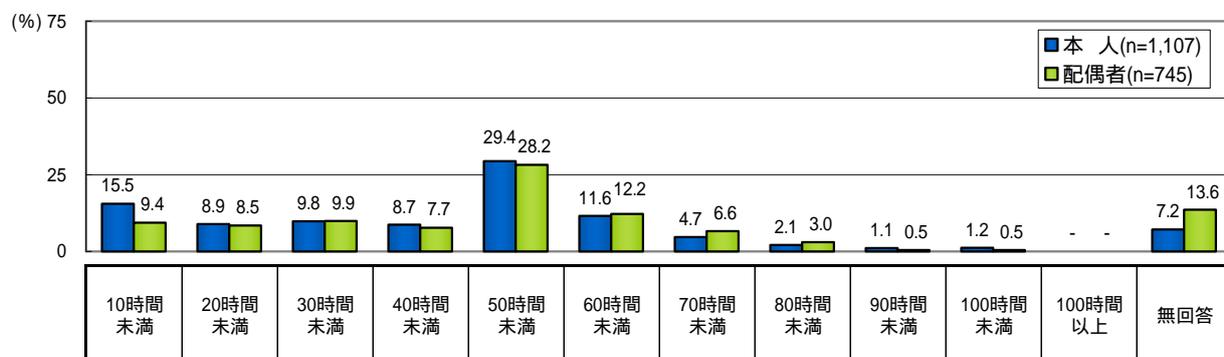
(3) 就業者の就業先従業員数・就労時間・就労時期(本人・配偶者)

- 有職回答者(1,107人)の就業先の従業員数は、「5人未満」が18.3%、「30人以上100人未満」が17.1%、「10人以上30人未満」が13.8%となった。配偶者が有職の回答者(745人)の配偶者では、「30人以上100人未満」(17.3%)、「5人未満」(17.0%)、「10人以上30人未満」(12.8%)の順となった。
- 残業時間を含んだ1週間の就労時間は、回答者本人、配偶者ともに「40時間以上50時間未満」が最も多い。平均残業時間は、回答者本人(1,027人)では34.6時間、配偶者(644人)では36.7時間となった。
- 現在の就業先の就業時期は、回答者本人、配偶者ともに「2000年代」が約3割となった。

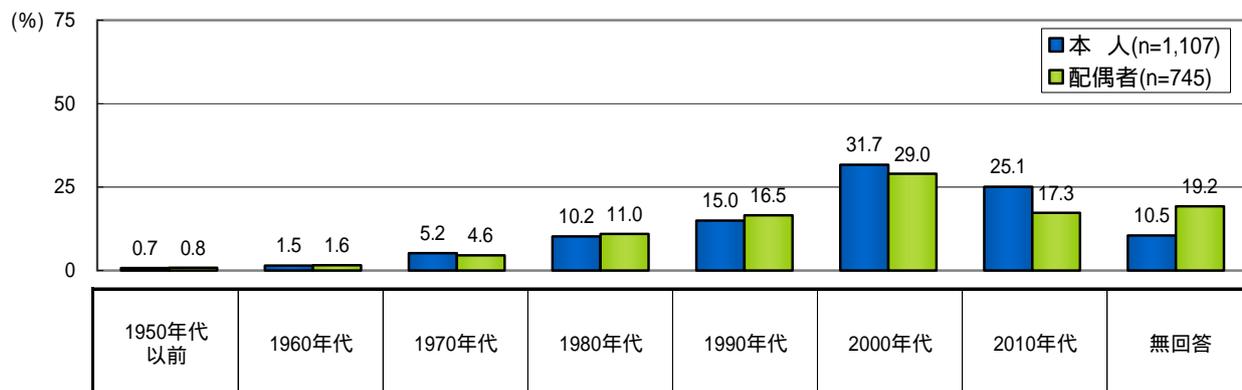
(図表7-5) 就業先の従業員数(本人・配偶者)(問24-1・問25-1)



(図表7-6) 就業者の就労時間(本人・配偶者)(問24-1・問25-1)



(図表7-7) 就業者の就労時期(本人・配偶者)(問24-1・問25-1)

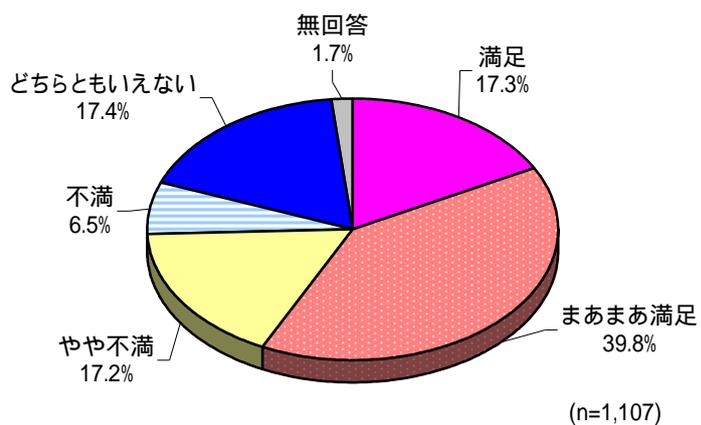


(4) 就業者の仕事に対する満足度(本人)

- 有職回答者(1,107人)の仕事に対する満足度は、「満足」が17.3%で、「まあまあ満足」(39.8%)を合わせると『満足』(57.2%)が6割近い。一方、『不満』(23.7%)と回答した人は、2割強であった。

* 『満足』は「満足」と「まあまあ満足」の合計。『不満』は「不満」と「やや不満」の合計。

(図表7-8) 就業者の仕事に対する満足度(本人)(問24-1)

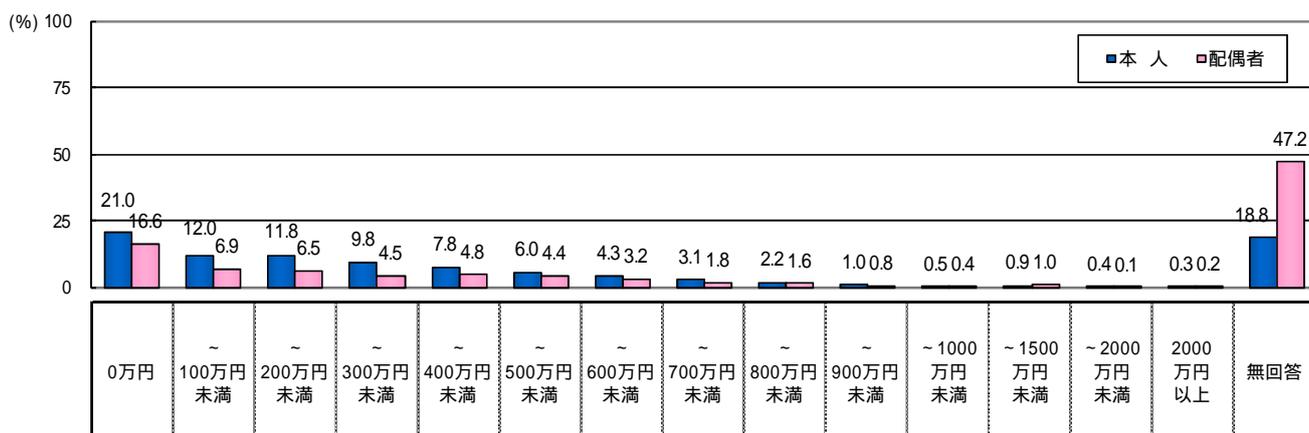


8 . 収入・支出について

(1) 昨年 1 年間の就労収入 (本人・配偶者)

- 昨年 1 年間の就労収入 (税込) は、回答者本人、配偶者ともに「 0 万円超 100 万円未満」(本人 12.0%、配偶者 6.9%)、「 100 万円以上 200 万円未満」(同 11.8%、6.5%)、「 200 万円以上 300 万円未満」(同 9.8%、4.5%) の順となった。2 割前後は、「 0 万円 (収入はなかった) 」と回答した。
- 平均収入は、回答者本人では 234.7 万円、配偶者では 230.9 万円となった。

(図表 8 - 1) 昨年 1 年間の就労収入 (本人・配偶者) (問 26)

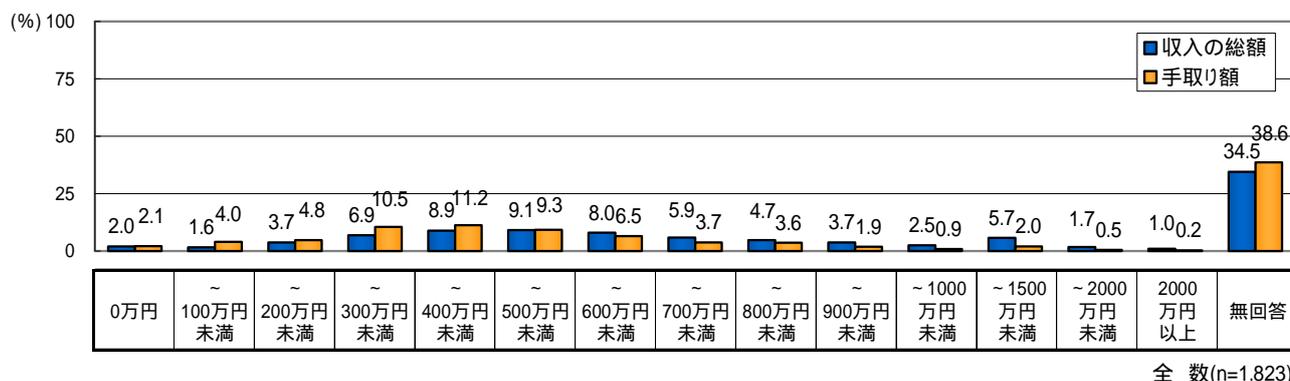


全 数 (n = 1,823)

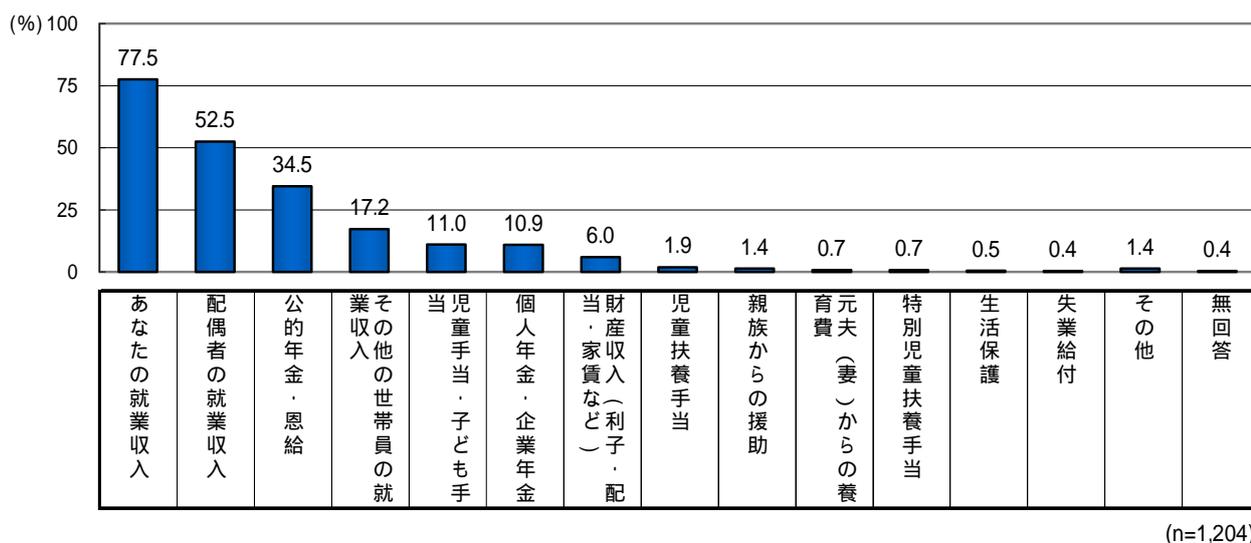
(2) 昨年の世帯年収(総収入・手取り)

- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年1年間の収入は、遺産を除いた税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入では、「400万円以上500万円未満」、「300万円以上400万円未満」、「500万円以上600万円未満」を中心に回答が分散し、平均世帯総収入は580.3万円となった。
- 一方、税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額は、「300万円以上400万円未満」、「200万円以上300万円未満」、「400万円以上500万円未満」に回答の中心が下がり、平均手取り額は415.0万円となった。
- 昨年世帯収入があった回答者(1,204人)の昨年の世帯収入源(複数回答)としては、「あなたの就業収入」が77.5%で最も多く、以下、「配偶者の就業収入」(52.5%)、「公的年金・恩給」(34.5%)、「その他の世帯員の就業収入」(17.2%)などが上位にあげられた。

(図表8-2) 昨年の世帯年収(総収入・手取り)(問27)



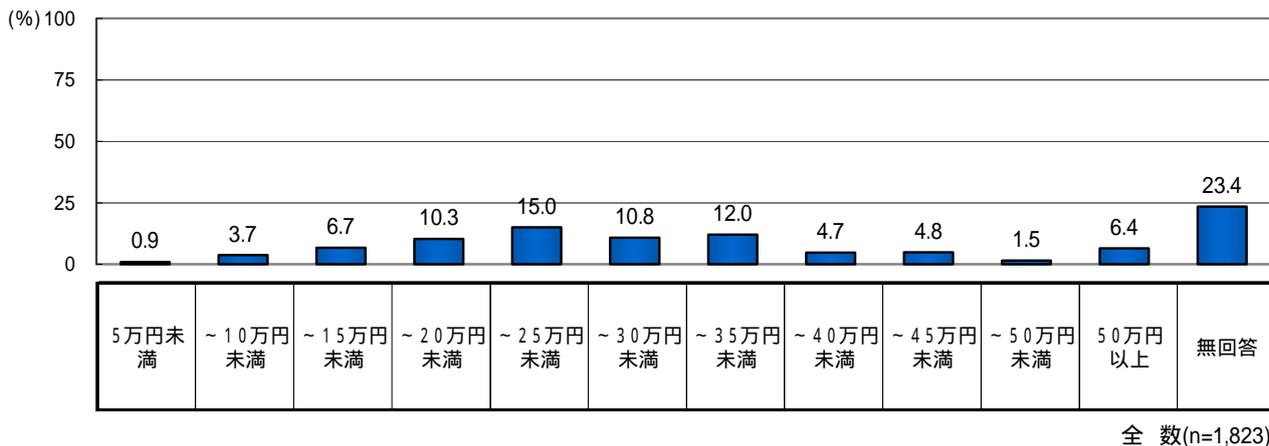
(図表8-3) 昨年の世帯収入源(問27-1、複数回答)



(3) 昨年ひと月あたりの世帯支出

- 回答者自身および生計をともにしている家族の昨年のひと月あたりの支出は、「20万円以上 25万円未満」が15.0%で最も多い。その前後の「30万円以上 35万円未満」(12.0%)、「25万円以上 30万円未満」(10.8%)、「15万円以上 20万円未満」(10.3%)の各回答はいずれも1割台であった。
- 昨年ひと月あたりの平均世帯支出額は31.6万円となった。

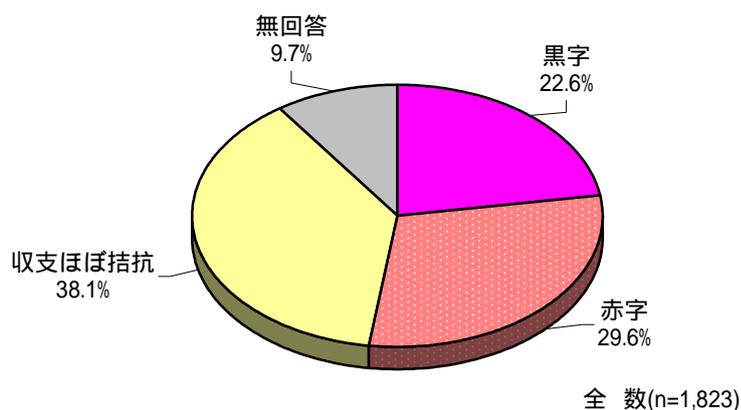
(図表 8 - 4) 昨年ひと月あたりの世帯支出 (問 28)



(4) 家計の収支状況

- 回答者の世帯の収支状況は、「収支ほぼ拮抗」(38.1%)が4割弱で、次いで「赤字」(29.6%)が3割、「黒字」(22.6%)は2割強となった。

(図表 8 - 5) 家計の収支状況 (問 29)

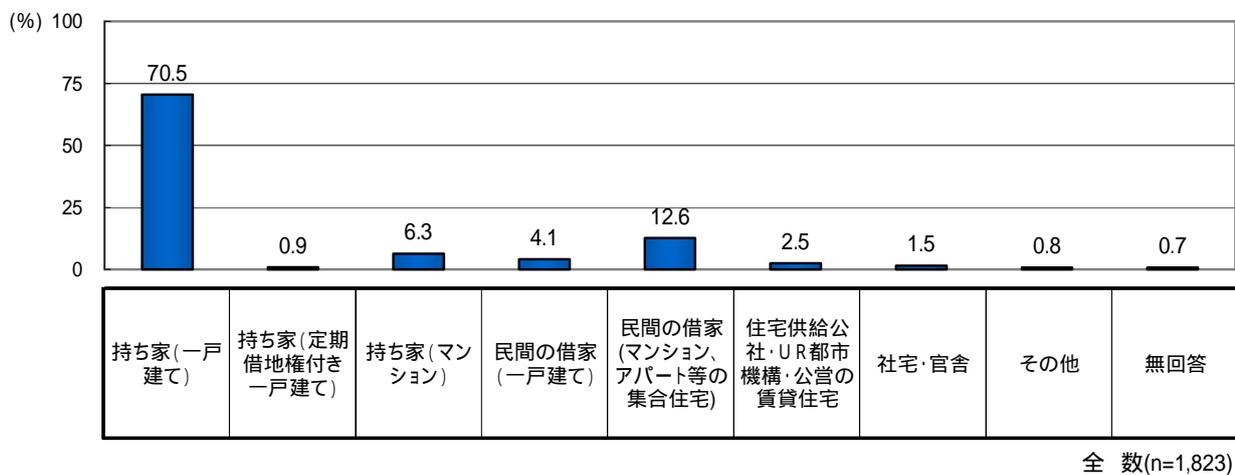


9. 住居について

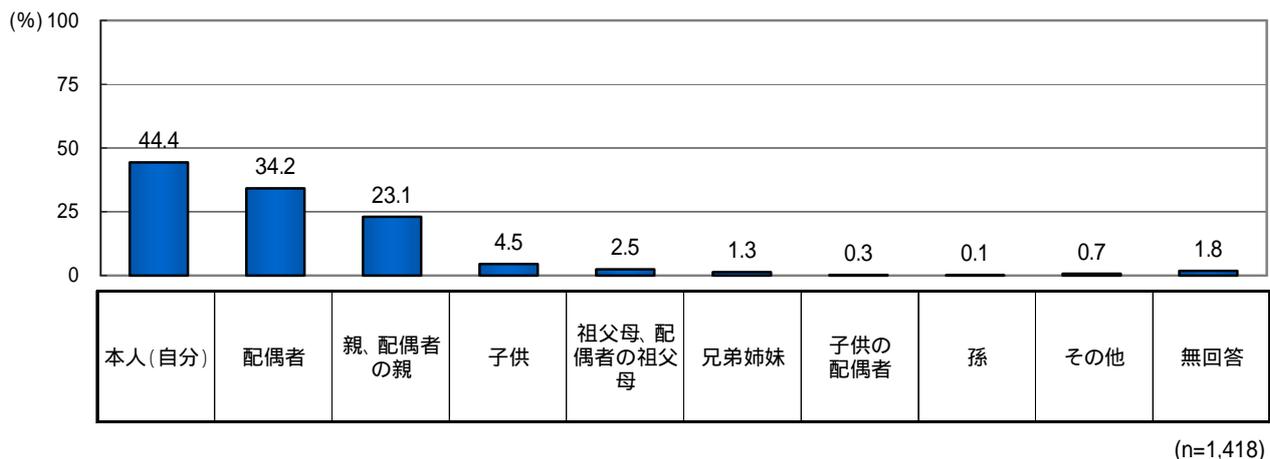
(1) 住居形態

- 現在の住居形態は、「持ち家（一戸建て）」（70.5%）が7割を占め、「持ち家（定期借地権付き一戸建て住宅）」（0.9%）、「持ち家（マンション）」（6.3%）を合わせると、『持ち家』居住（77.8%）が8割近くとなった。一方、「民間の借家（マンション、アパート等の集合住宅）」（12.6%）をはじめ、「民間の借家（一戸建て）」（4.1%）、「住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅」（2.5%）を合わせると、『賃貸住宅』居住（19.3%）は2割弱となった。
- 居住する『持ち家』（1,418人）の所有者（複数回答）は、「本人」が44.4%で最も多く、以下、「配偶者」（34.2%）、「親、配偶者の親」（23.1%）の順となった。

(図表9-1) 住居形態 (問30)



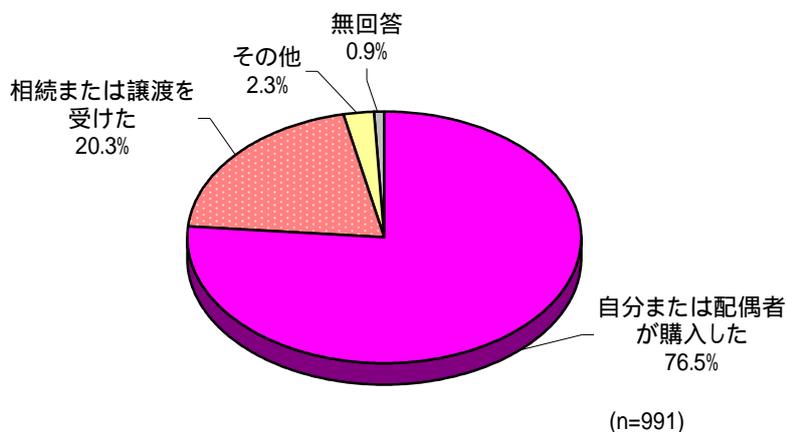
(図表9-2) 『持ち家』の所有者 (問30-1、複数回答)



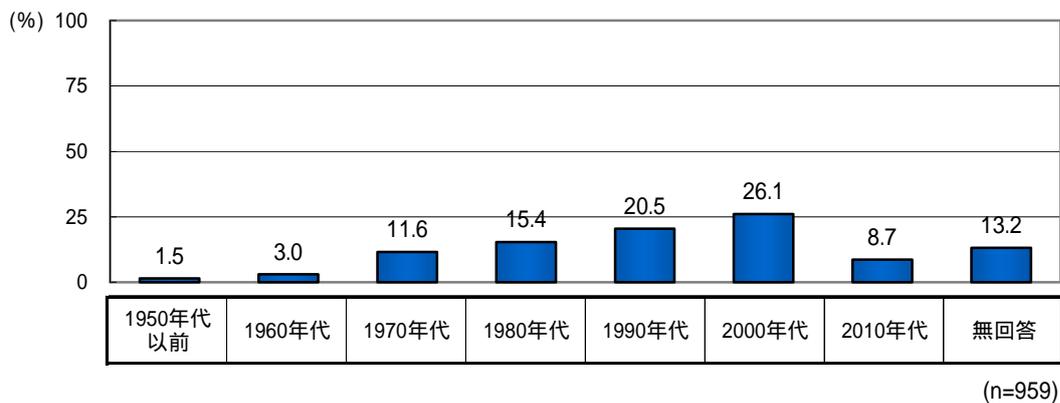
(2) 取得経路・取得時期

- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』所有者（991人）における、持ち家の取得経路は、「自分または配偶者が購入した」が76.5%を占め、「相続または譲渡を受けた」（20.3%）と回答した人は2割となった。
- 回答者本人もしくは配偶者が所有する『持ち家』を購入もしくは相続した時期は、「2000年代」が26.1%で、次いで、「1990年代」（20.5%）、「1980年代」（15.4%）、「1970年代」（11.6%）の順となった。

(図表 9 - 3) 『持ち家』の取得経路 (問 30 - 2)



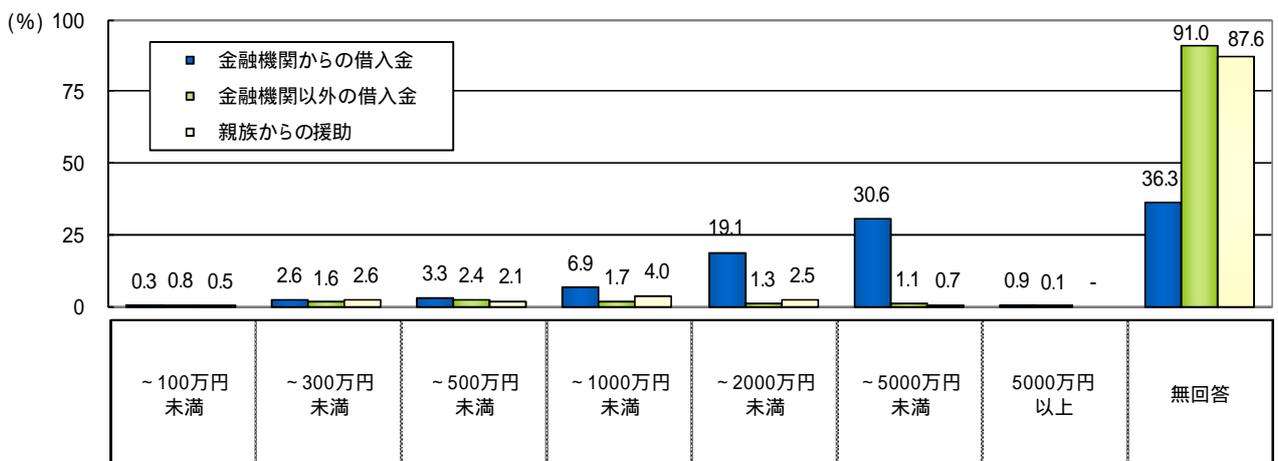
(図表 9 - 4) 『持ち家』の取得時期 (問 30 - 3)



(3) 自己資金以外の購入資金

- 回答者本人もしくは配偶者が購入した 758 人の『持ち家』購入資金の内訳としては、“金融機関からの借入金”は「2,000 万円以上 5,000 万円未満」が 30.6%で最も多く、次いで、「1,000 万円以上 2,000 万円未満」が 19.1%となった。平均借入金額は 1,974.8 万円であった。
- “それ（金融機関）以外の借入金”と“親族からの援助”については、9 割前後が無回答となった。平均額は、“それ（金融機関）以外の借入金”（68 人）は 812.8 万円、“親族からの援助”（94 人）は 602.8 万円であった。

(図表 9 - 5) 自己資金以外の購入資金 (問 30 - 4)

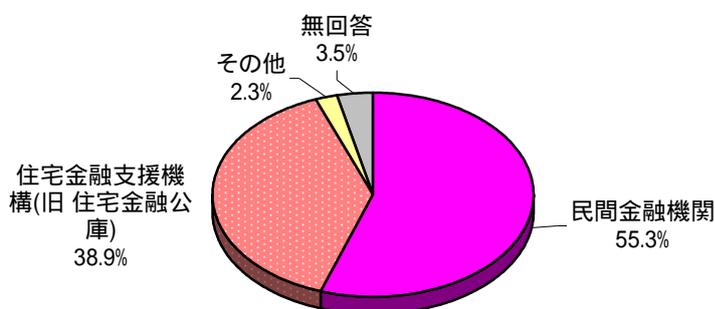


(n=758)

(4) 借入金融機関・金利タイプ・借入金利

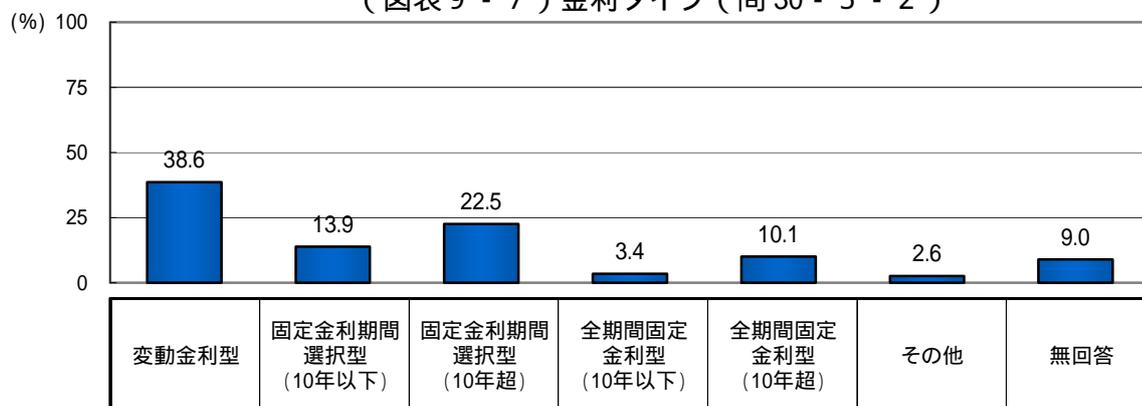
- “金融機関からの借入金”がある回答者(483人)が『持ち家』購入にあたっての資金を調達した金融機関としては、「民間金融機関」(55.3%)が過半数を占め、「住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)」(38.9%)は4割弱となった。
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した267人の借入金利タイプは、「変動金利型」が38.6%で最も多く、次いで、「固定金利期間選択型(10年超)」が22.5%、「固定金利期間選択型(10年以下)」が13.9%、「全期間固定金利型(10年超)」が10.1%となった。
- 民間金融機関から持家購入資金を調達した267人の借入当時の金利は、「1.5%以上 2.0%未満」(11.6%)と「2.0%以上 2.5%未満」(10.5%)がともに1割程度となった。

(図表9-6) 借入金融機関(問30-5)



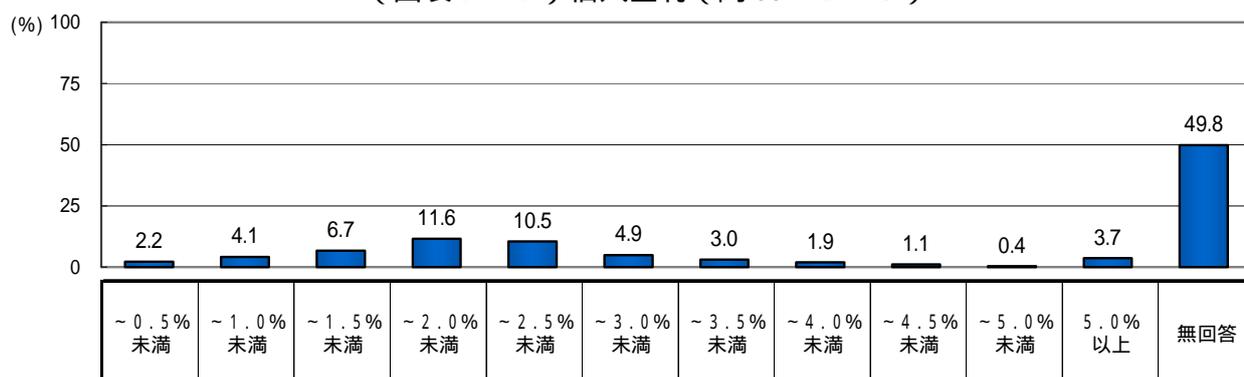
(n=483)

(図表9-7) 金利タイプ(問30-5-2)



(n=267)

(図表9-8) 借入金利(問30-5-3)

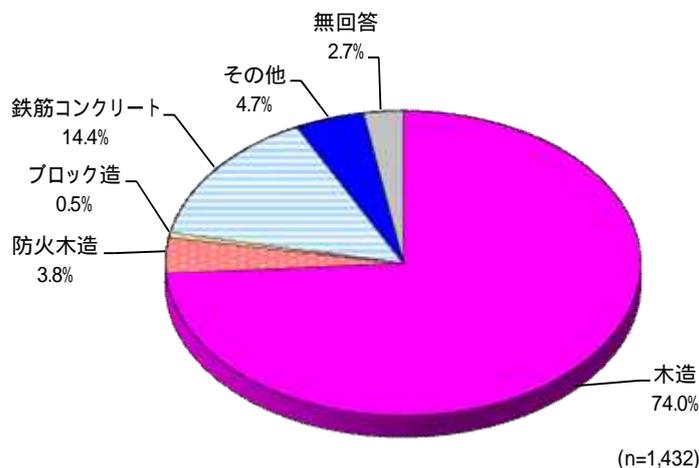


(n=267)

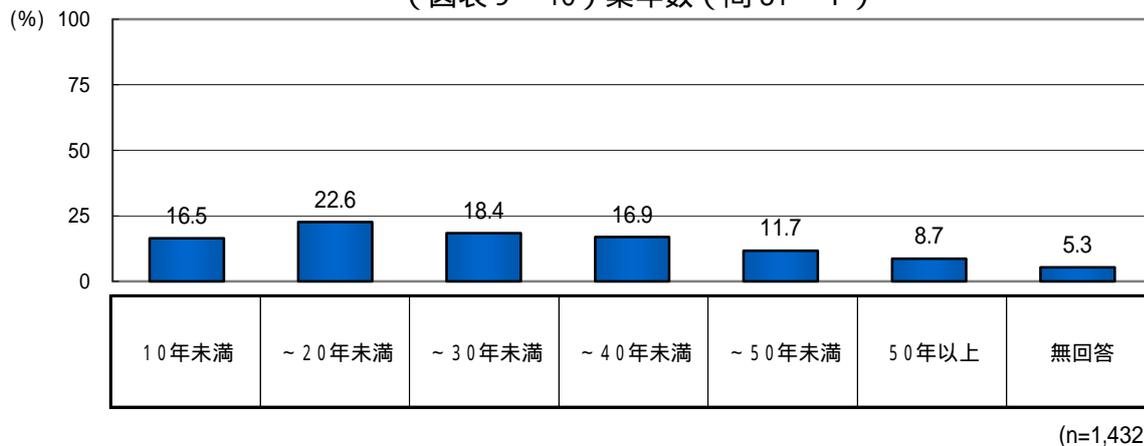
(5) 住居構造・築年数・敷地面積・床面積

- 持ち家またはその他住居の居住者 (1,432 人) の現在の住居構造は、「木造」が 74.0% を占めた。「鉄筋コンクリート」は 14.4% であった。
- 築年数は、「10 年以上 20 年未満」(22.6%) と「20 年以上 30 年未満」(18.4%) と回答した人が 2 割前後で、「30 年以上 40 年未満」(16.9%)、「10 年未満」(16.5%) の順でそれに続く。平均築年数は 26.5 年であった。
- 一戸建て持ち家またはその他住居に居住する回答者 (1,317 人) の一戸建て住宅の敷地面積は、「200 m²以上 300 m²未満」が最も多く、14.7% を占めた。また、平均敷地面積は 289.6 m² であった。
- 持ち家またはその他住居に居住する回答者 (1,432 人) の住宅の床面積は、「100 m²以上 150 m²未満」が 22.6% で最も多く、次いで、「50 m²以上 100 m²未満」が 19.3% となった。平均床面積は 128.1 m² であった。

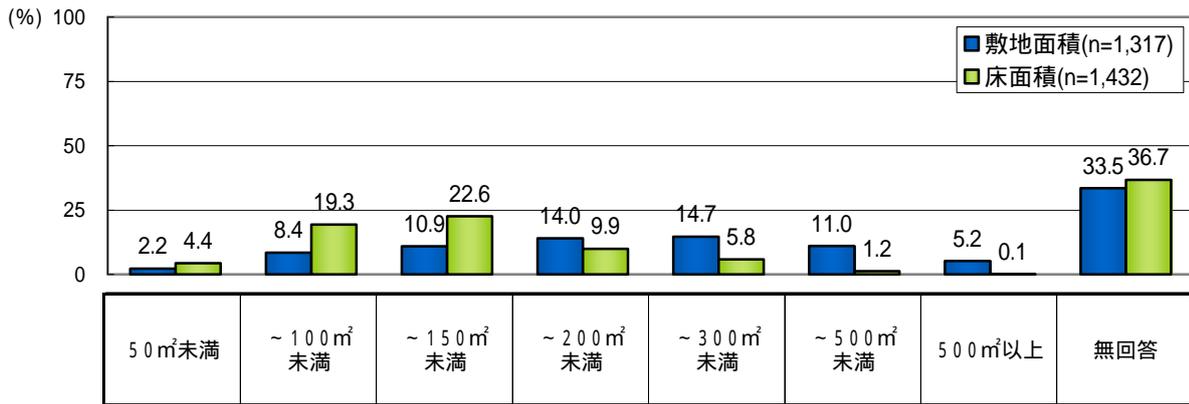
(図表 9 - 9) 住居構造 (問 31)



(図表 9 - 10) 築年数 (問 31 - 1)



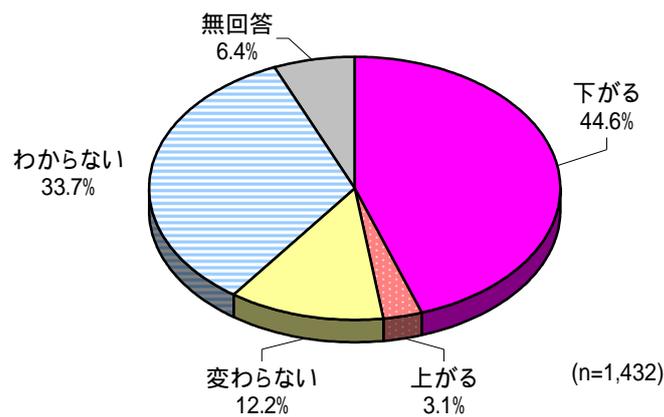
(図表 9 - 11) 敷地面積・床面積 (問 31 - 2)



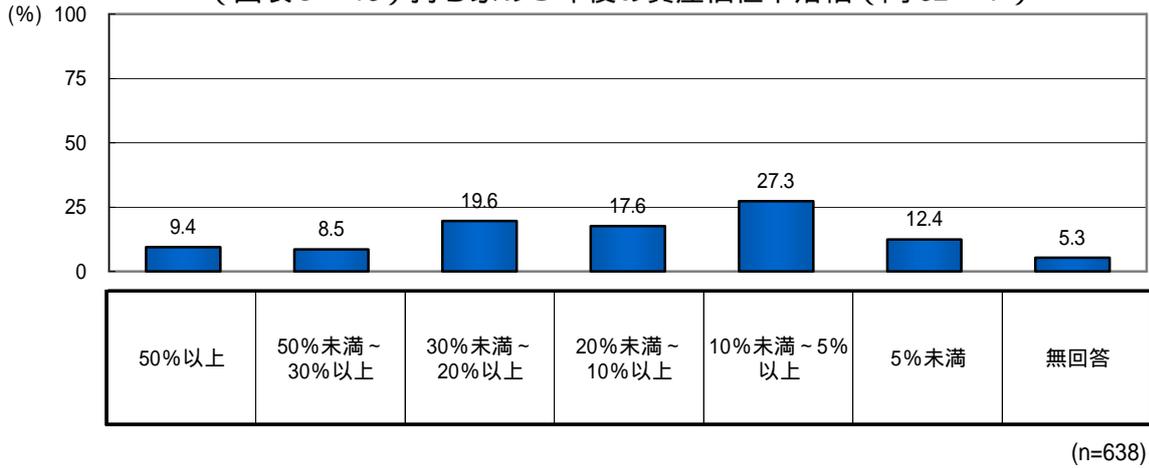
(6) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者)

- 持ち家またはその他住居の居住者 (1,432 人) の現在の『持ち家』の3年後の資産価値は、「下がる」と回答した人が 44.6% と最も多く、「上がる」は 3.1% にとどまった。また、3割以上の人、「わからない」(33.7%) と回答した。
- 『持ち家』の3年後の資産価値は「下がる」との回答した人 (638 人) の考える3年後の下落幅としては、「10%未満～5%以上」が3割弱 (27.3%) で最も多かった。
- 一方、『持ち家』の3年後の資産価値は「上がる」との回答した人 (45 人) の考える上昇幅としては、回答者数は少ないが、19人が「5%未満」と回答した。

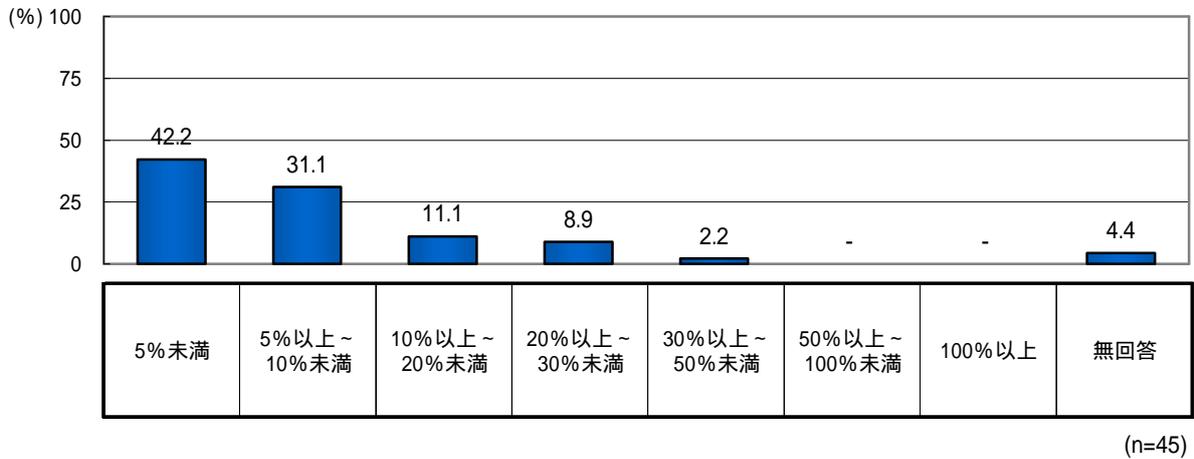
(図表 9 - 12) 持ち家の3年後の資産価値予測 (持ち家居住者) (問 32)



(図表 9 - 13) 持ち家の3年後の資産価値下落幅 (問 32 - 1)



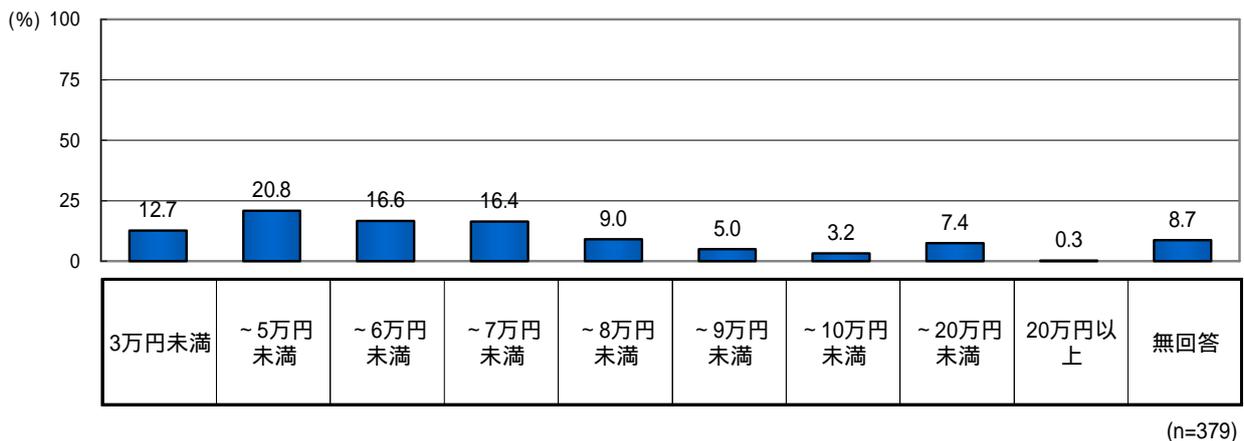
(図表 9 - 14) 持ち家の3年後の資産価値上昇幅 (問 32 - 2)



(7) ひと月の家賃 (賃貸居住者)

- 民間・公営・社宅等の賃貸住宅居住者 (379 人) の、ひと月の家賃は、「3万円以上5万円未満」が 20.8%で最も多く、次いで、「5万円以上6万円未満」(16.6%)、「6万円以上7万円未満」(16.4%)、「3万円未満」(12.7%)がいずれも1割台であった。平均すると5.4万円となった。

(図表 9 - 15) 賃貸住宅のひと月の家賃 (問 33)

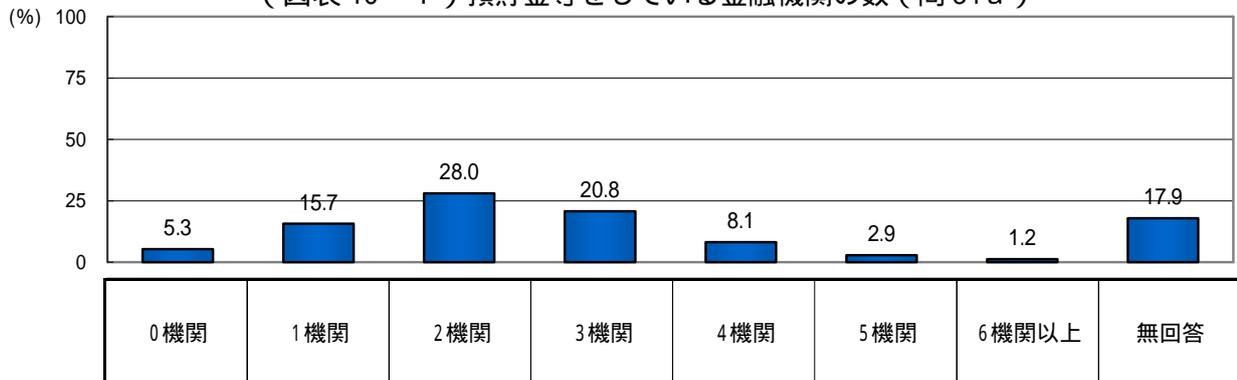


10. 金融機関の利用状況

(1) 預入の状況

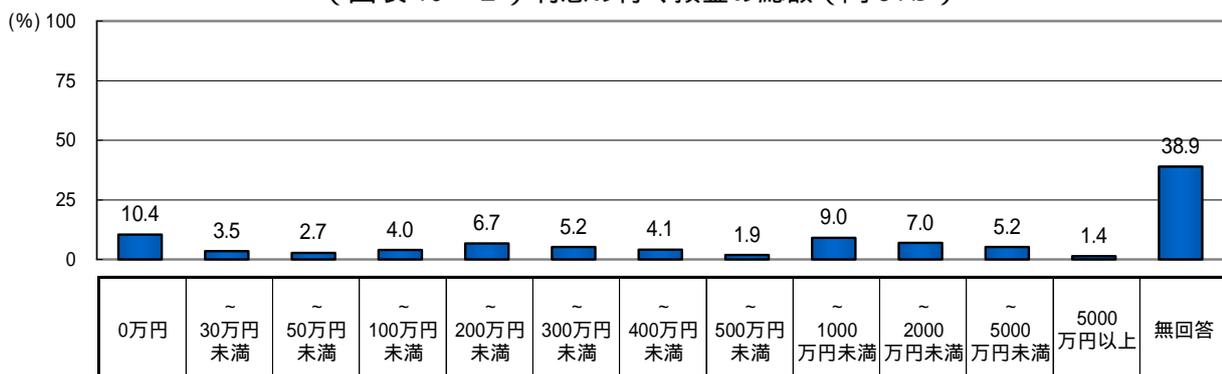
- 現在預金等をしている金融機関の数は、「2機関」が28.0%で最も多く、「3機関」(20.8%)、「1機関」(15.7%)の順で続いた。
- 1機関以上を利用している回答者(1,726人)の“利息の付く預金の総額(普通預金のほか定期預金、金融債、金銭信託なども含む)”は、「500万円以上1,000万円未満」が9.0%、「1,000万円以上2,000万円未満」が7.0%で、『500万円以上2,000万円未満』(合計16.0%)に比較的集中した。また、「100万円以上200万円未満」(6.7%)と、その前後の「200万円以上300万円未満」(5.2%)、「50万円以上100万円未満」(4.0%)も含めた『50~300万円未満』で合計15.9%となっている。一方、「0万円」は10.4%であった。なお、平均残高は、710.7万円であった。
- 利用機関数が「0機関」を除く1,726人における“利息の付かない預金の総額(当座預金など)”は、「0万円」が31.0%で、残高のある人は1割程度にとどまった。平均残高は46.4万円であった。

(図表 10 - 1) 預貯金等をしている金融機関の数(問 34 a)



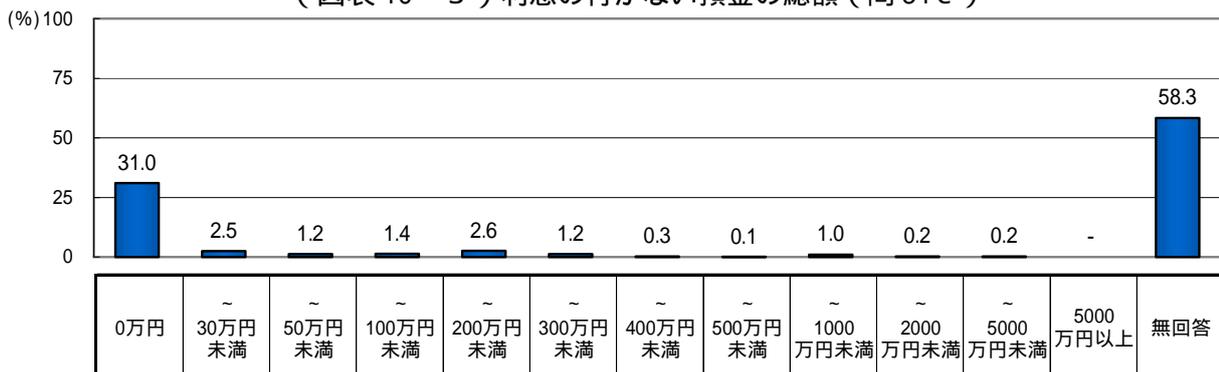
(図表 10 - 2) 利息の付く預金の総額(問 34 b)

全数(n=1,823)



(図表 10 - 3) 利息の付かない預金の総額(問 34 c)

(n=1,726)

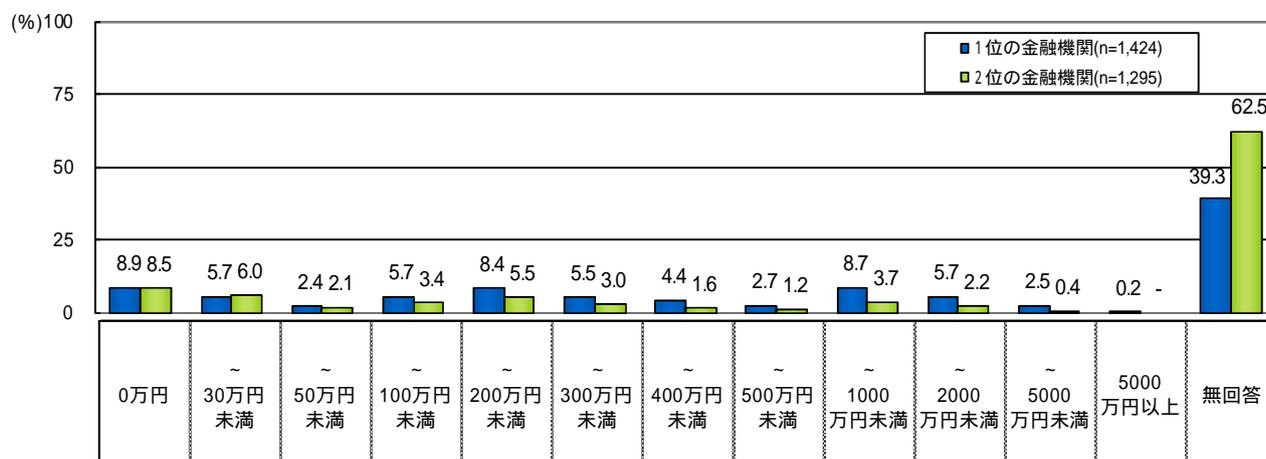


(n=1,726)

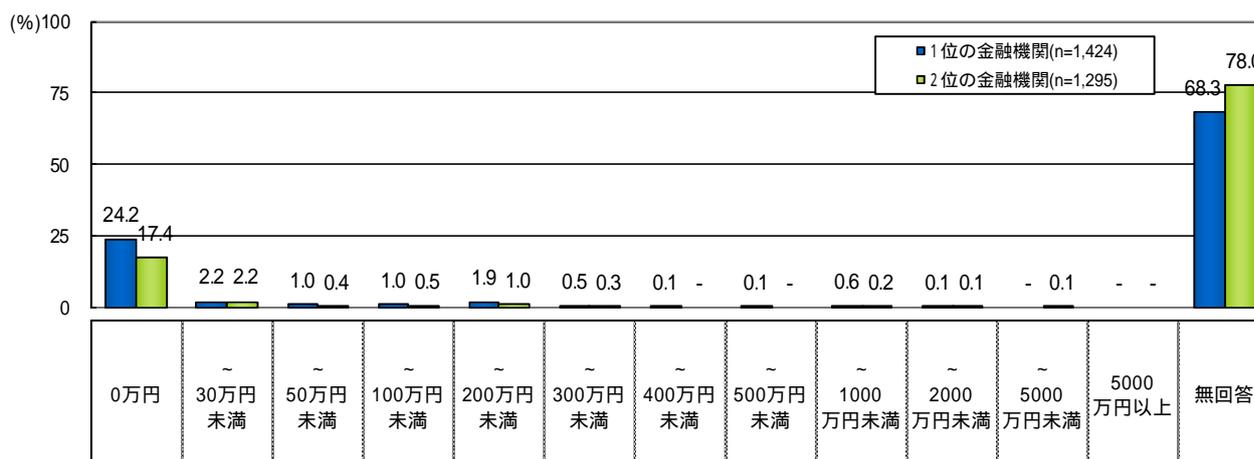
(2) 一般預金残高上位 2 機関の残高

- 1位の金融機関の“利息の付く預金の総額”は、「0万円」(8.9%)、「500万円以上 1,000万円未満」(8.7%)、「100万円以上 200万円未満」(8.4%)がいずれも8%台で、比較的多かった。平均残高は、410.6万円であった。一方、“利息の付かない預金の総額”は、「0万円」が24.2%で、残高のある人は1割未満にとどまった。平均残高は、30.9万円であった。
- 2位の金融機関の“利息の付く預金の総額”は、「0万円」(8.5%)が最も多く、次いで、「0万円超 30万円未満」(6.0%)、「100万円以上 200万円未満」(5.5%)の順であった。平均残高は、215.0万円であった。一方、“利息の付かない預金の総額”は、「0万円」が17.4%で、残高のある人は5%未満にとどまった。平均残高は、24.7万円であった。

(図表 10 - 4) 利息の付く預金総額 (問 35 b)



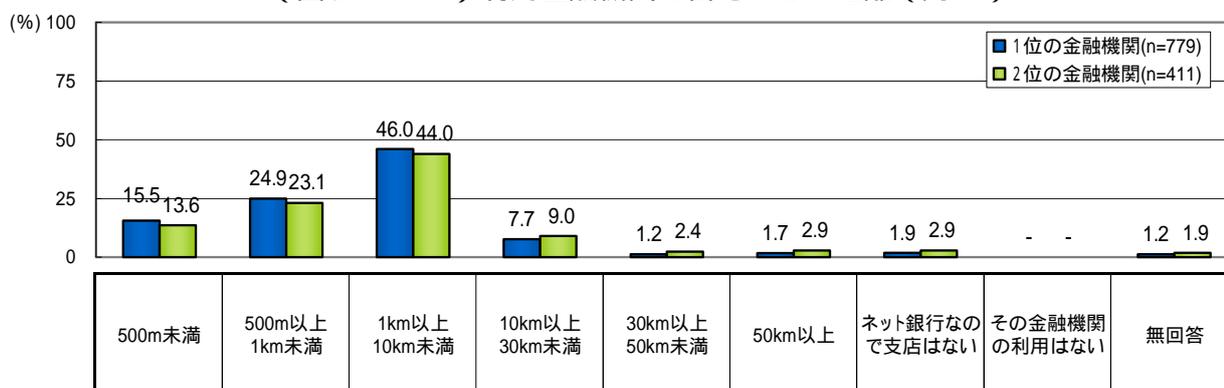
(図表 10 - 5) 利息の付かない預金総額 (問 35 c)



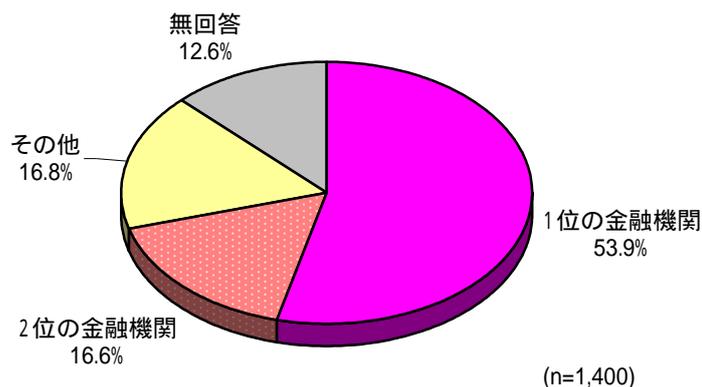
(3) 一般預金残高上位 2 機関の自宅からの距離

- 一般預金等の残高が一番多い金融機関(ゆうちょ銀行は除く)を回答した 779 人における、残高 1 位の金融機関の取引支店と自宅との距離は、「1 km 以上 10km 未満」(46.0%) が半数近くを占め最も多かった。以下、「500m 以上 1 km 未満」(24.9%) 「500m 未満」(15.5%) の順であった。
- 一般預金等の残高が 2 番目に多い金融機関(ゆうちょ銀行は除く)を回答した 411 人における、残高 2 位の金融機関の取引支店と自宅との距離は、「1 km 以上 10km 未満」が 44.0%、次いで、「500m 以上 1 km 未満」(23.1%) 「500m 未満」(13.6%) の順であった。
- 利用機関が 1 機関以上の回答者(1,400 人)における、取引支店が自宅に最も近い金融機関では、「1 位の金融機関」が 53.9% と最も多く、「2 位の金融機関」は 16.6%、「その他」は 16.8% であった。うち、利用機関が 2 機関以上で 1 位・2 位の金融機関にともに残高がある回答者(410 人)では、「1 位の金融機関」は 47.1%、次いで「2 位の金融機関」は 32.0%、「その他」は 16.6% であり、自宅からの距離は、「2 位の金融機関」に比べて「1 位の金融機関」のほうが近い距離にある人が多かった。
- 自宅に最も近い金融機関が「その他」の金融機関である回答者(235 人)の場合、「その他」の金融機関までの距離は、「500m 未満」(38.7%) 「1 km 以上 10km 未満」(31.9%) 「500m 以上 1 km 未満」(28.5%) の順であった。「500m 未満」と近距離にあるという回答率は、1 位の金融機関は 15.5%、2 位の金融機関は 13.6% と 1 割台であり、「その他」の金融機関に比べて、1 位・2 位の機関のほうが遠距離のケースが多い。

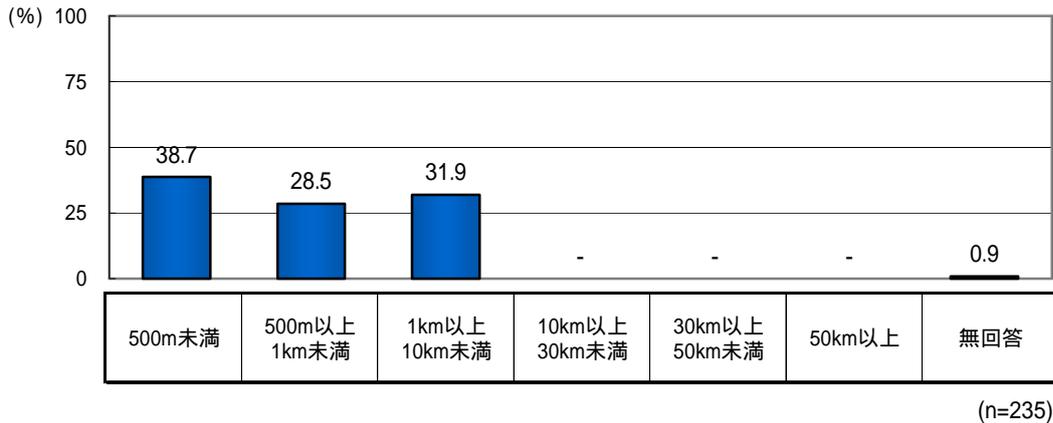
(図表 10 - 6) 利用金融機関の自宅からの距離 (問 36)



(図表 10 - 7) 取引支店が自宅から最も近い金融機関 (問 37)



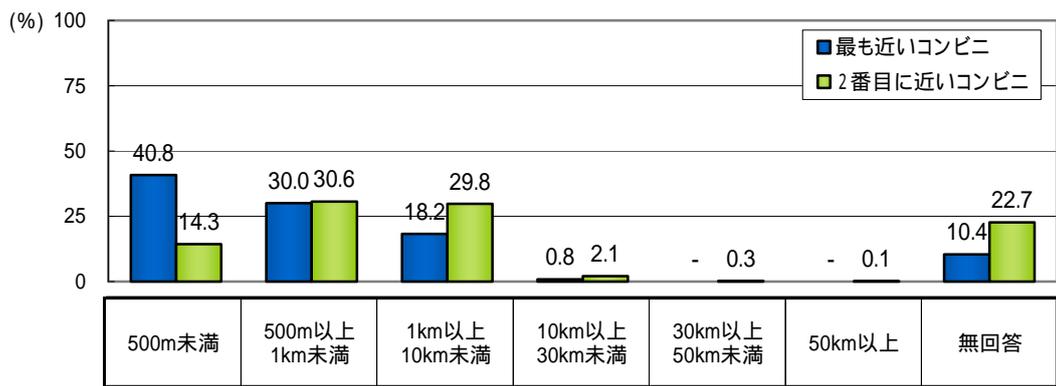
(図表 10 - 8) 自宅から最も近い金融機関の距離 (問 37-1)



(4) A T M設置コンビニエンスストアの自宅からの距離

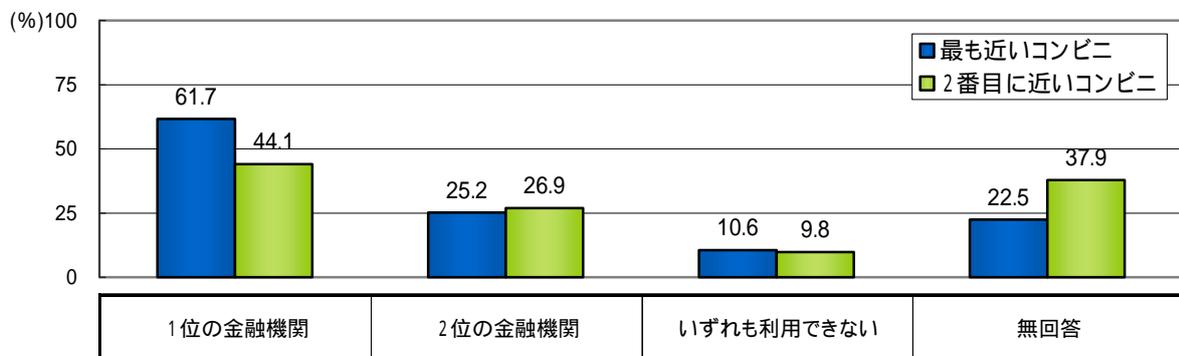
- A T Mが設置されたコンビニエンスストアと自宅の距離は、“最も近いコンビニ”では、「500m未満」が40.8%と最も多く、次いで、「500m以上 1 km 未満」が30.0%であった。“2番目に近いコンビニ”でも「500m以上 1 km 未満」が30.6%で最も多く、次いで「1 km 以上 10km 未満」が29.8%であった。
- そのコンビニエンスストア設置のA T Mで利用できる金融機関について、利用機関が1 機関以上の回答者(1,400 人)に限定して見たところ、“最も近いコンビニ”では「1位の金融機関」は61.7%、「2位の金融機関」は25.2%、「いずれも利用できない」は10.6%であった。“2番目に近いコンビニ”では「1位の金融機関」は44.1%、「2位の金融機関」は26.9%、「いずれも利用できない」は9.8%であった。
- 1位あるいは2位の金融機関のいずれかが自宅に近いコンビニエンスストアで利用できない回答者に、各金融機関の利用可能なA T Mが設置されたコンビニエンスストアまでの距離を尋ねた。
 一般預金等の残高が一番多い金融機関を回答し、かつ最も近いコンビニエンスストア、2番目に近いコンビニエンスストアのいずれかで1位・2位の金融機関がともに使えない回答者(98 人)において、“1位の金融機関”のA T Mが設置されたコンビニエンスストアまでの距離は、「1 km 以上 10km 未満」との回答が21.4%で最も多く、次いで「500m以上 1 km 未満」が9.2%であった。
 一般預金等の残高が2番目に多い金融機関を回答し、かつ最も近いコンビニエンスストア、2番目に近いコンビニエンスストアのいずれかで1位・2位の金融機関がともに使えない回答者(60 人)において、“1位の金融機関”のA T Mが設置されたコンビニエンスストアまでの距離は、「1 km 以上 10km 未満」との回答が36.7%で最も多かった。

(図表 10 - 9) A T Mが設置されたコンビニエンスストアと自宅の距離 (問 38)



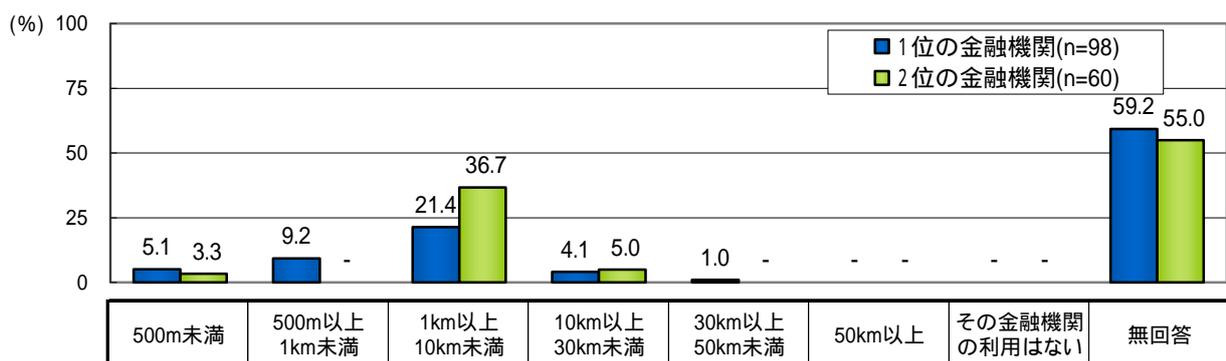
全 数(n=1,823)

(図表 10 - 10) A T Mが設置されたコンビニエンスストアのA T Mで利用できる金融機関 (問 39)



(n=1,400)

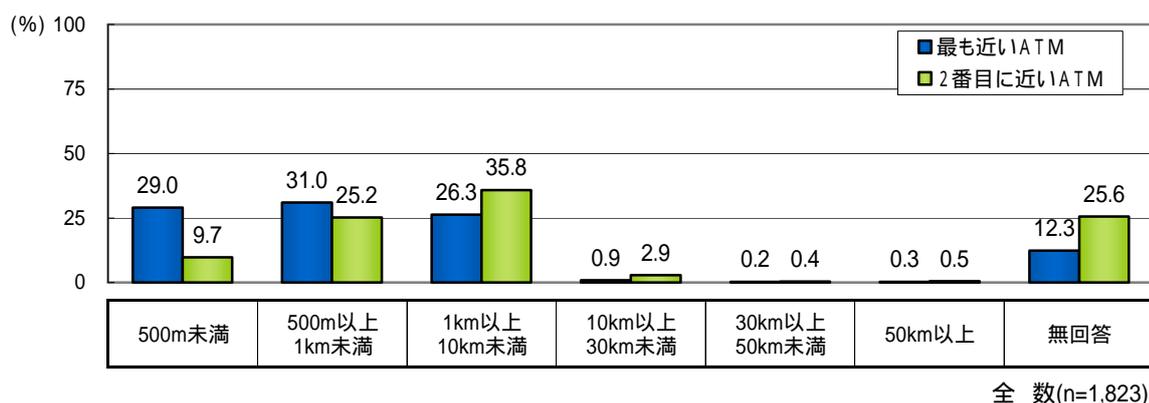
(図表 10 - 11) 1位・2位金融機関が利用可能なA T M設置コンビニまでの距離 (問 39-1)



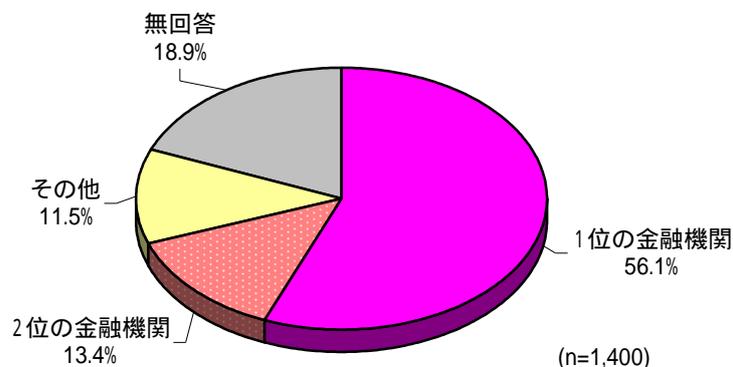
(5) コンビニエンスストア以外に設置された A T M の自宅からの距離

- コンビニエンスストア以外に設置された A T M と自宅の距離を尋ねたところ、「最も近い A T M 」については、「500m以上 1km 未満」が 31.0% で最も多く、次いで「500m 未満」が 29.0%、「1 km 以上 10km 未満」が 26.3% であった。「2 番目に近い A T M 」については、「1 km 以上 10km 未満」が 35.8% で最も多く、次いで「500m 以上 1 km 未満」が 25.2%、「500m 未満」は 9.7% であった。
- コンビニエンスストア以外に設置された A T M のうち自宅に最も近い金融機関について、利用機関が 1 機関以上の回答者 (1,400 人) に限定して見たところ、「1 位の金融機関」は 56.1% で半数を超えて多く、「2 位の金融機関」は 13.4%、「その他」は 11.5% にとどまった。
- コンビニエンスストア以外に設置された A T M のうち自宅に最も近い金融機関が「その他」の金融機関であった回答者 (161 人) に、その A T M までの距離を尋ねたところ、「500m 未満」が 42.9%、「500 m 以上 1 km 未満」が 29.8%、「1 km 以上 10km 未満」が 26.1% であった。

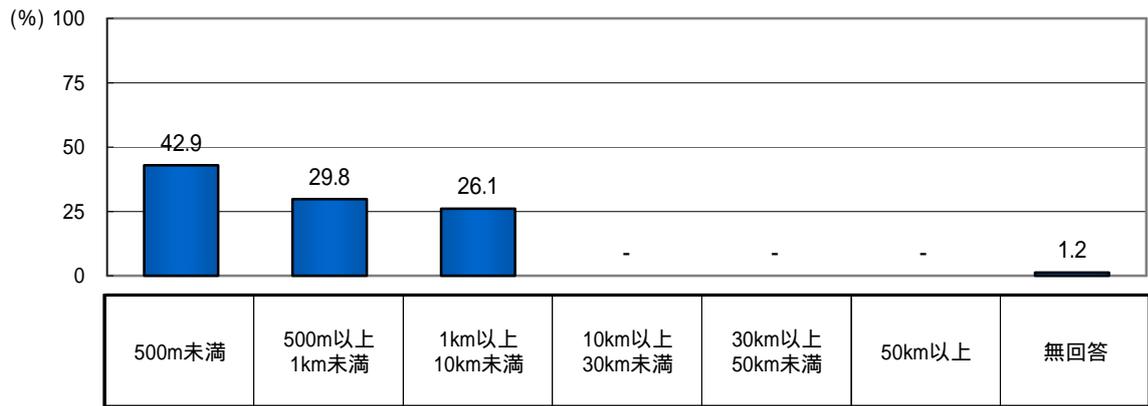
(図表 10 - 12) コンビニ以外に設置された A T M と自宅との距離 (問 40)



(図表 10 - 13) コンビニ以外に設置された A T M のうち自宅に最も近い金融機関 (問 41)



(図表 10 - 14) コンビニ以外設置 A T Mのうち自宅に最も近い金融機関までの距離 (問 41-1)

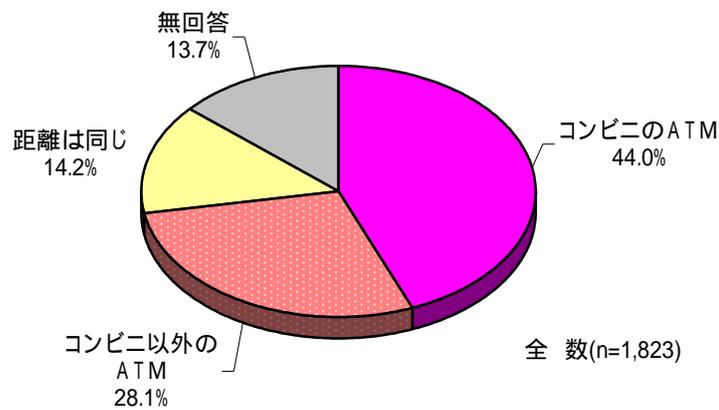


(n=161)

(6) 自宅から最も近い A T M

- コンビニエンスストアに設置された A T M (利用している金融機関に限定せず) とコンビニエンスストア以外に設置された A T M と比べ、距離が短いのはどちらの A T M であるかを尋ねたところ、「コンビニの A T M」との回答は 44.0% で最も多く、「コンビニ以外の A T M」(28.1%) や、「距離は同じ」(14.2%) を上回った。

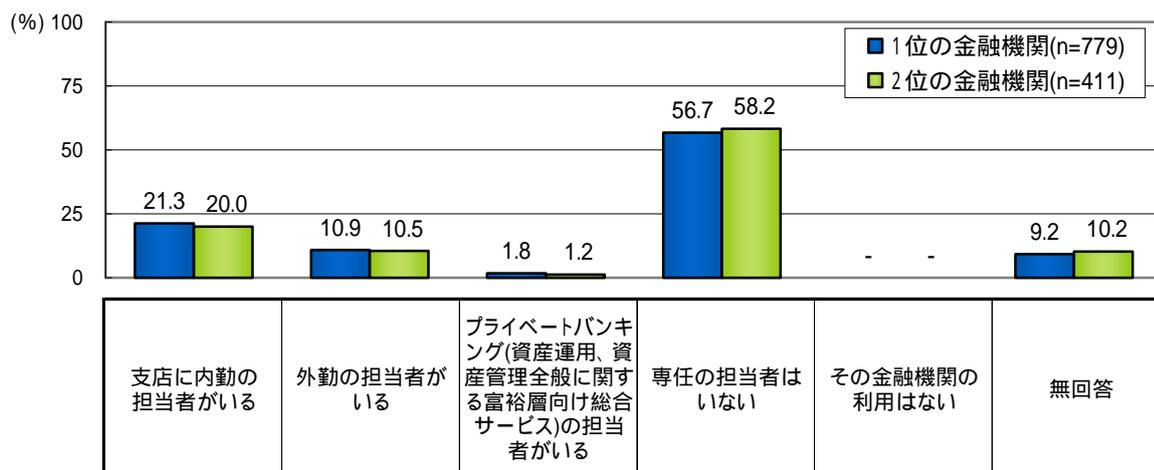
(図表 10 - 15) 自宅から最も近い A T M (問 42)



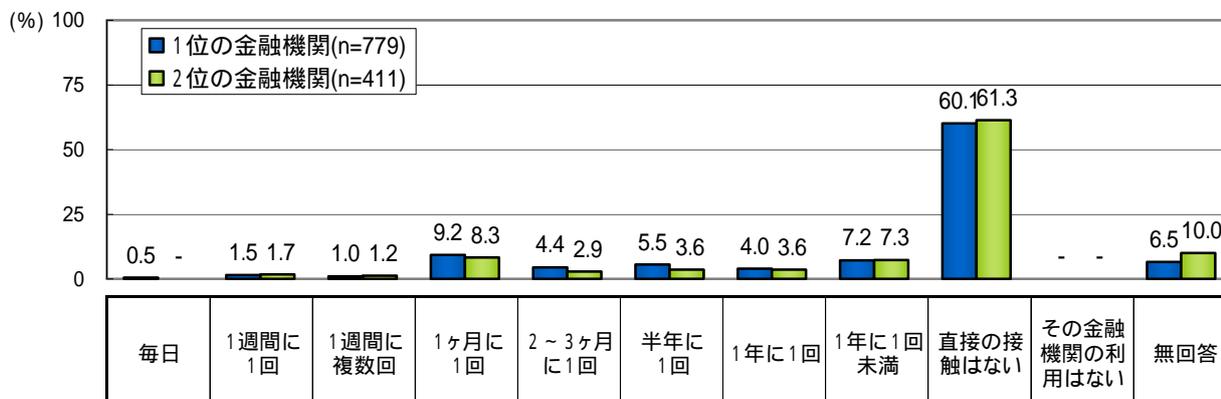
(7) 営業担当者との接触状況

- 一般預金等で利用している金融機関(いずれもゆうちょ銀行は除く)の営業担当者の状況を尋ねたところ、1位の金融機関について回答した779人の“1位の金融機関”の状況、2位の金融機関について回答した411人の“2位の金融機関”の状況はともに、「専任の担当者はいない」(“1位の金融機関”56.7%、“2位の金融機関”58.2%)が半数を超えて最も多く、次いで「支店に内勤の担当者がある」(同21.3%、20.0%)は約2割、「外勤の担当者がある」(同10.9%、10.5%)は約1割、「プライベートバンキング(資産運用、資産管理全般に関する富裕層向け総合サービス)の担当者がある」(同1.8%、1.2%)は2%未満で、残高順位に関わらず同様の傾向が見られた。
- 金融機関の担当者との接触(相対による面談)頻度について尋ねたところ、1位の金融機関について回答した779人の“1位の金融機関”の状況、2位の金融機関について回答した411人の“2位の金融機関”の状況はともに、「直接の接触はない」(“1位の金融機関”60.1%、“2位の金融機関”61.3%)が約6割で最も多く、以下「1ヶ月に1回」(同9.2%、同8.3%)、「1年に1回未満」(同7.2%、同7.3%)と続いた。

(図表 10 - 16) 金融機関営業担当者の状況 (問 43)



(図表 10 - 17) 金融機関営業担当者との相対による面談の頻度 (問 43)



(8) 定期預金の保有状況

定期預金の有無

定期預金が「有」る人は、1位の金融機関を答えた人(779人)で46.0%、2位の金融機関を答えた人(411人)で36.0%であった。

契約年月(固定金利自動更新付の場合は預入当初、変動金利の場合は契約当初)

それぞれの定期預金保有者(“1位の金融機関”358人、“2位の金融機関”148人)の契約年月は、“1位の金融機関”、“2位の金融機関”ともに、「2000～2009年」(“1位の金融機関”21.2%、“2位の金融機関”22.3%)と「2012年」(同15.6%、22.3%)に多い傾向が見られた。

契約期間(固定金利自動更新付の場合は自動更新までの期間)

契約期間は、“1位の金融機関”、“2位の金融機関”ともに、「2013年」(同18.7%、20.9%)が最も多かった。

預入額

“1位の金融機関”への預入額は、400万円未満で49.4%とほぼ半数を占めている。1,000万円以上の預入は約1割(12.3%)であり、平均預入額は、418.1万円であった。

“2位の金融機関”への預入額は、200万円未満で45.9%と半数弱を占めている。1,000万円以上の預入は4.7%にとどまり、平均預入額は、259.5万円であった。

金利方式

金利方式は、“1位の金融機関”、“2位の金融機関”ともに「固定金利自動更新付」(“1位の金融機関”49.7%、“2位の金融機関”55.4%)が半数近くを占めた。次いで多いのは「固定金利自動更新無」(“1位の金融機関”19.37%、“2位の金融機関”14.2%)で、「変動金利」は1割前後(同8.7%、11.5%)であった。

金利(固定金利自動更新付の場合は預入当初)

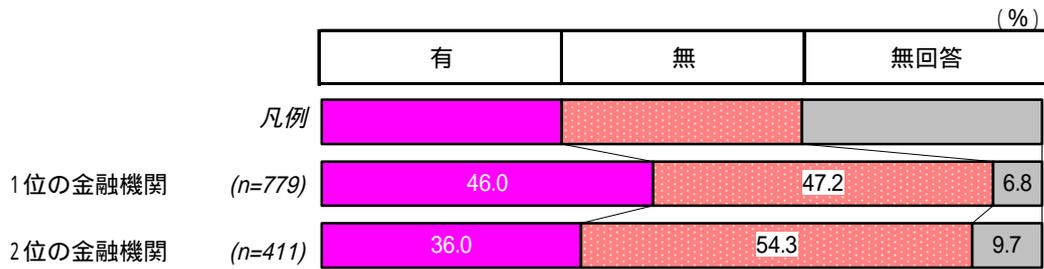
“1位の金融機関”での金利は、「0.05%未満」が19.8%で最も多く、次いで「0.3～0.4%未満」が8.9%であった。平均金利は、0.457%であった。

“2位の金融機関”での金利は、「0.05%未満」が26.4%で最も多く、次いで「0.2～0.3%未満」が11.5%であった。平均金利は、0.362%であった。

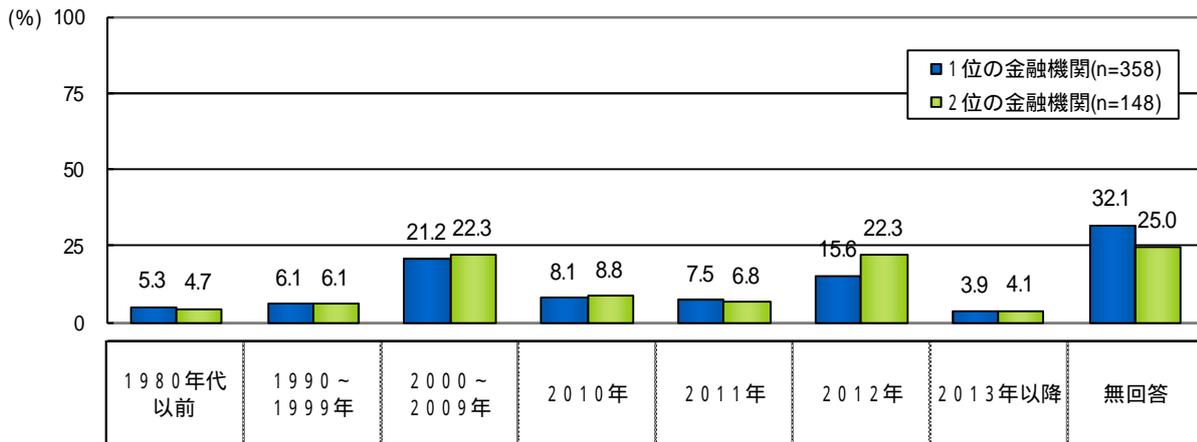
A T M手数料割引、金利優遇その他の当該預金以外の商品等の特典の契約時点での提供

預金以外の契約時特典は、“1位の金融機関”、“2位の金融機関”ともに「無」(“1位の金融機関”53.6%、“2位の金融機関”54.1%)が半数を超え、「有」(同22.9%、28.4%)は3割に満たなかった。

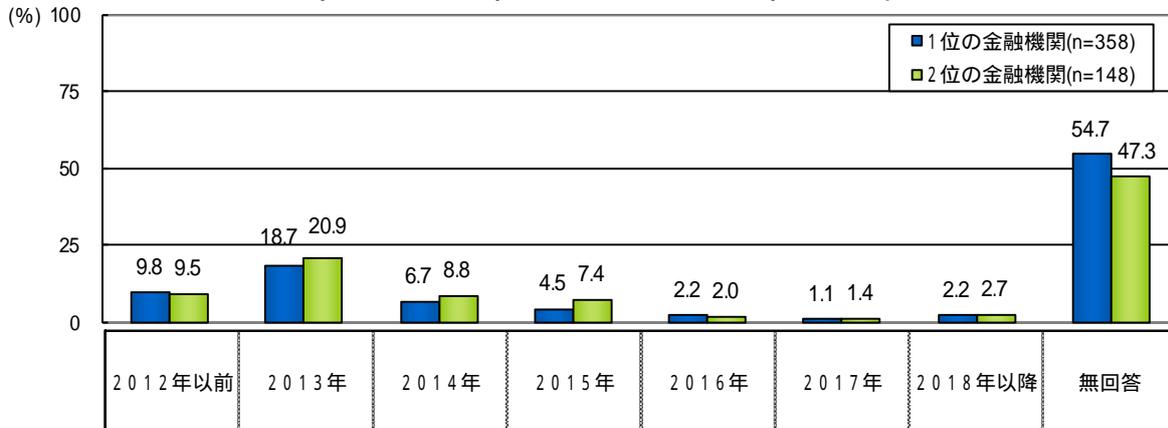
(図表 10 - 18) 定期預金の有無 (問 44)



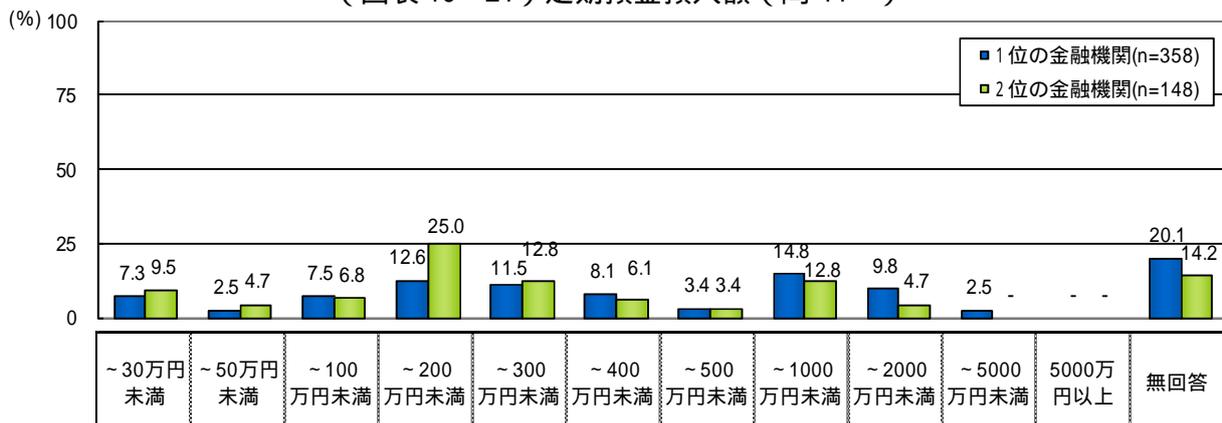
(図表 10 - 19) 定期預金契約年 (問 44)



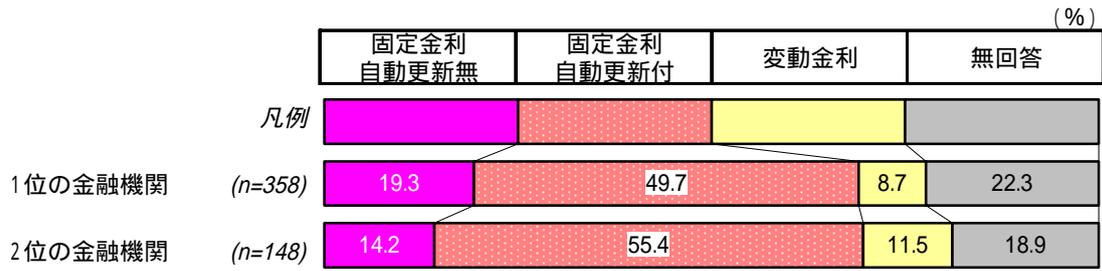
(図表 10 - 20) 定期預金契約期間 (問 44)



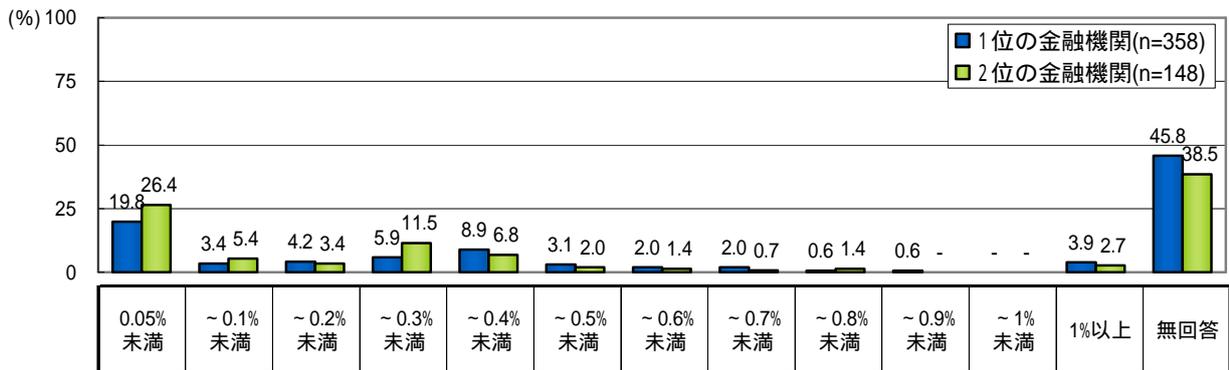
(図表 10 - 21) 定期預金預入額 (問 44)



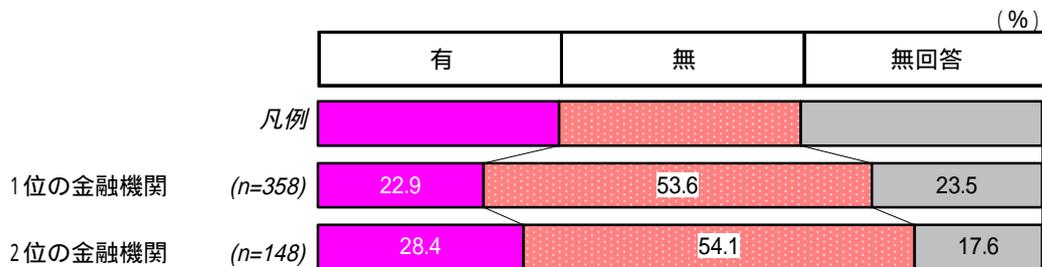
(図表 10 - 22) 定期預金金利方式 (問 44)



(図表 10 - 23) 定期預金金利 (問 44)



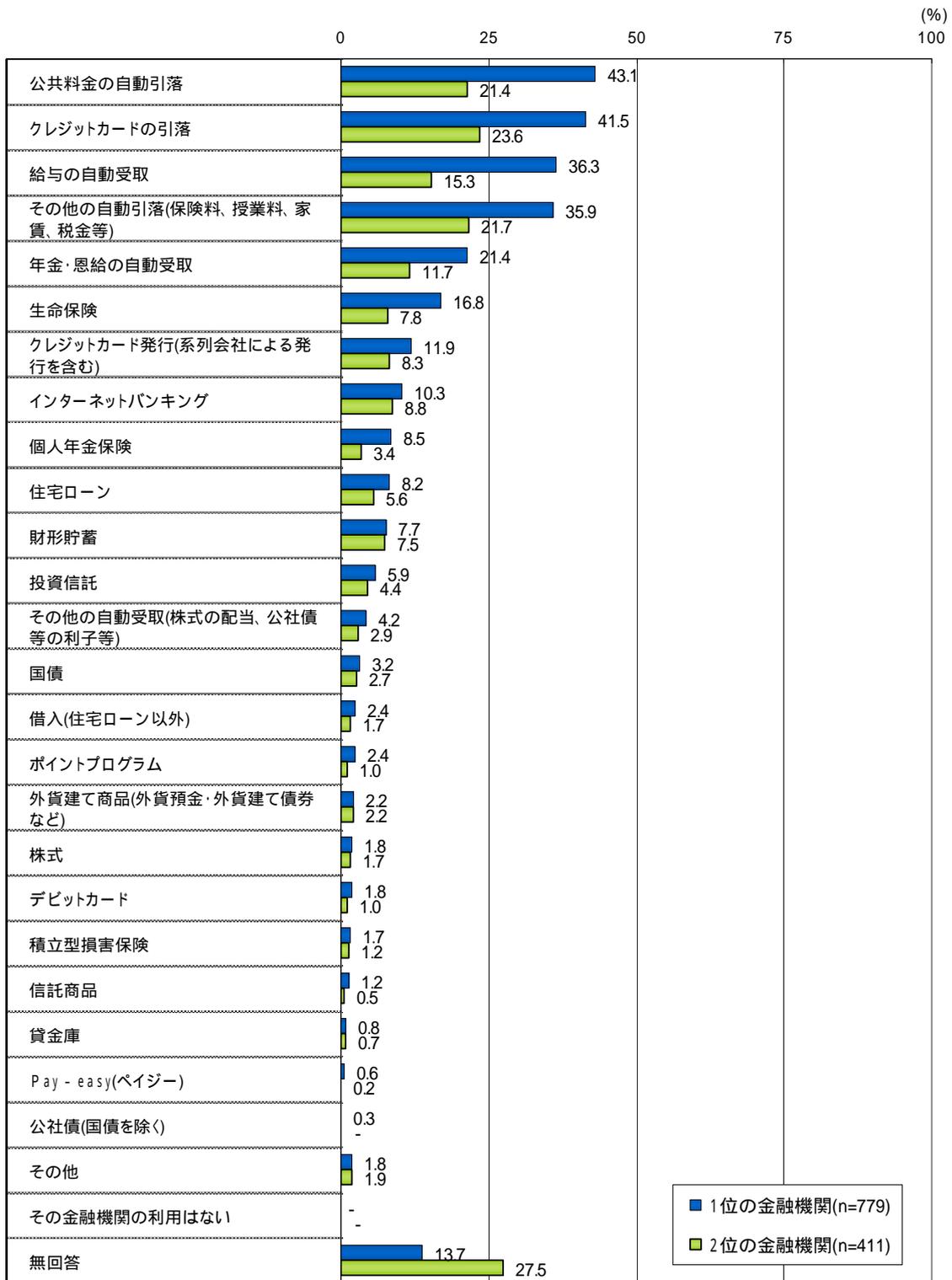
(図表 10 - 24) A T M ・手数料割引 ・金利優遇等の契約時点での特典提供有無 (問 44)



(9) 利用取引・商品・サービスの内容

- 上位2金融機関で利用、購入している取引、商品、サービスの内容(複数回答)について尋ねたところ、1位の金融機関について回答した779人では、「公共料金の自動引落」(43.1%)、「クレジットカードの引落」(41.5%)がともに4割台で利用率が高く、以下、「給与の自動受取」(36.3%)、「その他の自動引落(保険料、授業料、家賃、税金等)」(35.9%)がともに3割台、「年金・恩給の自動受取」(21.4%)が2割台、「生命保険」(16.8%)、「クレジットカード発行(系列会社による発行を含む)」(11.9%)、「インターネットバンキング」(10.3%)が1割台でこれに続いた。
- 2位の金融機関について回答した411人では、「クレジットカードの引落」(23.6%)、「その他の自動引落(保険料、授業料、家賃、税金等)」(21.7%)、「公共料金の自動引落」(21.4%)がいずれも2割台、「給与の自動受取」(15.3%)、「年金・恩給の自動受取」(11.7%)が1割台でそれに続いた。
- 1位・2位の金融機関ともに、自動引落、受取口座としての利用が利用率の上位を占めているが、1位の金融機関は2位の機関に比べて、保険、ローン、各種金融商品の購入など、利用用途が多岐にわたっている。なお、「公共料金の自動引落」、「その他の自動引落」については、2位の金融機関に比べて1位の金融機関は20ポイント以上利用率が高く、1位の金融機関に利用が集中している傾向が見られる。

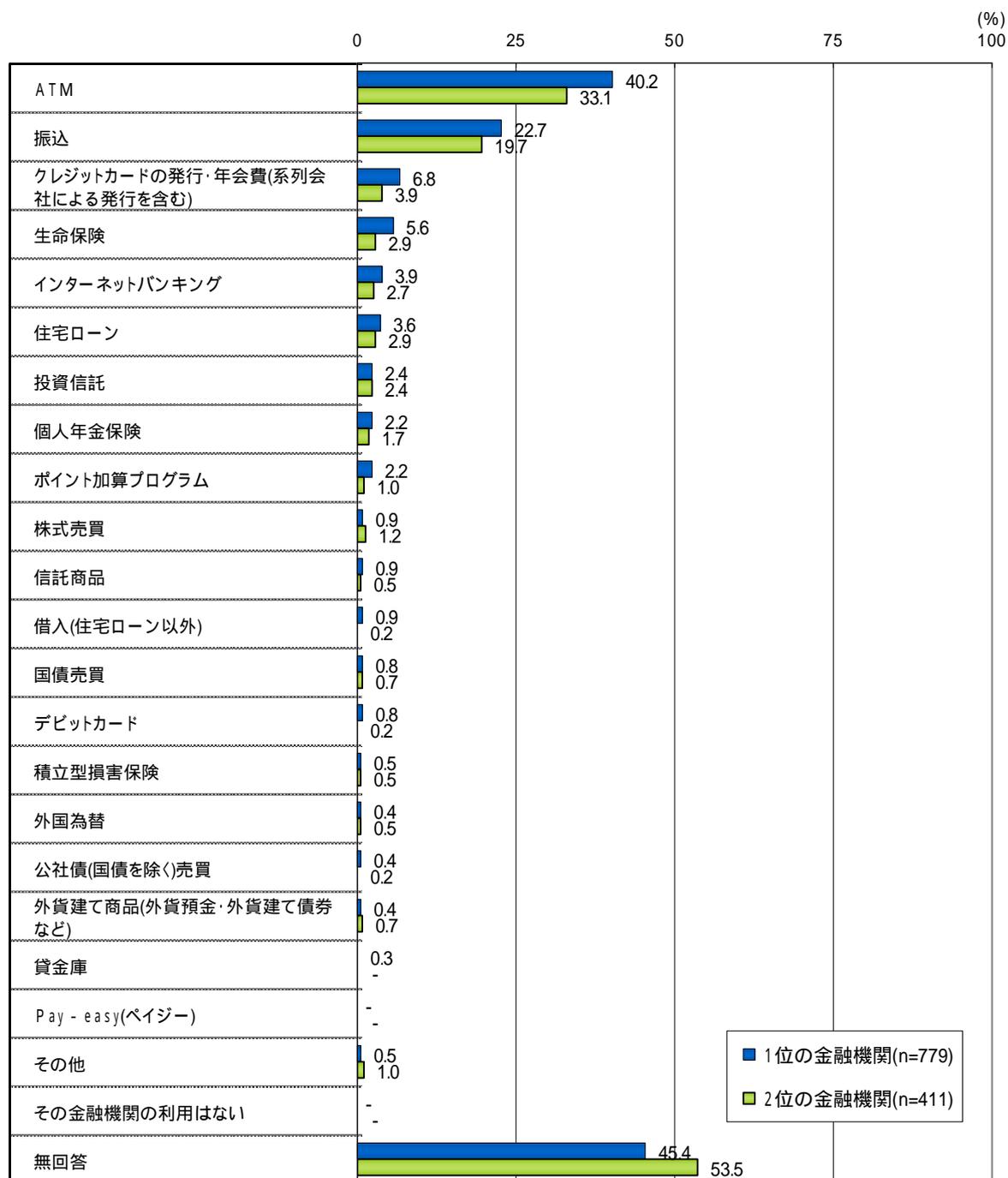
(図表 10 - 25) 利用取引・商品・サービス内容 (問 45、複数回答)



(10) 提供を受けている割引・優遇サービスの内容

- 上位2金融機関で提供を受けている手数料割引や金利優遇の内容（複数回答）は、“1位の金融機関”、“2位の金融機関”ともに、「ATM」（“1位の金融機関”40.2%、“2位の金融機関”33.1%）が最も多かった。これに続いて多いのは「振込」（同22.7%、19.7%）で、これら以外はいずれも1割未満であった。

(図表 10 - 26) 提供を受けている割引・優遇サービス内容（問46、複数回答）



調査票（付：単純集計結果）

消費生活についておうかがいします。

問1 あなたは、次に示された考え方や行動がどのくらいあてはまりますか。(はそれぞれ1つずつ) (n=1,823)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 多少貯蓄を減らしても、現在の生活を充実させている	(17.7)	(42.8)	(26.8)	(11.8)	(1.0)
b. 仕事(勉強)よりも余暇に生きがいを感じる	(17.0)	(36.9)	(32.3)	(12.8)	(1.0)
c. ものごとを理屈っぽく考えず、見た目や感覚で判断する	(20.9)	(42.5)	(26.5)	(9.0)	(1.1)
d. 物の豊かさより心の豊かさやゆとりのある生活を重視している	(28.4)	(52.3)	(15.3)	(3.1)	(0.9)
e. したいことやほしい物をがまんせずにどんどん追求する	(6.3)	(25.8)	(44.9)	(22.1)	(0.9)

問2 あなたは、次に示された買い物についての考え方や行動がどのくらいあてはまりますか。(はそれぞれ1つずつ) (n=1,823)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	無回答
a. 基本的に、ショッピングが好きだ	(27.3)	(34.7)	(26.6)	(10.8)	(0.7)
b. ほしいものがあれば、遠いところでも買いに行く	(13.7)	(25.0)	(35.2)	(25.3)	(0.8)
c. いろいろなお店を見てまわるのが好きだ	(24.7)	(31.8)	(26.8)	(16.0)	(0.7)
d. 周囲の人とは少し違った個性的なものを選ぶ	(11.8)	(30.5)	(41.4)	(15.6)	(0.6)
e. 流行や話題になっている商品を選ぶ	(4.1)	(24.5)	(44.7)	(26.0)	(0.7)
f. 周囲の人が持っている商品を持っていないと気になる	(0.9)	(6.6)	(36.2)	(55.6)	(0.8)
g. おしゃれにお金をかけるようにしている	(3.9)	(17.2)	(40.9)	(37.3)	(0.7)
h. 少し値段が高くても、品質のよい商品を選ぶ	(17.6)	(46.1)	(26.5)	(9.4)	(0.4)
i. 少し値段が高くても、有名なブランドやメーカーの商品を選ぶ	(5.0)	(21.1)	(36.4)	(36.8)	(0.7)
j. 新しい商品が出るとほしくなる	(4.4)	(16.5)	(38.8)	(39.7)	(0.6)
k. 広告を見ると、その商品がほしくなる	(2.7)	(20.1)	(39.6)	(36.8)	(0.9)
l. 自分のライフスタイルや趣味にあったものを選ぶ	(33.3)	(48.8)	(12.1)	(5.0)	(0.8)
m. 性能よりもデザイン(色や形)を重視して商品(車、携帯電話、パソコンなど)を選ぶ	(5.5)	(20.0)	(44.8)	(28.7)	(0.9)
n. インテリアや服装のコーディネート(組み合わせ)を考えて商品を選ぶ	(18.8)	(41.5)	(25.6)	(13.3)	(0.9)
o. 事前にいろいろと情報収集してから商品を買う	(17.2)	(39.2)	(29.3)	(13.5)	(0.8)
p. できるだけセールやアウトレットで商品を買う	(13.8)	(37.0)	(30.1)	(18.1)	(1.0)
q. コストパフォーマンスをよく検討して商品を選ぶ	(14.2)	(40.4)	(30.5)	(13.7)	(1.2)

小学生の頃のことについておうかがいします。

問3 あなたが小学校低学年の頃、ご家族とどれくらい外食をしていましたか。(は1つ) (n=1,823)

(1.9) 週に数回以上	(45.9) ほとんどない
(17.3) 月に数回程度	(10.9) 覚えていない
(22.2) 年に数回程度	(1.6) その他 ()
	(0.3) 無回答

問4 あなたが小学校低学年の頃、どれくらい家族旅行をしていましたか。(は1つ) (n=1,823)

(0.8) 月に1回以上	(50.6) ほとんどない
(13.1) 半年に1回程度	(8.4) 覚えていない
(24.8) 年に1回程度	(1.9) その他 ()
	(0.3) 無回答

問5 あなたが小学校高学年の頃、ご両親からもらうおこづかいやプレゼントの金額は友だちとくらべてどれくらいでしたか。(は1つ) (n=1,823)

(5.2) 多いほうだった	(16.5) 覚えていない
(35.3) ふつうだった	(17.9) もらうことがなかった
(23.0) 少ないほうだった	(1.9) その他 ()
	(0.3) 無回答

問6 あなたが小学校高学年の頃、家の仕事(料理、洗濯、掃除、おつかいなど)を手伝いましたか。(は1つ) (n=1,823)

(39.3) 手伝った	(9.5) 手伝わなかった
(28.0) やや手伝った	(3.1) 覚えていない
(19.5) あまり手伝わなかった	(0.3) その他 ()
	(0.3) 無回答

問7 あなたが小学生の頃、ご両親は次のようなことをしていましたか。(それぞれ はい/いい/いい/いいでも) (n=1,823)

父 母
親 親

a.宝くじ	(11.6)	(7.1)
b.公営競技(競馬・競輪・競艇・オートレース)	(6.3)	(0.3)
c.パチンコ・パチスロ	(15.6)	(2.5)
d.マーじゃん	(9.2)	(0.7)
e.上記、いずれもしていなかった	(56.7)	(76.1)
f.当時、父親(母親)はいなかった	(4.6)	(2.2)
g.覚えていない	(7.0)	(7.7)
無回答	(2.0)	(4.7)

金融の知識についておうかがいします。

問8 あなたは、どのような金融に関する知識・情報が暮らしに役立つと思いますか。(は3つまで) (n=1,823)

- (24.4) 金融商品・サービスの種類や商品性(リスクを含む)に関する知識・情報
- (31.5) 金融機関が破たん(倒産)しても預金を一定額まで保護する仕組みや、破たんのおそれがないかを判断するために 必要な知識・情報
- (16.8) 金融・経済の仕組みに関する知識・情報(例：金融機関や株式市場の役割・機能について)
- (7.0) 多重債務に陥らないための知識・情報
- (24.6) 金融取引においてトラブルにまきこまれないための知識・情報
- (43.4) 将来の生活設計やこれに必要な資金計画などに関する知識・情報
- (62.5) 介護保険、年金、税金などの制度面に関する知識・情報
- (19.7) 子どもの健全な金銭感覚を育成するのに役立つ知識・情報
- (6.2) どれもなし
- (0.8) その他()

(1.4) 無回答

問9 国債の金利と価格の関係を正しく説明しているのは、次のうちどれだと思いますか。(は1つ) (n=1,823)

- (12.5) 国債の価格が上がると、金利が上がる
- (18.0) 国債の価格が上がると、金利は下がる
- (6.5) 国債の価格と金利との間には、何の関係もない
- (3.9) あてはまるものはない
- (56.5) わからない

(2.7) 無回答

問10 現金口座に100万円あり、預金金利が年率2%とします。
預金を引き出さずにそのままにした場合、10年後の金額はいくらだと思いますか。(は1つ) (n=1,823)

- (38.5) 120万円超
- (24.6) 120万円ちょうど
- (32.4) 120万円未満
- (4.6) 無回答

クレジットカードや消費者金融についておうかがいします。

問11 クレジットカードに対する次の意見について、あなたはどのように思いますか。(はそれぞれ1つずつ) (n=1,823)

	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答
a.持っていると便利だ	(42.5)	(26.5)	(15.5)	(13.5)	(1.9)
b.現金で買うよりもお得(ポイントなど)	(26.4)	(33.4)	(23.3)	(14.8)	(2.1)
c.持っているとステータスになる	(4.8)	(11.7)	(36.6)	(42.8)	(4.0)
d.使いすぎる恐れがある	(43.2)	(33.3)	(12.4)	(9.5)	(1.6)
e.犯罪に利用される恐れがある	(44.7)	(38.5)	(9.3)	(5.0)	(2.5)
f.宣伝を法律で制限すべきだ	(19.0)	(27.2)	(36.3)	(14.0)	(3.5)

問12 あなたは、ご自分名義のクレジットカードを持っていますか。家族カードや使用していないものも含まれます。(は1つ) (n=1,823)

(58.9) 持っている	(31.4) 持っていない	問13へ	(9.7) 無回答
--------------	---------------	------	-----------

【 問12で「1」を回答した方へ 】

問12-1 何枚のクレジットカードをお持ちですか。(n=1,073)

(33.2) 1枚	(20.5) 3枚	(6.0) 5枚	(0.2) 11~20枚	(1.2) 無回答
(27.9) 2枚	(7.5) 4枚	(3.6) 6~10枚	(-) 21枚以上	

問12-2 あなたは、次の支払いにクレジットカードをどのくらい利用していますか。(はそれぞれ1つずつ) (n=1,073)

	よく 利用する	たまに 利用する	あまり 利用しない	全く 利用しない	無回答
a.日常の買い物	(17.8)	(26.5)	(19.5)	(35.2)	(1.0)
b.高額な買い物	(25.3)	(32.2)	(14.8)	(26.7)	(0.9)
c.外食の代金	(7.7)	(11.7)	(16.4)	(62.5)	(1.6)
d.公共料金・通信費	(27.0)	(11.6)	(9.5)	(50.4)	(1.5)

問12-3 あなたは、クレジットカードの次の機能をどのくらい利用していますか。(はそれぞれ1つずつ) (n=1,073)

	よく 利用する	たまに 利用する	あまり 利用しない	全く 利用しない	無回答
a.1回払いの買い物	(47.6)	(24.7)	(7.8)	(19.2)	(0.7)
b.分割払いの買い物	(2.8)	(13.6)	(13.3)	(68.7)	(1.6)
c.毎月定額を支払うリボ払い	(3.4)	(6.6)	(7.9)	(80.6)	(1.4)
d.現金を引き出すキャッシング	(4.9)	(5.7)	(7.5)	(80.3)	(1.6)

【 全員の方へ 】

問13 このところ、無人契約機などで手軽にお金を借りられる消費者金融が普及していますが、消費者金融に対する次の意見について、あなたはどのように思いますか。(はそれぞれ1つずつ) (n=1,823)

	そう思う	やや そう思う	あまり そう思わない	そう思わ ない	無回答
a.あると便利だ	(6.4)	(13.6)	(25.6)	(51.7)	(2.7)
b.使いすぎる恐れがある	(62.9)	(20.6)	(4.4)	(9.7)	(2.4)
c.犯罪に利用される恐れがある	(56.8)	(24.7)	(8.0)	(7.9)	(2.5)
d.宣伝を法律で制限すべきだ	(46.5)	(25.6)	(15.7)	(9.5)	(2.7)

問14 あなたは、これまでに消費者金融から借入したことがありますか。(は1つ) (n=1,823)

(7.3) あ る	(90.5) な い	問17へ	(2.2) 無回答
------------	------------	------	------------

【 問14で「1」を回答した方へ 】

問14-1 消費者金融から借入した際に、次のようなことをされた経験がありますか。(はいいくつでも) (n=133)

(24.1) 必要金額以上の借入を勧められた
(45.1) 貸付可能金額の増額を提案された
(16.5) 新規あるいは追加の借入を勧められた
(9.0) 電話等で追加の借入を勧められ、店舗に行かないまま銀行口座にお金が振り込まれた
(12.0) 一括(または一部)返済しようとした際、また借りるよう言われた
(2.3) 一括(または一部)返済しようとした際、返済しないよう言われた
(30.8) ATMで借入限度額が表示されるので、つい必要以上の借入をしてしまった
(32.3) 上記いずれも経験したことがない

(-) 無回答

問14-2 消費者金融から借入したことで、あなたの日常生活にどのような変化が起きましたか。(はいいくつでも) (n=133)

(9.8) 高額の商品を買うことができた	(2.3) 子供が学校を退学した、進学を断念した
(6.8) 事業の資金繰りが円滑になった	(1.5) 経営する会社(個人経営を含む)が倒産した
(24.8) 上記以外の臨時の出費にも対応できるようになった	(4.5) 自宅を手放した
(6.8) 自殺を考えるようになった	(7.5) 親戚との付き合いがなくなった
(3.8) 職場を辞めた	(1.5) 保証人に請求があり、顔向けできなくなった
(7.5) 家族の別居や離婚など、家庭崩壊を招いた	(8.3) その他()
	(41.4) 特に大きな変化はなかった

(2.3) 無回答

問15 あなたは、なぜ消費者金融から借入をしましたか。その理由をお答えください。(はいくつでも) (n=133)

(3.8) 住宅ローンの返済	(8.3) 事業資金の補てん	(9.8) 保証人・肩代わり
(14.3) 車のローンや借金の返済	(3.8) 訪問販売の物品の購入	(19.5) 趣味や遊興費
(46.6) 生活資金の補てん	(14.3) パチンコ、競馬等のギャンブル費	(6.0) その他()

(3.0) 無回答

問16 現在、消費者金融からの借入はありますか。(はい1つ) (n=133)

(19.5) 現在もある	(73.7) 現在は無い	問17へ
--------------	--------------	------

(6.8) 無回答



【問16で「1」を回答した方へ】

問16-1 あなたは、最近3年のあいだに消費者金融から何回お金を借りましたか。(はい1つ) (n=26)

(30.8) 1回ある
(19.2) 2～5回ある
(11.5) 6～9回ある
(19.2) 10回以上ある
(19.2) 最近3年間はない

(-) 無回答

問16-2 現在の借入総額はいくらですか。回答可能な範囲でお答え頂ければ結構です。(n=26)

(-) 0万円	(11.5) 30～49万円	(-) 300～499万円
(3.8) 1～9万円	(23.1) 50～99万円	(-) 500～999万円
(3.8) 10～29万円	(23.1) 100～299万円	(3.8) 1000万円以上

(30.8) 無回答

問16-3 消費者金融からの借入について、その返済に困難を感じていますか。(はいくつでも) (n=26)

(34.6) まったく困難を感じていない	(15.4) すでに返済困難な状況になっている
(42.3) 少し困難を感じている	(3.8) 多重債務、個人破産に追い込まれている

(3.8) 無回答

日本の国債についておうかがいします。

【全員の方へ】

問17 あなたは、国債を保有していますか。(はい1つ) (n=1,823)

(5.0) 現在保有している	} 問17-1へ
(4.7) 過去に保有していたが、すでに売却した	
(88.6) 保有したことがない	

(1.6) 無回答

【 問17で「1」または「2」を回答した方へ 】

問17-1 あなたが国債を買った理由は何ですか。(はいくつでも) (n=177)

(15.3) 国の政策に協力するため	(28.8) 値下がりの危険がないから
(49.7) 投資対象として有利(利回り)だから	(16.4) 投資対象に多様性をもたせるため
(0.6) 担保、保証金、供託金に使うとき便利だから	(2.8) 無記名だから
(6.2) 換金性があるから	(4.5) その他()
(42.4) 償還の確実性があるから	(2.3) わからない
	(1.1) 無回答

問17-2 あなたは、国債を買う資金に何をあてましたか。(はいくつでも) (n=177)

(7.9) 月給などの定期収入	(48.6) 他の貯蓄手段をふりかえて	問17-3へ
(14.1) ボーナスなどの臨時収入	(5.6) その他()	
(24.3) 上記以外の手元現金	(5.6) わからない	
	(1.1) 無回答	

【 問17-2で「4」を回答した方へ 】

問17-3 ふりかえた貯蓄手段は何ですか。(はいくつでも) (n=86)

(26.7) 郵便貯金	(7.0) 株式	(-) 貸付信託
(45.3) 普通預金	(11.6) 投資信託	(-) その他()
(46.5) 定期預金	(3.5) 債券	(1.2) わからない
		(-) 無回答

【 全員の方へ 】

問18 あなたは、今後国債を買いたいと思いますか。(は1つ) (n=1,823)

(3.9) 思う	問19へ	(54.9) 思わない	(37.8) わからない	問19へ	(3.3) 無回答
----------	------	-------------	--------------	------	-----------

問18-1 国債を買いたいと思わない理由は何ですか。(はいくつでも) (n=1,001)

(4.4) 額面が高すぎるから	(57.5) 資金がないから
(13.3) 利回りが低すぎるから	(7.2) ほかに買いたい品物があるから
(12.1) 償還年限が長すぎるから	(15.9) 暴落の可能性があるから
(7.7) 換金が容易ではないから	(16.6) その他()
	(1.4) 無回答

【 全員の方へ 】

問19 あなたは、国債は安全な資産だと思いますか。(は1つ) (n=1,823)

(2.7) 非常に安全	(12.9) あまり安全でない	(53.9) わからない	(0.7) 無回答
(25.0) おおむね安全	(4.9) 全く安全ではない		

問20 今後、仮に国債を買うとすれば、あなたはどこで買いますか。(はいくつでも) (n=1,823)

(18.4) 証券会社	(17.1) 都市銀行	(12.8) その他	(6.9) 無回答
(35.5) 郵便局	(26.2) 地方銀行	()	

問21 現在、政府が東日本大震災の復興財源として個人向け復興国債を売り出していますが、買う予定がありますか。(は1つ)
(n=1,823)

(0.7) すでに買った	} 問21-1へ	(82.8) 買いたいと思わない	} 問21-2へ	(1.4) 無回答
(0.6) これから買う予定		(14.5) 決めかねている		

【 問21で「1」または「2」を回答した方へ 】

問21-1 その理由は何ですか。(はいくつでも) (n=24)

(75.0) 国の政策に協力するため	(16.7) 値下がりの危険がないから
(37.5) 投資対象として有利(利回り)だから	(4.2) 投資対象に多様性をもたせるため
(4.2) 担保、保証金、供託金に使うとき便利だから	(-) 無記名だから
(12.5) 換金性があるから	(4.2) 記念貨幣や感謝状が欲しいので
(20.8) 償還の確実性があるから	(-) その他()
	(4.2) 無回答

【 問21で「3」または「4」を回答した方へ 】

問21-2 その理由は何ですか。(はいくつでも) (n=1,774)

(57.0) 資金がないから	(4.2) ほかに買いたい品物があるから
(2.3) 額面が高すぎるから	(36.6) なんとなくなじみがないから
(5.9) 利回りが低すぎるから	(2.9) 身近に買う場所がないから
(5.7) 償還年限が長すぎるから	(9.6) その他()
(3.6) 換金が容易ではないから	
	(2.3) 無回答

【 全員の方へ 】

問22 あなたは、国債発行の広告を見聞きしたことがありますか。(は1つ) (n=1,823)

(3.1) よく見かける	} 問22-1へ	(40.8) ほとんど見かけない	} 問23へ	(0.9) 無回答
(25.2) たまに見かける		(30.1) 見かけたことがない		

【 問22で「1」または「2」を回答した方へ 】

問22-1 それはどこで見聞きしましたか。(はいくつでも) (n=516)

(57.2) 新聞	(7.0) 雑誌	(31.6) テレビ(ラジオ)	(4.3) その他	(0.8) 無回答
(15.5) パンフレット	(20.5) ポスター	(6.8) インターネット	()	

【 全員の方へ 】

問23 国債の発行に関して、政府に何かご要望はございますか。(はいくつでも) (n=1,823)

(41.0) 国債で調達した金は有効に使ってほしい	(6.4) もっと小額面でも発行してほしい
(17.4) 国債発行だけでなくインフレ抑制・物価安定にも努めてほしい	(6.4) そもそも国債の発行には反対
(18.0) 国債発行だけでなく減税も実行すべき	(1.4) その他()
(27.9) 国債発行だけでなく歳出も削減すべき	(37.8) 特にない
	(2.1) 無回答

お仕事についておうかがいします。

問24 あなたは、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(1は1つ) (n=1,823)

(60.7) している	(8.0) していない(求職中)	} 問25へ	(1.5) 無回答
	(29.8) していない(求職活動もしていない)		

[問24で「1」を回答した方へ]

問24-1 あなたの現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。
(n=1,107)

雇用形態	(45.5) 正社員・正規職員 (7.8) 嘱託・契約社員 (1.3) 派遣社員	(25.6) パート・アルバイト (5.0) 自営業(雇人あり) (8.0) 自営業(雇人なし)	(3.9) 自営業の手伝い (0.5) 内職 (1.8) その他() (0.7)無回答
業種	(3.7) 農林漁業 (6.8) 建設業 (16.7) 製造業 (1.6) 電気・ガス・熱供給・水道業 (2.4) 情報通信業 (3.4) 運輸業	(14.4) 卸売・小売業 (7.0) 飲食業・宿泊業 (10.1) 医療・福祉 (5.0) 教育・学習支援業 (1.4) 複合サービス業(協同組合・郵便局)	(7.9) 複合サービス業(協同組合・郵便局以外) (7.2) 公務 (10.1) その他() (2.3) 無回答
職種	(17.4) 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (3.7) 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (17.4) 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (15.4) 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (15.0) 技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (3.6) 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (1.4) 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (3.3) 農林漁業 (13.4) サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (7.8) その他() (1.7) 無回答		
従業員数 (パート・アルバイトなどを含む)	(18.3) 5人未満 (8.9) 5人以上10人未満 (13.8) 10人以上30人未満	(17.1) 30人以上100人未満 (8.4) 100人以上300人未満 (4.1) 300人以上500人未満	(3.8) 500人以上1,000人未満 (11.7) 1,000人以上 (4.8) 官公庁 (4.7) わからない (4.4) 無回答
就労時間	(34.6)週平均	(15.5) 10時間未満 (8.9) 20時間未満 (9.8) 30時間未満 (8.7) 40時間未満 (29.4) 50時間未満 (11.6) 60時間未満	(4.7) 70時間未満 (2.1) 80時間未満 (1.1) 90時間未満 (1.2) 100時間未満 (-) 100時間以上 (7.2) 無回答
就職時期 (現在の就業先について)	(0.7) 1950年代以前 (1.5) 1960年代 (5.2) 1970年代	(10.2) 1980年代 (15.0) 1990年代 (31.7) 2000年代	(25.1) 2010年代 (10.5) 無回答
仕事に対する満足度	(17.3) 満足 (39.8) まあまあ満足	(17.2) やや不満 (6.5) 不満	(17.4) どちらともいえない (1.7) 無回答

【 全員の方へ 】

問25 あなたの配偶者は、現在収入をとまなう仕事をしていますか。配偶者のいない方は「4 配偶者はいない」をお選びください。
(は1つ)

(n=1,823)

(40.9) している	(4.1) していない(求職中) (22.1) していない(求職活動もしていない) (29.6) 配偶者はいない	(3.4) 無回答
} 問26へ		

【 問25で「1」を回答した方へ 】

問25-1 配偶者の方のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。

(n=745)

雇用形態	(50.5) 正社員・正規職員 (7.8) 嘱託・契約社員 (1.2) 派遣社員	(19.5) パート・アルバイト (5.9) 自営業(雇人あり) (9.5) 自営業(雇人なし)	(2.8) 自営業の手伝い (0.7) 内職 (0.8) その他() (1.3) 無回答
業種	(3.5) 農林漁業 (8.7) 建設業 (16.1) 製造業 (3.0) 電気・ガス・熱供給・水道業 (3.4) 情報通信業 (5.4) 運輸業	(15.2) 卸売・小売業 (3.8) 飲食業・宿泊業 (9.7) 医療・福祉 (3.8) 教育・学習支援業 (1.7) 複合サービス業(協同組合・郵便局)	(6.7) 複合サービス業(協同組合・郵便局以外) (6.3) 公務 (9.8) その他 () (3.1) 無回答
職種	(16.9) 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (5.4) 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (13.8) 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (14.6) 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (18.0) 技能工・生産工程に関わる職業(製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (3.8) 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (2.7) 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (3.4) 農林漁業 (10.2) サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (8.2) その他() (3.1) 無回答		
従業員数 (パート・アルバイトなどを含む)	(17.0) 5人未満 (8.9) 5人以上10人未満 (12.8) 10人以上30人未満	(17.3) 30人以上100人未満 (8.1) 100人以上300人未満 (3.8) 300人以上500人未満	(3.0) 500人以上1,000人未満 (9.7) 1,000人以上 (4.2) 官公庁 (8.7) わからない (6.7) 無回答 派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。
就労時間	(36.73)週平均	(9.4) 10時間未満 (8.5) 20時間未満 (9.9) 30時間未満 (7.7) 40時間未満 (28.2) 50時間未満 (12.2) 60時間未満	(6.6) 70時間未満 (3.0) 80時間未満 (0.5) 90時間未満 (0.5) 100時間未満 (-) 100時間以上 (13.6) 無回答
就職時期 (現在の就業先について)	西暦	(0.8) 1950年代以前 (1.6) 1960年代 (4.6) 1970年代 (11.0) 1980年代	(16.5) 1990年代 (29.0) 2000年代 (17.3) 2010年代 (19.2) 無回答
昭和元年は西暦1926年、平成元年は西暦1989年になります。 いったん退職した後に同じ会社で再就職した場合には、再就職した時点を記入してください。 自営業の場合には、事業を始められた時期を記入してください。			

収入と支出、社会保険についておうかがいします。

【 全員の方へ 】

問26 あなたの昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。収入なしの場合には「0」を記入してください。また、配偶者がいる場合には配偶者の方の就労収入もご記入ください。(n=1,823)

あなた (税込)	(21.0) 0万円	(2.2) ~ 800万円未満	配偶者 (税込)	(16.6) 0万円	(1.6) ~ 800万円未満
	(12.0) ~ 100万円未満	(1.0) ~ 900万円未満		(6.9) ~ 100万円未満	(0.8) ~ 900万円未満
	(11.8) ~ 200万円未満	(0.5) ~ 1000万円未満		(6.5) ~ 200万円未満	(0.4) ~ 1000万円未満
	(9.8) ~ 300万円未満	(0.9) ~ 1500万円未満		(4.5) ~ 300万円未満	(1.0) ~ 1500万円未満
	(7.8) ~ 400万円未満	(0.4) ~ 2000万円未満		(4.8) ~ 400万円未満	(0.1) ~ 2000万円未満
	(6.0) ~ 500万円未満	(0.3) 2000万円以上		(4.4) ~ 500万円未満	(0.2) 2000万円以上
	(4.3) ~ 600万円未満	(18.8) 無回答		(3.2) ~ 600万円未満	(47.2) 無回答
	(3.1) ~ 700万円未満			(1.8) ~ 700万円未満	

問27 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしているご家族)の昨年1年間の収入の総額は、およそいくらですか。税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保障給付、贈与、財産収入等を含む総収入(遺産を除く)と税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額でお答えください。(n=1,823)

総収入 (税込)	(2.0) 0万円	(8.9) ~ 400万円未満	(4.7) ~ 800万円未満	(1.7) ~ 2000万円未満
	(1.6) ~ 100万円未満	(9.1) ~ 500万円未満	(3.7) ~ 900万円未満	(1.0) 2000万円以上
	(3.7) ~ 200万円未満	(8.0) ~ 600万円未満	(2.5) ~ 1000万円未満	(34.5) 無回答
	(6.9) ~ 300万円未満	(5.9) ~ 700万円未満	(5.7) ~ 1500万円未満	
手取り (税込)	(2.1) 0万円	(11.2) ~ 400万円未満	(3.6) ~ 800万円未満	(0.5) ~ 2000万円未満
	(4.0) ~ 100万円未満	(9.3) ~ 500万円未満	(1.9) ~ 900万円未満	(0.2) 2000万円以上
	(4.8) ~ 200万円未満	(6.5) ~ 600万円未満	(0.9) ~ 1000万円未満	(38.6) 無回答
	(10.5) ~ 300万円未満	(3.7) ~ 700万円未満	(2.0) ~ 1500万円未満	

問27-1 前問(問27)の世帯収入は、どこから得たものですか。つぎのうちあてはまるものすべてお答えください。(はいいくつでも)
(n=1,204)

(77.5) あなたの就業収入	(0.4) 失業給付	(0.7) 特別児童扶養手当
(52.5) 配偶者の就業収入	(0.7) 元夫(妻)からの養育費	(0.5) 生活保護
(17.2) その他の世帯員の就業収入	(1.4) 親族からの援助	(6.0) 財産収入(利子・配当・家賃など)
(34.5) 公的年金・恩給	(11.0) 児童手当・子ども手当	(1.4) その他()
(10.9) 個人年金・企業年金	(1.9) 児童扶養手当	
(0.4) 無回答		

問28 あなたの世帯(あなた自身および生計をともにしている家族)の、昨年のひと月あたりの支出はどのくらいですか。(n=1,823)

ひと月あたり 約	(0.9) 5万円未満	(12.0) ~ 35万円未満	支出には次のものを含みます。 食費、光熱費、住宅ローンの返済・住宅費(住宅購入費や住宅改修費を除く)、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、教養娯楽・交際費、医療費
	(3.7) ~ 10万円未満	(4.7) ~ 40万円未満	
	(6.7) ~ 15万円未満	(4.8) ~ 45万円未満	
	(10.3) ~ 20万円未満	(1.5) ~ 50万円未満	
	(15.0) ~ 25万円未満	(6.4) 50万円以上	
	(10.8) ~ 30万円未満	(23.4) 無回答	

問29 お宅の家計の収支状況は次のうちどれが最も近いですか。(は1つ) (n=1,823)

(22.6) 黒字	(29.6) 赤字	(38.1) 収支ほぼ拮抗	(9.7) 無回答
-----------	-----------	---------------	-----------

住居についておうかがいします。

問30 現在のお宅はどのような住居ですか。親族の住居に同居しており、生計をともにしている場合はその住居についてお答えください。

(は1つ) (n=1,823)

(70.5) 持ち家(一戸建て)	}	問30-1へ
(0.9) 持ち家(定期借地権付き一戸建て住宅)		
(6.3) 持ち家(マンション)		
(4.1) 民間の借家(一戸建て)	}	問33へ
(12.6) 民間の借家(マンション、アパート等の集合住宅)		
(2.5) 住宅供給公社・UR都市機構・公営の賃貸住宅		
(1.5) 社宅・官舎	}	問31へ
(0.8) その他()		

(0.7) 無回答

【 問30で「1」～「3」を回答した方へ 】

問30-1 それはどなたの所有ですか。ご自分からみた続柄でお答えください。(はいくつでも) (n=1,418)

(44.4) 本人(自分)	(4.5) 子供	(1.3) 兄弟姉妹	(0.7) その他
(34.2) 配偶者	(0.3) 子供の配偶者	(23.1) 親、配偶者の親	()
	(0.1) 孫	(2.5) 祖父母、配偶者の祖父母	(1.8) 無回答

【 問30-1で「1」または「2」を回答した方へ 】

問30-2 それはどのようにして取得されましたか。(は1つ) (n=991)

(76.5) 1 自分または配偶者が購入した	}	問30-3へ	(0.9) 無回答
(20.3) 2 相続または譲渡を受けた			
(2.3) 3 その他()			

【 問30-2で「1」または「2」を回答した方へ 】

問30-3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(n=959)

西暦	(1.5) 1950年代以前	(11.6) 1970年代	(20.5) 1990年代	(8.7) 2010年代
	(3.0) 1960年代	(15.4) 1980年代	(26.1) 2000年代	(13.2) 無回答

昭和元年是西暦1926年、平成元年是西暦1989年になります。

【 問30-2で「1」を回答した方へ 】

問30-4 自己資金以外の購入資金の内訳をお答えください。(n=758)

金融機関からの借入金	(0.3) ~ 100万円未満	(3.3) ~ 500万円未満	(19.1) ~ 2000万円未満	(0.9) 5000万円以上
	(2.6) ~ 300万円未満	(6.9) ~ 1000万円未満	(30.6) ~ 5000万円未満	(36.3) 無回答

それ以外の借入金	(0.8) ~ 100万円未満	(2.4) ~ 500万円未満	(1.3) ~ 2000万円未満	(0.1) 5000万円以上
	(1.6) ~ 300万円未満	(1.7) ~ 1000万円未満	(1.1) ~ 5000万円未満	(91.0) 無回答

親族からの援助	(0.5) ~ 100万円未満	(2.1) ~ 500万円未満	(2.5) ~ 2000万円未満	(-) 5000万円以上
	(2.6) ~ 300万円未満	(4.0) ~ 1000万円未満	(0.7) ~ 5000万円未満	(87.6) 無回答

「金融機関からの借入金」をお答えの方は問30-5へ。それ以外の方は問31へお進みください。

問30-5 次のうちの主にどの金融機関から調達されましたか。(は1つ) (n=483)

(55.3) 民間金融機関	} 問31へ	(3.5) 無回答
(38.9) 住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)		
(2.3) その他()		

問30-5-1 民間金融機関はどちらでしたか。金融機関名をご記入ください。複数ある場合は、主な金融機関1つだけをお答えください。

問30-5-2 その金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちどれにあてはまりますか。(は1つ) (n=267)

(38.6) 変動金利型	(22.5) 固定金利期間選択型(10年超)	(10.1) 全期間固定金利型(10年超)
(13.9) 固定金利期間選択型(10年以下)	(3.4) 全期間固定金利型(10年以下)	(2.6) その他()
(9.0) 無回答		

問30-5-3 その金融機関から借入れたときの金利はおおよそどの位でしたか。小数第3位までご記入ください。(n=267)

(2.2) ~0.5%未満	(11.6) ~2.0%未満	(3.0) ~3.5%未満	(0.4) ~5.0%未満
(4.1) ~1.0%未満	(10.5) ~2.5%未満	(1.9) ~4.0%未満	(3.7) 5.0%以上
(6.7) ~1.5%未満	(4.9) ~3.0%未満	(1.1) ~4.5%未満	
(49.8) 無回答			

問31 お住まいの住居はどのような構造ですか。(は1つ) (n=1,432)

(74.0) 木造	(0.5) ブロック造	(4.7) その他	(2.7) 無回答
(3.8) 防火木造	(14.4) 鉄筋コンクリート	()	

問31-1 お住まいの住居は築後何年になりますか。(n=1,432)

築後	(16.5) 10年未満	(18.4) ~30年未満	(11.7) ~50年未満	(5.3) 無回答
	(22.6) ~20年未満	(16.9) ~40年未満	(8.7) 50年以上	

問31-2 敷地面積、床面積はそれぞれいくらですか。(マンションは床面積のみ) 1坪=3.3㎡として算出して下さい。

(n=1,317)

敷地面積 ()㎡	(2.2) 50㎡未満	(14.0) ~200㎡未満	(11.0) ~500㎡未満	(33.5) 無回答
	(8.4) ~100㎡未満	(14.7) ~300㎡未満	(5.2) 500㎡以上	
	(10.9) ~150㎡未満			

(n=1,432)

床面積 ()㎡	(4.4) 50㎡未満	(9.9) ~200㎡未満	(1.2) ~500㎡未満	(36.7) 無回答
	(19.3) ~100㎡未満	(5.8) ~300㎡未満	(0.1) 500㎡以上	
	(22.6) ~150㎡未満			

問32 現在のお住まいについて、3年後のその資産価値はどうなるとお考えですか。
マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(は1つ) (n=1,432)

(44.6) 1 下がる	} 問34へ	(6.4) 無回答
(3.1) 2 上がる		
(12.2) 3 変わらない		
(33.7) 4 わからない		

【 問32で「1」と回答した方へ 】

問32-1 下がる幅はおよその程度とお考えですか。(は1つ) (n=638)

(9.4) 50%以上	(19.6) 30%未満～20%以上	(27.3) 10%未満～5%以上	(5.3) 無回答
(8.5) 50%未満～30%以上	(17.6) 20%未満～10%以上	(12.4) 5%未満	

【 問32で「2」と回答した方へ 】

問32-2 上がる幅はおよその程度とお考えですか。(は1つ) (n=45)

(42.2) 5%未満	(8.9) 20%以上～30%未満	(-) 100%以上	(4.4) 無回答
(31.1) 5%以上～10%未満	(2.2) 30%以上～50%未満		
(11.1) 10%以上～20%未満	(-) 50%以上～100%未満		

【 問30で「4」～「7」を回答した方へ 】

問33 ひと月の家賃はどれくらいですか。(千円未満は四捨五入してお答えください。) (n=379)

(12.7) 3万円未満	(16.4) ～7万円未満	(5.0) ～9万円未満	(7.4) ～20万円未満	(8.7) 無回答
(20.8) ～5万円未満	(9.0) ～8万円未満	(3.2) ～10万円未満	(0.3) 20万円以上	
(16.6) ～6万円未満				

金融機関の利用についておうかがいします。

【 全員の方へ 】

問34 現在、あなたが預金等をしている金融機関の数と利息の付く預金の総額、利息の付かない預金の総額をご記入ください。(なければ「0」とご記入ください。)

a.金融機関の数 (n=1,823)	(5.3) 0機関 (15.7) 1機関 (28.0) 2機関 (20.8) 3機関 (8.1) 4機関 (2.9) 5機関 (1.2) 6機関以上 (17.9) 無回答
b.利息の付く預金の総額(普通預金のほか定期預金、金融債、金銭信託なども含む) (n=1,726)	(10.4) 0万円 (3.5) ～30万円未満 (2.7) ～50万円未満 (4.0) ～100万円未満 (6.7) ～200万円未満 (5.2) ～300万円未満 (4.1) ～400万円未満 (1.9) ～500万円未満 (9.0) ～1000万円未満 (7.0) ～2000万円未満 (5.2) ～5000万円未満 (1.4) 5000万円以上 (38.9) 無回答
c.利息の付かない預金の総額(当座預金など) (n=1,726)	(31.0) 0万円 (2.5) ～30万円未満 (1.2) ～50万円未満 (1.4) ～100万円未満 (2.6) ～200万円未満 (1.2) ～300万円未満 (0.3) ～400万円未満 (0.1) ～500万円未満 (1.0) ～1000万円未満 (0.2) ～2000万円未満 (0.2) ～5000万円未満 (-) 5000万円以上 (58.3) 無回答

問35 現在、預金等をしている金融機関のうち一般預金等(決済性預金以外の預金等)の残高が一番多い金融機関名(1位の金融機関)と、2番目に多い金融機関名(2位の金融機関)、および、1位の金融機関、2位の金融機関について、利息の付く預金の総額、利息の付かない預金の総額をご記入ください。なお、ゆうちょ銀行は除いてお書きください。(なければ「0」とご記入ください。)

	1位の金融機関(n=1,424)	2位の金融機関(n=1,295)
a.金融機関名		
b.利息の付く預金の総額	(8.9) 0万円 (5.7) ~30万円未満 (2.4) ~50万円未満 (5.7) ~100万円未満 (8.4) ~200万円未満 (5.5) ~300万円未満 (4.4) ~400万円未満 (2.7) ~500万円未満 (8.7) ~1000万円未満 (5.7) ~2000万円未満 (2.5) ~5000万円未満 (0.2) 5000万円以上 (39.3) 無回答	(8.5) 0万円 (6.0) ~30万円未満 (2.1) ~50万円未満 (3.4) ~100万円未満 (5.5) ~200万円未満 (3.0) ~300万円未満 (1.6) ~400万円未満 (1.2) ~500万円未満 (3.7) ~1000万円未満 (2.2) ~2000万円未満 (0.4) ~5000万円未満 (-) 5000万円以上 (62.5) 無回答
c.利息の付かない預金の総額	(24.2) 0万円 (2.2) ~30万円未満 (1.0) ~50万円未満 (1.0) ~100万円未満 (1.9) ~200万円未満 (0.5) ~300万円未満 (0.1) ~400万円未満 (0.1) ~500万円未満 (0.6) ~1000万円未満 (0.1) ~2000万円未満 (-) ~5000万円未満 (-) 5000万円以上 (68.3) 無回答	(17.4) 0万円 (2.2) ~30万円未満 (0.4) ~50万円未満 (0.5) ~100万円未満 (1.0) ~200万円未満 (0.3) ~300万円未満 (-) ~400万円未満 (-) ~500万円未満 (0.2) ~1000万円未満 (0.1) ~2000万円未満 (0.1) ~5000万円未満 (-) 5000万円以上 (78.0) 無回答

問36 各金融機関の取引支店とご自宅の距離はどれくらいですか。(はそれぞれ1つずつ)

	1位の金融機関 (n=779)	2位の金融機関 (n=411)
500m 未満	(15.5)	(13.6)
500m 以上 1km 未満	(24.9)	(23.1)
1km 以上 10km 未満	(46.0)	(44.0)
10km 以上 30km 未満	(7.7)	(9.0)
30km 以上 50km 未満	(1.2)	(2.4)
50km 以上	(1.7)	(2.9)
ネット銀行なので支店はない	(1.9)	(2.9)
その金融機関の利用はない	(-)	(-)
無回答	(1.2)	(1.9)

問37 取引支店がご自宅にもっとも近い金融機関はどちらになりますか。(は1つ) (n=1,400)

(53.9) 1位の金融機関	問38へ	(12.6) 無回答
(16.6) 2位の金融機関		
(16.8) その他(金融機関名)		

【 問37で「3」と回答した方へ 】

問37-1 その金融機関までの距離はどれくらいですか。(は1つ) (n=235)

(38.7) 500m 未満	(31.9) 1km 以上 10km 未満	(-) 30km 以上 50km 未満	(0.9) 無回答
(28.5) 500m 以上 1km 未満	(-) 10km 以上 30km 未満	(-) 50km 以上	

【 全員の方へ 】

問38 ATM が設置されたコンビニとご自宅の距離はどれくらいですか。最も近いものと2番目に近いものについてお答えください。
(はそれぞれ1つずつ) (n=1,823)

最も近いコンビニ 2番目に近いコンビニ

500m 未満	(40.8)	(14.3)
500m 以上 1km 未満	(30.0)	(30.6)
1km 以上 10km 未満	(18.2)	(29.8)
10km 以上 30km 未満	(0.8)	(2.1)
30km 以上 50km 未満	(-)	(0.3)
50km 以上	(-)	(0.1)
無回答	(10.4)	(22.7)

問39 そのコンビニ ATM で利用できる金融機関をお答えください。(それぞれ はいくつでも) (n=1,400)

最も近いコンビニ

2番目に近いコンビニ

(61.7) 1位の金融機関	問40へ	(44.1) 1位の金融機関	問40へ
(25.2) 2位の金融機関		(26.9) 2位の金融機関	
(10.6) いずれも利用できない		(9.8) いずれも利用できない	

(22.5) 無回答

(37.9) 無回答

【 金融機関のいずれかがご自宅に近いコンビニで利用できない方にうかがいます 】

問39-1 各金融機関の利用可能な ATM が設置されたコンビニまでの距離はどれくらいですか。(はそれぞれ1つずつ)

1位の金融機関
(n=98)

2位の金融機関
(n=60)

500m 未満	(5.1)	(3.3)
500m 以上 1km 未満	(9.2)	(-)
1km 以上 10km 未満	(21.4)	(36.7)
10km 以上 30km 未満	(4.1)	(5.0)
30km 以上 50km 未満	(1.0)	(-)
50km 以上	(-)	(-)
その金融機関の利用はない	(-)	(-)
無回答	(59.2)	(55.0)

【 全員の方へ 】

問40 コンビニ以外に設置された ATM とご自宅の距離はどれくらいですか。最も近いものと2番目に近いものについてお答えください。
(はそれぞれ1つずつ) (n=1,823)

	最も近いATM	2番目に近いATM
500m 未満	(29.0)	(9.7)
500m 以上 1km 未満	(31.0)	(25.2)
1km 以上 10km 未満	(26.3)	(35.8)
10km 以上 30km 未満	(0.9)	(2.9)
30km 以上 50km 未満	(0.2)	(0.4)
50km 以上	(0.3)	(0.5)
無回答	(12.3)	(25.6)

問41 コンビニ以外に設置された ATM のうち、ご自宅にもっとも近いのは、どの金融機関のものですか。(は1つ) (n=1,400)

(56.1) 1位の金融機関	} 問42へ	(18.9) 無回答
(13.4) 2位の金融機関		
(11.5) その他(金融機関名)		

【 問41で「3」と回答した方へ 】

問41-1 そのATMまでの距離はどれくらいですか。(は1つ) (n=161)

(42.9) 500m 未満	(26.1) 1km 以上 10km 未満	(-) 30km 以上 50km 未満	(1.2) 無回答
(29.8) 500m 以上 1km 未満	(-) 10km 以上 30km 未満	(-) 50km 以上	

【 全員の方へ 】

問42 コンビニに設置された ATM(利用している金融機関に限りません)とコンビニ以外に設置された ATM と比べ、距離が短いのはどちらになりますか。(は1つ) (n=1,823)

(44.0) コンビニの ATM	(28.1) コンビニ以外の ATM	(14.2) 距離は同じ	(13.7) 無回答
------------------	--------------------	--------------	------------

問43 今までお答えになった各金融機関の営業担当者の状況についてあてはまるものをお選びください。(はそれぞれ1つずつ)

	1位の金融機関 (n=779)	2位の金融機関 (n=411)
a.支店に内勤の担当者がある	(21.3)	(20.0)
b.外勤の担当者がある	(10.9)	(10.5)
c.プライベートバンキング(資産運用、資産管理全般に関する 富裕層向け総合サービス)の担当者がある	(1.8)	(1.2)
d.専任の担当者はいない	(56.7)	(58.2)
e.その金融機関の利用はない	(-)	(-)
無回答	(9.2)	(10.2)

問43-1 あなたは、各金融機関の担当者とどれくらい接触(相対による面談)されますか。(はそれぞれ1つずつ)

	1位の金融機関 (n=779)	2位の金融機関 (n=411)
毎日	(0.5)	(-)
1週間に1回	(1.5)	(1.7)
1週間に複数回	(1.0)	(1.2)
1ヶ月に1回	(9.2)	(8.3)
2~3ヶ月に1回	(4.4)	(2.9)
半年に1回	(5.5)	(3.6)
1年に1回	(4.0)	(3.6)
1年に1回未満	(7.2)	(7.3)
直接の接触はない	(60.1)	(61.3)
その金融機関の利用はない	(-)	(-)
無回答	(6.5)	(10.0)

問44 あなたは、各金融機関に定期預金をお持ちですか。お持ちの場合には、預金の契約条件をつぎの表にご記入ください。定期預金を複数お持ちの方は、預入額が最大のものに関してお答えください。

	1位の金融機関	2位の金融機関
定期預金の有無 (n=779) (n=411)	(46.0) 有 (47.2) 無 (6.8) 無回答	(36.0) 有 (54.3) 無 (9.7) 無回答
契約年月(固定金利自動更新付の場合は預入当初、変動金利の場合は契約当初) (n=358) (n=148)	(5.3)1980年代以前 (6.1)1990年代 (21.2)2000年代 (8.1)2010年 (7.5)2011年 (15.6)2012年 (3.9)2013年以降 (32.1)無回答	(4.7)1980年代以前 (6.1)1990年代 (22.3)2000年代 (8.8)2010年 (6.8)2011年 (22.3)2012年 (4.1)2013年以降 (25.0)無回答
期間(固定金利自動更新付の場合は自動更新までの期間) (n=358)	(9.8)2012年以前 (18.7)2013年 (6.7)2014年 (4.5)2015年 (2.2)2016年 (1.1)2017年 (2.2)2018年以降 (54.7)無回答	(9.5)2012年以前 (20.9)2013年 (8.8)2014年 (7.4)2015年 (2.0)2016年 (1.4)2017年 (2.7)2018年以降 (47.3)無回答
預入額 (n=358) (n=148)	(7.3)~30万円未満 (2.5)~50万円未満 (7.5)~100万円未満 (12.6)~200万円未満 (11.5)~300万円未満 (8.1)~400万円未満 (3.4)~500万円未満 (14.8)~1000万円未満 (9.8)~2000万円未満 (2.5)~5000万円未満 (-)5000万円以上 (20.1)無回答	(9.5)~30万円未満 (4.7)~50万円未満 (6.8)~100万円未満 (25.0)~200万円未満 (12.8)~300万円未満 (6.1)~400万円未満 (3.4)~500万円未満 (12.8)~1000万円未満 (4.7)~2000万円未満 (-)~5000万円未満 (-)5000万円以上 (14.2)無回答
金利方式(n=358) (n=148)	(19.3) 固定金利自動更新無 (49.7) 固定金利自動更新付 (8.7) 変動金利 (22.3) 無回答	(14.2) 固定金利自動更新無 (55.4) 固定金利自動更新付 (11.5) 変動金利 (18.9) 無回答
金利(固定金利自動更新付の場合は預入当初) (n=358) (n=148)	(19.8)0.05%未満 (3.4)~0.1%未満 (4.2)~0.2%未満 (5.9)~0.3%未満 (8.9)~0.4%未満 (3.1)~0.5%未満 (2.0)~0.6%未満 (2.0)~0.7%未満 (0.6)~0.8%未満 (0.6)~0.9%未満 (-)~1%未満 (3.9)1%以上 (45.8)無回答	(26.4)0.05%未満 (5.4)~0.1%未満 (3.4)~0.2%未満 (11.5)~0.3%未満 (6.8)~0.4%未満 (2.0)~0.5%未満 (1.4)~0.6%未満 (0.7)~0.7%未満 (1.4)~0.8%未満 (-)~0.9%未満 (-)~1%未満 (2.7)1%以上 (38.5)無回答
ATM 手数料割引、金利優遇その他の当該預金以外の商品等の特典の契約時点での提供 (n=358) (n=148)	(22.9)有 (53.6)無 (23.5)無回答	(28.4)有 (54.1)無 (17.6)無回答

問45 あなたが各金融機関で利用、購入している取引、商品、サービスをお答えください。(はそれぞれいくつでも)

1位の金融機関(n=779)

2位の金融機関(n=411)

a. 財形貯蓄	(7.7)	(7.5)
b. 国債	(3.2)	(2.7)
c. 公社債(国債を除く)	(0.3)	(-)
d. 投資信託	(5.9)	(4.4)
e. 株式	(1.8)	(1.7)
f. 信託商品	(1.2)	(0.5)
g. 外貨建て商品(外貨預金・外貨建て債券など)	(2.2)	(2.2)
h. 生命保険	(16.8)	(7.8)
i. 個人年金保険	(8.5)	(3.4)
j. 積立型損害保険	(1.7)	(1.2)
k. クレジットカードの引落	(41.5)	(23.6)
l. 公共料金の自動引落	(43.1)	(21.4)
m. その他の自動引落(保険料、授業料、家賃、税金等)	(35.9)	(21.7)
n. 給与の自動受取	(36.3)	(15.3)
o. 年金・恩給の自動受取	(21.4)	(11.7)
p. その他の自動受取(株式の配当、公社債等の利子等)	(4.2)	(2.9)
q. クレジットカード発行(系列会社による発行を含む)	(11.9)	(8.3)
r. 住宅ローン	(8.2)	(5.6)
s. 借入(住宅ローン以外)	(2.4)	(1.7)
t. インターネットバンキング	(10.3)	(8.8)
u. 貸金庫	(0.8)	(0.7)
v. Pay - e a s y (ペイジー)	(0.6)	(0.2)
w. デビットカード	(1.8)	(1.0)
x. ポイントプログラム	(2.4)	(1.0)
y. その他	(1.8)	(1.9)
z. その金融機関の利用はない	(-)	(-)
無回答	(13.7)	(27.5)

問46 あなたが各金融機関で提供を受けている手数料割引や金利優遇をお答えください。(はそれぞれいくつでも)

1位の金融機関(n=779)

2位の金融機関(n=411)

a. A T M	(40.2)	(33.1)
b. 振込	(22.7)	(19.7)
c. 外国為替	(0.4)	(0.5)
d. 国債売買	(0.8)	(0.7)
e. 公社債(国債を除く)売買	(0.4)	(0.2)
f. 投資信託	(2.4)	(2.4)
g. 株式売買	(0.9)	(1.2)
h. 信託商品	(0.9)	(0.5)
i. 外貨建て商品(外貨預金・外貨建て債券など)	(0.4)	(0.7)
j. 生命保険	(5.6)	(2.9)
k. 個人年金保険	(2.2)	(1.7)
l. 積立型損害保険	(0.5)	(0.5)
m. クレジットカードの発行・年会費(系列会社による発行を含む)	(6.8)	(3.9)
n. 住宅ローン	(3.6)	(2.9)
o. 借入(住宅ローン以外)	(0.9)	(0.2)
p. インターネットバンキング	(3.9)	(2.7)
q. 貸金庫	(0.3)	(-)
r. P a y - e a s y (ペイジー)	(-)	(-)
s. デビットカード	(0.8)	(0.2)
t. ポイント加算プログラム	(2.2)	(1.0)
u. その他	(0.5)	(1.0)
v. その金融機関の利用はない	(-)	(-)
無回答	(45.4)	(53.5)

最後に、あなたとご家族についておうかがいします。

F1 あなたの性別をお知らせください。(は1つ) (n=1,823)

(46.7) 男性

(53.3) 女性

F2 あなたの生年月(西暦)を教えてください。

(14.0) 1930年代以前
(12.3) 1980年代

(19.4) 1940年代
(3.4) 1990年代

(16.7) 1950年代
(0.1) 無回答

(15.7) 1960年代

(18.4) 1970年代

F3 あなたは現在、ご結婚されていますか。(は1つ) (n=1,823)

(67.7) 既婚	(19.4) 未婚	(11.7) 離別・死別	(1.2) 無回答
-----------	-----------	--------------	-----------

F4 現在、あなたの健康状態は良好ですか。既婚の方は配偶者についてもお答えください。配偶者のいない方は「5 配偶者はいない」をお選びください。(はそれぞれ1つずつ) (n=1,823)

	健康である	まあ健康である	あまり健康でない	健康でない	配偶者はいない	無回答
あなた	(45.7)	(38.7)	(9.0)	(5.3)		(1.3)
配偶者	(29.7)	(30.1)	(5.3)	(2.5)	(20.1)	(12.3)

F5 あなた、あなた自身のご両親、配偶者(離別・死別の場合は元配偶者を含む)が最後に卒業された学校はどちらですか。(はそれぞれ1つずつ)

	あなた(n=1,823)	あなたの父親(n=1,823)	あなたの母親(n=1,823)	配偶者(n=1,457)
a. 中学校(旧制小・高等小)	(13.1)	(34.4)	(34.0)	(10.7)
b. 高等学校(旧制中・旧制高女)	(42.6)	(28.6)	(32.4)	(37.1)
c. 専修学校・各種学校	(8.2)	(2.0)	(3.3)	(5.8)
d. 短大・高等専門学校	(12.3)	(2.5)	(7.5)	(9.0)
e. 大学・大学院(文系)	(13.2)	(9.1)	(3.6)	(13.0)
f. 大学・大学院(理系)	(6.9)	(4.2)	(0.5)	(7.7)
g. その他	(0.7)	(0.4)	(0.4)	(0.3)
h. わからない	(0.6)	(11.1)	(10.3)	(1.2)
無回答	(2.4)	(7.7)	(8.0)	(15.3)

F6 世帯主(ご家族の生計を主として維持している方)からみて、あなたはつぎのどの立場にあたりますか。(は1つ) (n=1,823)

(45.3) 世帯主本人	(0.8) 兄弟・姉妹	(13.9) 子	(1.6) 無回答
(32.9) 配偶者	(3.1) 親	(1.0) 子の配偶者	
(0.4) 内縁の妻(夫)	(0.4) 配偶者の親	(0.5) その他()	

F7 あなたのご家庭(住居と生計をともにしている人々)は、あなたも含めて何人ですか。(n=1,823)

(8.7) 1人	(27.5) 2人	(23.4) 3人	(19.7) 4人	(10.4) 5人	(6.0) 6人	(2.5) 7人以上	(1.9) 無回答
----------	-----------	-----------	-----------	-----------	----------	------------	-----------

F8 ご自身のお子さん(養子や継子を含む)は全部で何人いらっしゃいますか。生計をともにしている・していないにかかわらず、また、同居・別居に関係なくお答えください。(お子さんがいらっしゃらない場合は「0」とご記入ください。) (n=1,823)

(25.8) 0人	(14.3) 1人	(37.4) 2人	(15.6) 3人	(4.4) 4人以上	(2.5) 無回答
-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------

[ご自身のお子さん(養子や継子を含む)がいらっしゃる方へ]

F9 それぞれのお子さんの状況について、～の項目にお答えください。

	1人目 (n=1,307)	2人目 (n=1,046)	3人目 4人以上の場合は 末子について(n=365)
性別	(52.5)男 (44.5)女 (3.1)無回答	(50.5)男 (45.4)女 (4.1)無回答	(47.9)男 (41.1)女 (11.0)無回答
生年月(西暦)	(4.7)1950年代以前 (11.1)1960年代 (18.5)1970年代 (14.2)1980年代 (15.5)1990年代 (13.8)2000年代 (5.3)2010年代 (16.8)無回答	(3.5)1950年代以前 (10.2)1960年代 (19.1)1970年代 (15.2)1980年代 (16.3)1990年代 (13.4)2000年代 (4.5)2010年代 (17.8)無回答	(4.1)1950年代以前 (5.5)1960年代 (13.7)1970年代 (17.0)1980年代 (15.1)1990年代 (14.2)2000年代 (6.0)2010年代 (24.4)無回答
同別居状況	(50.7)同居 (43.8)別居 (5.6)無回答	(46.7)同居 (46.6)別居 (6.7)無回答	(45.8)同居 (41.4)別居 (12.9)無回答
健康状態	(90.3)おおむね良好 (4.6)軽い持病あり (0.2)重病・難病あり (1.1)障害あり (3.8)無回答	(90.4)おおむね良好 (3.5)軽い持病あり (0.4)重病・難病あり (1.3)障害あり (4.3)無回答	(84.7)おおむね良好 (3.6)軽い持病あり (-)重病・難病あり (1.1)障害あり (10.7)無回答
学校等教育機関での 在籍状況	(2.8)認可保育園 (0.2)認可外保育施設(認証保育 園、ベビーホテル等) (2.4)幼稚園 (15.1)小中高校(国公立) (2.5)小中高校(私立) (1.0)短大・高専 (10.9)大学・大学院 (1.4)その他教育機関 (37.1)該当なし (26.5)無回答	(3.1)認可保育園 (0.3)認可外保育施設(認証保育 園、ベビーホテル等) (2.1)幼稚園 (16.9)小中高校(国公立) (2.4)小中高校(私立) (1.3)短大・高専 (10.5)大学・大学院 (0.8)その他教育機関 (34.0)該当なし (28.6)無回答	(3.8)認可保育園 (0.3)認可外保育施設(認証保育 園、ベビーホテル等) (3.0)幼稚園 (16.4)小中高校(国公立) (3.0)小中高校(私立) (1.1)短大・高専 (7.7)大学・大学院 (1.6)その他教育機関 (30.7)該当なし (32.3)無回答

F10 あなたは現在、どなたと一緒に住んでいますか。(はいいくつでも) (n=1,823)

(65.9) 配偶者	(6.0) 孫	(0.3) 友人・知人	(1.9) 無回答
(0.7) 内縁の夫(妻)	(21.0) あなたの親	(3.5) その他	
(36.0) 未婚の子ども	(6.6) 配偶者の親	()	
(9.6) 既婚の子ども	(5.7) その他の親族	(8.7) いない(自分1人だけ)	

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。